

令和4年度  
優良PTA文部科学大臣表彰  
優良事例集

●  
総合教育政策局  
地域学習推進課



文部科学省  
MEXT  
MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN


※本事例集は、令和4年度の受賞団体のうち、各都道府県教育委員会の推薦を得た団体の活動をまとめたものです。

# 目次

【組織・運営の工夫】		ページ	【地域協働・連携】		ページ
青森県	青森県立五所川原農林高等学校父母と教師の会	5	青森県	藤崎町立藤崎小学校保護者と先生の会	27
宮城県	栗原市立築館中学校PTA	6	岩手県	奥中山小学校PTA	28
埼玉県	熊谷市立石原小学校PTA	7	宮城県	仙台市立遠見塚小学校父母教師会	29
千葉県	八千代市立勝田台小学校PTA	8	秋田県	井川町立井川義務教育学校PTA	30
東京都	足立区立大谷田小学校PTA	9	山形県	山形県立庄内農業高等学校PTA	31
東京都	東京都立久我山青光学園PTA	10	福島県	白河市立東北中学校PTA	32
長野県	長野県上田市立第二中学校PTA	11	茨城県	茨城県日立市立豊浦小学校PTA	33
岐阜県	笠松町立笠松中学校PTA	12	群馬県	藤岡市立鬼石中学校PTA	34
三重県	三重県立伊勢高等学校PTA	13	千葉県	豊田小学校PTA	35
滋賀県	滋賀県立膳所高等学校PTA	14	神奈川県	神奈川県立小田原養護学校PTA	36
大阪府	大阪市立三国小学校PTA	15	神奈川県	横浜市立東汲沢小学校PTA	37
大阪府	興國高等学校PTA	16	富山県	立山町立立山北部小学校育誠会	38
奈良県	奈良県立高円高等学校・高円芸術高等学校育友会	17	石川県	石川県立能登高等学校PTA	39
鳥取県	琴浦町立赤碕中学校PTA	18	石川県	白山市立美川中学校育友会	40
岡山県	岡山市立大元小学校PTA	19	福井県	福井県立若狭東高等学校PTA	41
広島県	尾道市立高須小学校PTA	20	福井県	大野市開成中学校PTA	42
福岡県	豊前市立宇島小学校PTA	21	山梨県	北杜市立小淵沢小学校PTA	43
長崎県	諫早市立真城小学校育友会	22	長野県	長野県長野市立若槻小学校PTA	44
熊本県	熊本市立城北小学校PTA	23	静岡県	富士市立高等学校PTA	45
鹿児島県	鹿児島市立武岡台小学校PTA	24	愛知県	愛知県立稲沢東高等学校PTA	46
沖縄県	豊見城市立長嶺中学校PTA	25	三重県	多気町立勢和小学校PTA	47
			京都府	京都市立東総合支援学校PTA	48

# 目次

【地域協働・連携】		ページ			ページ
兵庫県	宍粟市立河東幼稚園 P T A	49	新潟県	新潟県立村上中等教育学校 P T A	69
奈良県	大和高田市立菅原小学校 P T A	50	富山県	富山県立富山南高等学校 P T A	70
和歌山県	和歌山県立海南高等学校 静波会	51	山梨県	富士吉田市立吉田中学校 P T A	71
和歌山県	上富田町立岩田小学校 P T A	52	愛知県	蒲都市立三谷小学校 父母教師会	72
島根県	島根県大田市立高山小学校 P T A	53	京都府	京都市立下京中学校 P T A	73
島根県	島根県立矢上高等学校 P T A	54	広島県	私立広島国際学院中学校・高等学校 P T A	74
山口県	周南市立須磨小学校 P T A	55	香川県	香川大学教育学部附属坂出学園松韻会幼稚園部	75
山口県	萩市立萩東中学校 P T A	56	福岡県	福岡県立三池工業高等学校 P T A	76
徳島県	阿南市立大野幼稚園 P T A	57			
香川県	綾川町立羽床小学校 P T A ・ 育成会	58	【生活指導活動】		ページ
愛媛県	愛媛県松山市立石井東小学校 P T A	59	北海道	千歳市立千歳中学校 保護者と教職員の会	78
佐賀県	佐賀県立唐津青翔高等学校 教育振興会	60	山形県	西川町立西川小学校 P T A	79
長崎県	長崎県立西彼杵高等学校 育友会	61	福島県	新地町立駒ヶ嶺小学校 父母と教師の会	80
熊本県	玉名市立滑石小学校 P T A	62	群馬県	中之条町立沢田幼稚園 P T A	81
宮崎県	諸塚村立荒谷小学校 P T A	63	兵庫県	丹波立和田中学校 P T A	82
鹿児島県	鹿児島県立蒲生高等学校 P T A	64	佐賀県	佐賀県立中原特別支援学校 本校舎 P T A	83
【学びに関する活動】			【その他】		
岩手県	岩手県立住田高等学校 P T A	66	北海道	北海道教育大学附属特別支援学校 P T A	85
秋田県	秋田県立秋田高等学校 父母と教師の会	67	埼玉県	埼玉県立皆野高等学校 P T A	86
茨城県	茨城県立竹園高等学校 P T A	68	東京都	世田谷区立池之上小学校 P T A	87
			新潟県	柏崎市立田尻小学校 P T A	88
			岐阜県	岐阜県立多治見工業高等学校 育友会	89
			岡山県	倉敷市立琴浦東幼稚園 P T A	90
			愛媛県	愛媛県立松山西中等教育学校 P T A	91
			大分県	大分県立情報科学高等学校 P T A	92
			宮崎県	宮崎県立都城西高等学校 保護者と教職員の会	93



テーマカテゴリー

組織・運営の工夫



## P T A活動を身近に ～家庭と学校との協力体制構築を目指して～

キーワード スタンプカード / P T A総会 / 進路講演会 / 活性化 / 会員同士の交流

### 取組概要

会員に対し「五農P T A来校スタンプカード」を企画し、押印された数に応じて特典を付与、P T A総会後に生徒が農業実習で製造した加工品の抽選会を実施するなど、P T A活動を身近に感じてもらえるように取り組んでいる。

### 取り組みの詳細

#### 五農P T A来校スタンプカード

P T A活動の活性化を図るために来校スタンプカードを企画し、発行した。ポイント対象活動として、P T A行事（全校田植え大会の見学、あいさつ運動、環境整備等）を設定し、会員が来校しやすい雰囲気醸成に取り組んだ。スタンプが3個または5個たまった時点で、農産物や加工品をプレゼントしている。



#### P T A総会

学校公開日を設定し、当日は保護者対象の授業公開、P T A総会、進路講演会を行っている。P T A総会では参加者に対し、学校で作った加工品をお土産として配っている。また、総会後に抽選会を実施するなど、楽しみながらP T A活動に参加する気運づくりに取り組んでいる。

#### 進路講演会

P T A総会後に保護者対象進路講演会を実施している。進学部会と就職部会に分けて行い、それぞれ外部講師を招聘して行っている。進路状況や今年度の見通し、進学費用、保護者としての心構えなど情報提供することで会員も学び、家庭と学校との協力体制を構築する機会となっている。

### 成果

- ・スタンプの押印を楽しみに来校する会員も増え、活動の活性化に繋がった。
- ・P T A総会後に抽選会を実施するなど工夫することで、保護者の参加率が向上した。
- ・活動を通して気軽に保護者同士、保護者と教職員間で情報交換を行う場面が増えた。

### 課題や今後の取り組み

- ・会員数減少やコロナ禍に伴う事業の見直しについて検討していく必要がある。
- ・活動を理解していただくための情報発信に力を入れたい。

### その他の取り組み紹介

- ・学習環境の整備を目的に、生徒が農業実習等で移動するための遊歩道整備を行った。
- ・会員と校紀委員会の生徒が合同であいさつ運動を実施している。

所在地

青森県五所川原市

全校生徒数

384名

地域の特徴

本地域は青森県の北西部に位置しており、稲作を中心にリンゴ栽培も盛んな農業地帯である。そのような環境から、本校は、地域との結びつきも強く交流活動も盛んに行われている。

学校の特徴

本校は、令和4年度に創立120年を迎える地域に根ざした農業高校である。現在、食品科学科・環境土木科・森林科学科・生物生産科のもと、社会に寄与できる豊かな生徒を育成している。

組織構成

P T A会員  
総会

【役員会】

P T A会長（1名）  
副会長（4名）  
監事（3名）・会計（2名）  
書記（2名）

- ・健全育成委員会
- ・学年委員会
- ・研修委員会
- ・調査広報委員会
- ・進路対策委員会
- ・計画部

全世帯と教職員がP T A会員としていずれかの委員会に所属し、活動している。

担当課：青森県教育庁生涯学習課

## 「名門築中」に学ぶ子供たちの教育活動を支えるPTA組織と運営

キーワード

教師・保護者の負担軽減 / 役割分担の明確化 / コロナ渦における協力体制

### 取組概要

コロナ渦における子供たちの教育活動を支えるための組織づくりと運営について、PTAが中心となって進めている。

### 取り組みの詳細

・生徒数減による会員数の減少と行事のスリム化のため、役員数と専門部の見直しを図り再構成した。

・年度当初の会議で、各専門部の活動がスムーズに遂行できるように1年間の計画と活動内容を確認するとともに、会員の役割分担をできるだけ明確にしている。

・会費を1家庭一律4,000円と決め、会計予算として計上している。

・新型コロナウイルス感染症による感染防止対策の一環として、生徒の活動に必要な支援（物品等）を会員の理解と協力のもと、代表委員会が中心となって購入し教育活動に生かしている。

・LGBT教育の実践に取り組んでおり、生徒だけではなく、PTA会員を対象に研修会を実施し、性的マイノリティに対する知識・理解不足といった課題解決に努めている。

・部活動顧問、外部指導者、親の会の三者で会議を開き、部活動の活動方針について、共通理解を図り、子供たちの内面と技術的な側面からサポートし、活動にあたっている。



### 成果

・新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、令和2年度より事業を見直したり、新しい試みを模索する中で、連携がより強固となった。

### 課題や今後の取り組み

・代表委員が中心となり、地区の現状と課題を踏まえながら、活発な運営ができるように、PTAの役員選出方法について検討している。

### その他の取り組み紹介

- ・築館地区総合防災訓練への協力
- ・毎年11月3日に行われている薬師祭りへの参加協力体制
- ・朝の街頭指導とあいさつ運動
- ・築館七夕祭りの夜間巡回
- ・築館地区安全マップの作成

所在地

宮城県栗原市

全校生徒数

369名

地域の特徴

栗原市のほぼ中央部に位置し、市内の行政や教育文化の中心を担っている。PTA活動では家庭・学校・地域の連携を図り、各専門部会の活動や、部活動の支援等に積極的に取り組んでいる。

学校の特徴

「名門築中」に学ぶ自覚と誇りを礎に、生徒・教職員が一丸となって英知と創意を結集する。また人間関係づくりをねらいとする学校行事等の特別活動の充実と、みやぎの志教育を根幹においた相互の学び合いを通し、バランスのとれたより質の高い教育活動を実践している。

組織構成

<代表委員会>

会長、副会長3名、専門部長、学年委員長、参与（学校）、事務長（学校）、書記（学校）、会計（学校）

<理事会>

会長、副会長3名、監事、専門部長、学年委員長、理事、参与（学校）、事務長（学校）、書記（学校）、会計（学校）

## 基礎情報

所在地

埼玉県熊谷市

全校生徒数

724名

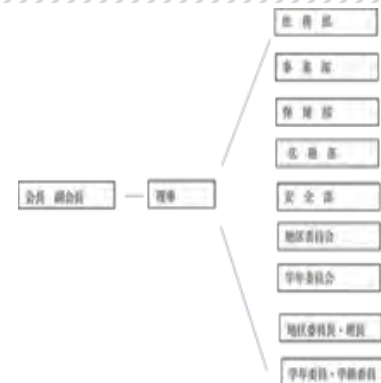
地域の特徴

校区は、熊谷市の中心部にある。学校の近隣には、中学校や高校があり、児童生徒の交流、連携を図っている。また、公民館等の社会教育施設や大学もあり、交流を図っている。

学校の特徴

学校は、熊谷市の中心部に位置しており、今年度学校開校150周年を迎える伝統と歴史がある。児童数も724名、27クラスと熊谷市でも一番の大規模校である。

組織構成



担当課：埼玉県教育局  
市町村支援部  
生涯学習推進課

## PTAとの協働により、「対策をして学びをとめない学校」の実現を図る

キーワード

教師・保護者の負担軽減 / デジタル技術活用 / コロナ対策

## 取組概要

登校時の検温チェックとコロナ禍の運動会動画配信（コロナ対策）

## 取り組みの詳細

- ・毎朝、子供たちが登校する際、PTAが協働し、全児童への検温チェックと保健室ボラティア活動。
- ・コロナ禍の運動会youtubeライブ配信。株式会社ギブスと連携して、運動会を2年連続ライブ配信した。本部役員は当日撮影を担当し、DVDの作成、編集に携わった。



登校時の検温チェック



運動会ライブ配信

## 成果

- ・保護者も検温・保健室運営に参画することにより、検温の重要性を意識し、各家庭で健康教育に積極的に取り組むようになった。また、保護者の協力により教員の負担軽減にもつながっている。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策のため、保護者の観戦ができない中、PTAの協力により動画配信によって運動会の観覧が実現した。

## 課題や今後の取り組み

- ・今年度、スタジアムでの開校150周年記念式典に向けて、PTAと地域、学校が協働していく。

## その他の取り組み紹介

- ・広報委員会による広報誌の発行。
- ・PTAの活動の大幅な見直し。
- ・長期休業中の安全見守り。



## 令和なPTAスタイルへ ～ withコロナ de 再改革！ ～

キーワード

多様な働き方・暮らし方 / 負担軽減 / デジタル技術活用 / コロナ / クラウドファンディング

## 取組概要

ラインワークス、グーグルドライブ、グーグルフォーム等のデジタル技術活用による、withコロナ・多様な働き方への対応や情報共有の効率化。

## 取り組みの詳細

- ◆ 旧来の環境厚生部・研修部・広報部等の組織の見直し
  - ① 学校から仕事の依頼が来たら、その都度「求人募集」
  - ② 「都合があれば仕事OK！」といった単発サポート登録
  - ③ 掛け持ち登録OK！登録希望の落選ほぼ無し
  - ④ 部長等の代表者選考は無し

**PTA本部**

**LINE WORKS 運用サポート**

**単発サポートに参加する**

**個人作業OK! 都合の良い日時! 3密防止!**

**人材派遣グループ**

- 行事サポート**：学校行事で受付整理や誘導、自転車整備など、運動会やマラソン大会等のサポート要員のおしごとです。
- スクール清掃**：窓ふき、トイレ掃除など子ども達に難しい箇所の清掃を行うおしごとです。
- 安全みまもり隊**：下校時の臨時旗振りやファミリーエスタ、ふるさと親子祭の夜間パトロールなど児童のみまもりをするおしごとです。  
【変更点】：1学期に行方不明の「ラジカメ」を事前プレッソ作成のことは、令和3年度から変更作業として取り扱います。
- グリーンレスキュー**：草むしりや落ち葉掃きを行うおしごとです。  
【変更点】：フッター裏面のしごき（花壇手入れ・出入り口の草刈り）はすべて単発作業として令和2年度から引き取っていただきました。
- 読み聞かせ隊**：1～3年生の各クラスで朝読書の時間を活用して読み聞かせをするおしごとです。
- 図書室サポート**：本棚の掃除、本の修繕、縛りつけなど司書先生のサポート要員のおしごとです。

## 成果

- デジタル化により作業効率が上がるとともに、ペーパーレス化を進めることができた。
- 情報の明確化、共有ができた。

## 課題や今後の取り組み

本校会員の要望等の声をさらに集めると共に、本PTAの取り組みを他団体等にも情報発信し交流する中で、新たな改革案の提案につなげたい。

## その他の取り組み紹介

- クラウドファンディング「勝小子どもみらい基金」を設立した。これにより、共働き等で活動に参加しづらい保護者でも、多様な形で学校に貢献できるようにした。
- デジタル技術で運用・調整を行う体制の確立により、従来の部長等の「長」制度を廃止した。

## 基礎情報

所在地

千葉県八千代市

全校生徒数

544名

地域の特徴

勝田台は、千葉県北西部に位置する八千代市のニュータウン。地域の企業が、SDGの観点から、持続可能な地域づくりの一環として、学校のトイレ清掃に協力した。地域の農家は、子供たちへの食育の観点から、学校で講演を行った。

学校の特徴

昭和43年に開校。学校教育目標は「21世紀をたくましく生き抜いていける子ども」。目指す児童像は、「〇自ら考え、行動できる子ども〇思いやりの心を育てていく子ども〇運動・スポーツが大好きな子ども」である。

組織構成



担当課：千葉県教育庁教育振興部  
生涯学習課

(八千代市教育委員会生涯学習振興課)

東京都

足立区立大谷田小学校PTA

# (コロナ禍でも) パツと (P)、楽しく (T)、明るい (A) PTA活動!

キーワード コロナ禍の活動 / 状況に応じた工夫 / 出来る範囲で出来る事を / 決して諦めない

## 取組概要

令和3年度、コロナ禍で状況が刻々と変化、様々な制限ある中でも、実現可能な形を考え、工夫しながらPTA活動を継続。子供達の為、保護者交流の絆の維持の為、出来る範囲で出来る事を出来るだけ、しっかりと実践しています。

## 取組みの詳細

### コロナ禍でも、運営を工夫しながら実施した、行事・イベントの数々

#### ①PTA 6年親子レクリエーション (3月)

コロナ禍で一部行事も中止となった6年生向けに親子レクリエーションイベントを企画・初開催。内容は親子玉入れ、親子大玉送り、親子二人三脚、親子大縄飛び、親子綱引き等。学校生活最後の親子で楽しむ行事は、天気にも恵まれ先生方にも見守って頂きながら、校庭は親子の楽しい時間になりました。



#### ②PTA令和新企画コンクール表彰 (11月)

おうち時間で様々な事にTRYする子供達を応援、区小P連と同時に独自企画開催。川柳・絵画・折鶴等、各部門で作品を募集、これらをPTA会長が表彰。保護者部門も同時開催し、PTA定例委員会で表彰。



#### ③PTA親子卓球教室 (11月)

3密を回避しながら、2回に分け分散開催。PTA卓球同好会が中心となり企画・運営。例年実施していたPTA卓球大会の代替として工夫して実施。秋の1日、会員同士の交流を深めつつ、親子で卓球に親しむ時間になりました。参加者は計134人と大盛況。



#### ④PTA環境浄化活動 (11月)

従来の地域合同環境浄化活動がコロナ禍で困難になった為、運営を工夫、自校単独開催にアレンジ、企画実施。テーマは「通学路大探検!」。学校周辺を3コースに分かれ学区域を隅々まで巡り、街をキレイに。参加者186名、集めたゴミの量は45L×12袋計540リットル。



## 成果

- ・ コロナ禍でも、工夫すれば出来る事が有ることを、保護者の後ろ姿を通して子供達に伝えることが出来た。
- ・ 出来るPTA活動を継続した事で、子供達から3月にPTA宛てに感謝の手紙を貰ったり、緊急時だからこそ、学校との連携の絆が深まった。

## 課題や今後の取組み

令和4年度以降は以下の活動も実践、目指していきます。

- ①PTA活動のデジタル化対応の促進
- ②より広く活動参加者の裾野を広げるための任意組織、「おおよたおやじの会」の立ち上げ
- ③ポストコロナ以降の、地域とのつながりの構築、情報共有

## その他の取組み紹介

- ①PTA親子漢字検定を工夫して実施
- ②ZOOMを活用したPTA会議の実施
- ③全東京都小学校PTAオンラインミーティングで、本校PTA会長が講師となり、ZOOM導入や活用事例を発表
- ④足立区立小学校PTA連合会/PTA会長会で本校PTA会長が講師として、活動事例を纏めて研修実施
- ⑤区小P連ブロック研修会でコミュニケーション研修を企画・開催
- ⑥資源回収、ベルマーク、朝の交通安全指導活動等の通年実施

## 基礎情報

所在地

東京都足立区

全校生徒数

299名

地域の特徴

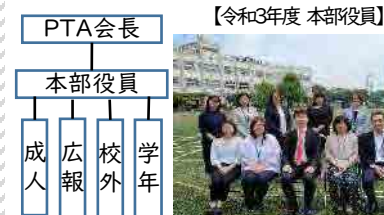
- ✓ 足立区の東端「こち亀」で有名なR池有駅の少し北側。学区域は西は葛西用水親水水路、北は都立中川公園、東は中川に囲まれている。
- ✓ 環七通りの東西に広がる静かな住宅街・マンションと、整備された公園が多い地域。

学校の特徴

- ✓ 昭和25年開校。教育目標は「よく考える子」「心豊かな子」「たくましい子」。
- ✓ コミュニティスクール設置校。あいさつ運動を活発に展開。平成27年、校庭が人工芝化。
- ✓ 学校とPTAが積極的協力しており、ブログ発信等の広報も盛ん。

組織構成

- ✓ PTA会員数250名程度の小規模校の特色を生かし、全保護者が一人一役の精神でPTA活動に参加。会員が関心ある活動を予め選んで活動する形が定着。
- ✓ 各クラスから委員を選出、実行部4部を組成して活動。
- ✓ 本部役員は臨時役員会を開き、各実行部をサポート、会長を中心として各種行事を企画・運営。



担当課：東京都教育庁  
地域教育支援部生涯学習課



# コロナ禍だからこそそのつながりの挑戦 ～視覚・知的障害併置の特別支援学校のPTA活動

キーワード 障害理解・啓発 / 活動への多様な参加方法 / デジタル技術活用



## 基礎情報

所在地

東京都世田谷区

全校幼児児童生徒数

352名

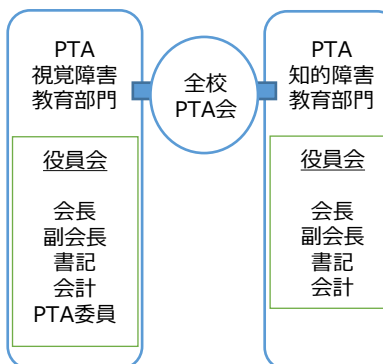
地域の特徴

本校は、東京都のほぼ中心に位置する世田谷区にあります。世田谷区内には国立成育医療研究センターがあり、当該センターと連携した相談等の充実や、区と連携した福祉避難所設営などに向けた各種訓練等、地域と連携した取り組みに力をいれています。

学校の特徴

本校は、視覚障害教育部門と知的障害教育部門を併置する学校として、創立13年目を迎えます。創立当初から、両部門の専門性（確かさ）と教職員の子供たちに対する愛情（教育愛）あふれる学校を目指して、両部門のPTAと教職員とが一体となり取り組んでいます。

組織構成



担当課：東京都教育庁  
地域教育支援部生涯学習課

## 取組概要

地域校よりも広域の学区から通学する特別支援学校のPTA活動をコロナ禍で行うため、つながるきっかけとなるような工夫を行った。

## 取り組みの詳細

### ◇ 全校PTA 広報誌『せいこう』



「学校と学外のタッチポイント」を主軸に、生徒の状況、学校の活動を周囲に伝えることで、周辺の方々との距離感を縮め、児童・生徒を温かく見守ってもらえるような環境作りの一端を担うことを目的として作成した。

### ◇ 地域とのつながりを絶やさないとりくみ

地域の社会貢献団体主催で年1回「秋まつり」を開催していたが、コロナ禍で子どもたちの栽培体験に変更した。各教室でヒヤシンスの球根を水耕栽培し、成長過程を触察や香りで確かめ、障害に合った観察方法で楽しめる機会を提供していただいた。



## 成果

- ・地域および諸団体の方々の障害への理解につながり、交流が生まれた。
- ・コロナ禍でもできることを積極的に立案し、ICTを活用して活動を止めない工夫をした。

## 課題や今後の取り組み

- ・家庭環境の多様化により、PTA活動に対する意識も変化してきたことを尊重しつつ、その意義や内容について、一層啓発していく必要がある。

## その他の取り組み紹介

- ・就労支援事業所オンライン見学会  
例年行っていた事業所の見学会開催をつなげるため、事業内容や利用者のみなさんの様子がわかるプレゼンテーション資料をご用意いただき、保護者は自宅にいながら将来について具体的に意見交換する活動ができた。

## 基礎情報

所在地

長野県上田市

全校生徒数

294名

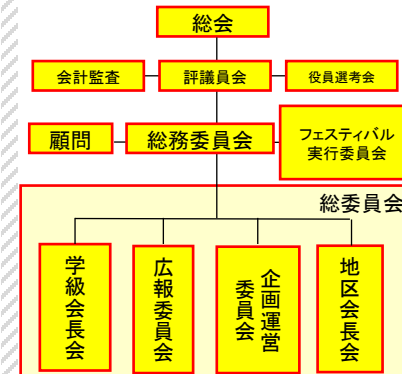
地域の特徴

長野県の東に位置し、人口15万人の長野県3番目の都市である。戦国時代真田氏が築いた城下町で、明治時代には養蚕業で国を支え、上田蚕糸専門学校（現上田東高校）・信州大学繊維学部など「蚕都 上田」とも呼ばれている。

学校の特徴

上田市の中央に位置し、道を挟んで上田城址がある。江戸時代上田藩の藩校「上田藩文武学校明倫堂」の跡地に建てられた学校である。当時の校訓が「明倫の心」として現在も教育目標に掲げられ、生徒も教師も保護者もそして地域にも浸透している。

組織構成



担当課：長野県教育委員会  
文化財・生涯学習課

## 生徒とともに作ったオンラインを活用した地域との交流活動

キーワード デジタル技術活用／地域との連携／主体的な学び

## 取組概要

「中学生と大人が同じテーマについて語りあう」「地域の方から学ぶ」ことなどを目的に行われていたPTA主催の行事をオンラインを利用することにより、新たな魅力ある取り組みに刷新した。

## 取り組みの詳細



「二中フォーラム」では14の講座を開設し、地域の方から学ぶ場とした【写真】オンラインで学び合う「似顔絵講座」の講師と生徒

密にならずに全校で楽しむ活動「二中フェスティバル」【写真】地域のお店を学級ごとと選び会食。オリジナル弁当とポスター



## 成果

コロナ禍という現状を受け入れ、知恵を出し合いながら、工夫することで、アイデアが生まれ調和が生まれた。組織として一歩前進できた。

## 課題や今後の取り組み

判断をぎりぎりまで粘ったため、意思決定が遅くなり、負担を増やしてしまった。

## その他の取り組み紹介

- 各支部ごとの地区生徒会と地域活動優先日の設定
- 年間3号を発行するPTA新聞
- 校内環境を親子で整えるPTA作業（本年度は密対策のため）役員のみ
- 人権について考えるPTA講演会の開催

## 基礎情報

## 所在地

岐阜県羽島郡笠松町

## 全校生徒数

558名

## 地域の特徴

濃尾平野を流れる清流木曾川流域で、愛知県と隣接している。織田信長の家臣森可成の生家や江戸時代の陣屋跡があり、岐阜市や名古屋市に近く、地理的・観光的に「豊かさ」と「やすらぎ」あふれる創造文化都市である。

## 学校の特徴

学校目標「たくましく未来を切り拓く生徒の育成」、校訓「真・善・美」を大切にして、「学習」「清掃」「合唱」「ボランティア」に取り組んでいる。昭和22年に創立し、校区には笠松小学校・松枝小学校・下羽栗小学校の3校がある。

## 組織構成

校区3小学校から選出される運営委員のもとに、広報、家庭教育、学年委員会行事、校外指導などのP T A関連行事を企画運営している。また、学年委員会には各学級から委員を選出し、校外指導委員会は各地域で選出し、それぞれ組織し活動している。

担当課：岐阜県教育委員会  
学校支援課

## 今一度対話からはじめよう

キーワード 必要とされる組織 / P T A本部役員 / 合理的配慮

## 取組概要

コロナ禍によりP T Aの活動が制限される中で、P T A組織の価値、そして今後の活動を見つめ直すために、P T A本部役員と学校、P T A本部役員と中学生が対話を行った。

## 取り組みの詳細

## ① P T A役員と学年主任との対話

「学校を身近に P T Aを身近に」

保護者と先生との交流をする機会が減少する中で、お互いの思いを理解し合うことを目的に行った。学校は保護者に求めることやP T Aに求めることをお願いし、P T A保護者は学校への不安やお願いなどを話す機会となった。

## ② P T A役員と中学校生徒会との対話

「中学生がP T Aに求めること」

中学生にとって必要であるP T Aとして生徒会からの要望を聞くことを目的とした。要望についてP T A予算での対応や、P T Aとして行政への要望をした。



## ③ P T A役員と校長先生との対話

「学校運営と共にあり続けるP T A」

校長先生から学校運営、P T Aに求めること、保護者として大切にしたいことなどを講話していただき、学校を身近に感じていただくことを目的とした。講話の後、役員から校長先生に質問を重ね、答えていただいた。

## 成果

・P T A役員を受けた保護者が学校と対話することで学校を身近に感じることができた。

・生徒会の要望が行政に届き、中学校トイレ改修が計画され予算が成立した。

## 課題や今後の取り組み

・各学年によって保護者の悩みも違うため、学年毎に開催時期を決めると効果的である。また、テーマを決めることでより深い内容になる。

・トイレ研究会が発足し、トイレを清潔に大切に使用する。

## その他の取り組み紹介

- ・リユース販売
- ・自転車点検（動画配信）
- ・SNS講習（動画配信）
- ・広報紙発刊



## 自主的な組織運営とコロナ禍での活動の工夫

**キーワード** 教師に頼らない自主的な組織運営 / コロナ禍での代替活動

### 取組概要

- ・PTA活動全般について、安易に教職員に頼ることなく、保護者により自主的かつ適切に運営されている。
- ・クラス別懇談会の代替として『先生に聞いてみました』『伊勢高なんでもQ & A』という冊子を編集・発行した。

### 取り組みの詳細

- ・活動を自主的なものとし、教師負担を極力減らすよう、理事の選出、役割分担等を十分に話し合った上で実施している。
  - ↓
  - 年度末、新入学予定生徒の保護者のうち、PTA理事としての参加希望者を募ったうえで、個別に連絡を取り、次年度理事や役員の出陣等を丁寧に行い、理事会で役割を決定をする。
- ・コロナ禍で通常の活動がほとんど中止にせざるをえない中、会員が学校の情報を把握できるよう、冊子の発行をするなど工夫している。
  - ↓
  - ①クラス懇談会の代替として『先生に聞いてみました』の発行
  - ②保護者の学校生活や進路に関する疑問に答える形で『伊勢高なんでもQ & A』を発行



### 成果

- ・組織運営が伝承され、確立している。
- ・対面的な活動を補完している。

### 課題や今後の取り組み

- ・組織運営の強みを継続するため、会員間の親睦を図る企画を工夫する。
- ・コロナ禍の困難で培ったノウハウを生かしていく。

### その他の取り組み紹介

- ・広報誌の発行
- ・文化祭行事への参加
- ・大学訪問ツアーの実施 等

## 基礎情報

所在地

三重県伊勢市

全校生徒数

832名

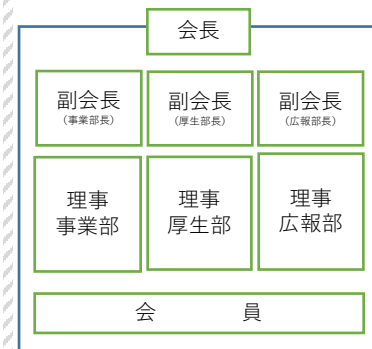
地域の特徴

伊勢志摩国立公園内に位置し、伊勢神宮を中心として、文化・自然・食等の観光資源にあふれ、年間を通じて観光客等の多い地域である。2016年には伊勢志摩サミット(G7)が開催された。

学校の特徴

伊勢市の中心部 倉田山丘陵地に位置し、創立67年を迎えた。三重県南部の進学校として、地域の信頼を集め、実績を重ねている。学年の役半数が国公立大学に進学し、難関大学等へも多数進学している。SSHに指定され11年目を迎えた。

組織構成



担当課：三重県教育委員会  
社会教育・文化財保護課

# 全世帯加入における多様な生活スタイルへの呼応と、コロナ禍の工夫

**キーワード** 多様な参画の仕方 / 保護者間交流 / 合理的配慮 / ICT活用

## 取組概要

役員会、研修会等をオンラインやハイブリッド形式で実施する他、事後配信を併用することで、誰もが参画できる新しい活動スタイルの構築を目指した。コロナ禍により集合開催ができない中であっても、活動を継続させ、会員間の交流を深めることに繋がった。

## 取り組みの詳細

### 役員会 ⇒ オンライン(Zoom)での開催

- ・先生および執行部→学校から
- ・他の役員→自宅から 参加



学校ではホストのパソコンにカメラ2台とマイク2台を接続し、複数の発言者の顔と声が拾えるよう調整した。挨拶や資料は、発言者のパソコンから共有した。

### 研修会 ⇒ ZoomからYouTubeへのストリーム配信 (配信会場+お好きな場所で)

緊急事態宣言解除後、訪問を予定していた大学での研修会（先生の講演・現役学生との対談）を「オンライン開催」に変更して実施した。



訪問先の大学の先生や学生さん→各自Zoomから  
保護者→配信会場、お好きな場所でYouTubeのライブ配信にて 参加

### ⇒質問、意見を「Slido」アプリにて受付

（どこからでも(YouTube配信から参加している方も)質問が可能となった)



配信会場参加： 34名  
YouTube(当日)： 77名  
録画事後配信： 133名  
計 244名  
(2020年度参加者：89名)

⇒期間を設けての事後配信（ホームページ活用し、限定公開）

## 成果

- ・研修会参加者数の増加（昨年度比約2.74倍）。
- ・各家庭の生活スタイルに応じて参加日や手段を選択し、活動に参画することが可能となった。

## 課題や今後の取り組み

- ・継続して運営ができるよう、マニュアル等を策定し、役員の負担軽減に努めたい。

## その他の取り組み紹介

- ・PTA会費より学校ホームページをリニューアルし、子どもたちの授業・行事の様子やPTAの活動等、膳所高校での就学環境を広く公開することに努めた。学校と家庭とをつなぐツールとしても役立っている。

- ・事業実施時には、Formsを使ってアンケートを実施し、会員の具体的な要望を把握することに努めた。

- ・長引くコロナ禍での子どもたちのメンタルヘルスケアとして、

県内相談機関を掲載した保護者向けのリーフレットを作成し、全会員あて配付した。



所在地

滋賀県大津市膳所2丁目11番1号

全校生徒数

1,111名

地域の特徴

校舎から見渡すと、びわ湖と遠くに聳え立つ比良比叡の山並みが目前にひろがり、聖武天皇が天平年間に設けた木津領宮の礎跡を記した文様が前庭に施されている。豊かな自然と歴史と伝統が息づく地に、本校は立地している。

学校の特徴

明治31年創設の滋賀県第二尋常中学校を起原とし、120有余年の伝統を誇る。旧膳所藩の藩校「遊義堂」が置かれていた場所に立地し「遊義・力行」の校訓の下、SSH指定校として「自主・自律」「文武両道」で、志ある次世代の国内外のリーダー育成を目指している。

組織構成

膳所高校PTAは正式名称を「滋賀県立膳所高等学校父母教師の会」という。生徒の保護者と教職員等を会員として構成する。本PTAでは、各家庭と学校との連絡を密にし、膳所高校の運営を助け、教育に関する環境の改善に努め、教育の効果を増進することを目的とする。

【膳所高校PTA役員構成】

会長 1名

副会長 2名

幹事 2名

書記 1名

監査員 2名

庶務 若干名

学年役員・各学年原則として生徒入学時のクラス数に2を乗じた数を定員とする

担当課：滋賀県教育委員会事務局  
生涯学習課

## 「できる時に できる人が できることを」～すべては三国の子どもたちのために～

キーワード コロナ禍での活動の工夫 / 子ども・保護者・学校をつなぐ / 教師・保護者の利便性向上

### 取組概要

コロナ禍で例年の活動ができない中、子どもたちのためにできることを無理なく、しかし大切なことに取り組んだ。

### 取り組みの詳細

#### ① 学年Tシャツの作成

林間学習や運動会などの行事で、全員お揃いで着るためのTシャツを作成。デザインも子どもたちから公募し、保護者・教職員とのつながりを表しました。



#### ② 運動会動画配信

緊急事態宣言期間中により、運動会が無観客での実施となったため、保護者が子どもたちの様子を見ることができるよう、業者による動画配信を実施。運動会の雰囲気を感じることができました。



#### ③ 健康観察アプリの導入

欠席時の電話連絡がなかなかつながらない状況の改善、全員の健康状態の早期把握のために健康観察アプリを導入。電話対応の時間が削減され、より重要なことに時間を使えるようになりました。



### 成果

- ・対面で活動できなかった期間が長かった中、できることを工夫することで、保護者にPTA活動の大切さを改めて実感してもらえた。
- ・PTA行事の精選につなげることができた。

### 課題や今後の取り組み

- ・子どもたちの登下校の見守りを、地域の方々にだけ任せるとはせず、すべての保護者で安全を守れるような仕組みを作っていく。

### その他の取り組み紹介

- ・PTA新聞「クローバー通信」年3回発行
- ・学校公開受付（健康観察・消毒の励行）
- ・学年集会企画・運営
- ・校区内登校監視



所在地

大阪府大阪市

全校生徒数

741名

地域の特徴

周辺地域には駅・商店街があり、交通・生活に便利などが多い。そのため、一戸建てだけでなくマンションが増えてきており、児童は増加傾向にある。お祭りや防災訓練など、地域行事が盛んで、学校教育へも協力的である。

学校の特徴

教育目標を「豊かな人間性をもちたくましく生きる子どもを育てる」とし、「認め合い支え合う子ども」「よく考え工夫する子ども」「知識豊かであこがれの子」をめざして取り組みを続けているため、素直で真面目に取り組む子どもが多い。

組織構成

☆ 本部役員

会長 1名  
副会長 2～4名  
書記 1名  
会計 1名

☆ 会計監査委員会 3名

☆ 実行委員

総務委員会 各学年4～8名  
広報委員会 10名  
文化交流委員会 4名  
保健体育委員会 8名  
学級委員会 各学級1名  
地域・校外指導委員会 各学級1名



## オンリーワン教育を具現化する教職員とPTAの連携

キーワード 教職員とPTAの繋がり

### 取組概要

「本部」「企画委員会」「広報委員会」「生活委員会」「学年委員会」で構成され、毎月1回の執行委員会および年1回の総会を開催しています。全校生徒が安心して安全に日々の高校生活を送れるよう教職員と常に連携を図り、学校行事のサポートだけでなく、外部講師を招いて生徒の健全な育成に向けた講演会などを開催しています。



### 取り組みの詳細

#### ◎学校行事

「入学式」および「卒業式」への参列  
「体育大会」や「マラソン大会」にて、ドリンクの支給など運営のサポートをしています。「文化祭」にて、フリーマーケットの商品提供および運営・飲食模擬店の運営や炊き出しをしています。 ※但し、コロナ禍においては飲食の提供は中止

#### ◎講演会

「生徒の未来を育む会」  
外部講師を招いて、生徒が充実した高校生活を送るための保護者の役割などについて勉強し、実際の家庭内での子育てに役立てて頂いています。教職員も聴講し、情報共有しています。

#### 「PTA社会見学」

教職員と共に参加しており、産業・商業・工芸・芸能など日本の経済成長を支えてきた様々な職業を見学したり体験したりすることで、新たな生き方・新たな社会で求められる人物の育成に反映させています。

#### ◎ICT化の推進

Classiを活用し、学校行事の案内や連絡事項などを保護者へ配信しています。また、同ツールでは、実力テストや模試の成績推移を保護者が確認できるようになっています。コロナ禍における三者懇談は、Zoomなどのビデオ通話機能を活用し、担任と保護者・生徒がお互いの顔を見ながら懇談を実施しました。

興國高校専用YouTubeチャンネルを開設しており、保護者対象の説明会（進路に向けての説明会・新2学年オリエンテーション・研修旅行説明会など）が動画で視聴可能です。興國高校公式のFacebook・Twitter・Instagram・LINEを駆使し、リアルタイムで生徒たちの活躍や取り組み・成果などの情報を保護者へ配信しています。

### 成果

高校生活の様子や成績が把握可能で、状況に応じて必要な対応を迅速に取れるようになっています。また、学校行事に関わることで親子の会話が増えます。さらに、保護者同士の共有もでき、PTA全体で全校生徒を見守る環境が整っています。

### 課題や今後の取り組み

創立100周年に向けての広報活動や企画の立案を検討していきます。ウクライナからの留学生の受入れに際し、ホームステイの協力や日本文化に触れてもらう機会をサポートしていきます。

### その他の取り組み紹介

- PTA新聞の発刊・文化体験講座・陸上自衛隊中部方面音楽隊による演奏会への臨席・各運動部の保護者会
- 全国大会や府予選決勝戦などの応援への動員

## 基礎情報

所在地

大阪府大阪市

全校生徒数

2,377名

地域の特徴

天王寺区寺田町は大阪市の中心部に位置し、府内・市内はもちろんのこと兵庫・奈良・京都・和歌山からのアクセスも充実しています。商業の街として栄え、飲食店が軒を並べる活気に満ち溢れた街である一方、寺社仏閣が多数建立されており、趣・風情のある街並みが広がっています。あべのハルカスと四天王寺の五重塔など「今昔のコントラスト」が楽しめます。

学校の特徴

大正15年(1926年)に創立された男子校。人の役に立つために行動できる人物を育てると共に、一人ひとりが光り輝き、自分の夢を実現させていく「オンリーワン教育」を推進しています。そのため、超高校級のアスレチックセンターやICT教育に対応した最先端機器を完備するなど、設備・環境が整っています。また、多様なコース設定も特色の一つで、一人ひとりの夢や目標に応じた学習プログラムが満載です。「育成の興國」の名に相応しく、京都大学を始めとした国立大学への進学者やプロスポーツ選手を多数輩出しています。

組織構成

本部役員  
(会長・副会長・書記・会計・会計監査)  
↓  
企画委員会・広報委員会・生活委員会・学年委員会

担当課：大阪府教育庁地域教育振興課

## できる時に、できる事を、協力し合って活動する育友会

キーワード 会員保護者の意思尊重 / 保護者の負担軽減 / デジタル技術活用

### 取組概要

保護者の意思を尊重し、無理のない範囲で活動しようと心がけてきた。結果的に保護者同士が積極的に交流し合い、協力し合う組織へと変容した。

### 取り組みの詳細

#### 育友会の入会案内と役員・委員選出に関するアンケート

新入生合格者説明会で、育友会活動は、「クラス委員等をくじ引きで決めるなど、無理強いすることはありません。」と丁寧に説明している。また、会員にアンケートを実施し、「引き受けてもよい」「他にいなければ引き受けてもよい」と回答された方から、委員等への就任をお願いしている。

入会や委員等への就任に保護者の意思を尊重することで、育友会活動に積極的に参加いただき、加入率を維持している。

#### 会員等の連携・協働

Zoomでのオンライン会議やGoogleドライブを共有することにより、できる限り集まらない活動によって、広報誌を編集した。

本会評議員会に高等養護学校PTA役員がオブザーバー参加し、高等養護学校高円分教室(\*)とのインクルーシブ教育について交流を図った。(\*)高等養護学校高円分教室は、高円高等学校・高円芸術高等学校内に設置されています。



### 成果

- ・保護者本人の意思で役員・委員に就任しているので、役員会や専門委員会での意見交換が活発に行われている。

### 課題や今後の取り組み

- ・育友会独自のホームページの整備等ICT化の推進。
- ・会員保護者への情報発信の活性化。
- ・活動ごとに有志を募集することによる参加促進。

### その他の取り組み紹介

- ・教員とともに行う乗車マナー等の校外指導。
- ・広報誌を年2回発行。

所在地

奈良県奈良市

全校生徒数

669名

地域の特徴

本校は、奈良市市街地の東端に位置し、周りには田園風景が広がっている。北東には高円山、春日山を望み、緑豊かな環境にある。また当地には、万葉集にも歌われる「高円の宮」の位置の推定もあり、建設時の文化財発掘調査では貴重な遺構が出土したが、すべて埋め戻して地下保存されている。

学校の特徴

昭和58年普通科高校とし開校し、平成3年度に芸術科を新設。平成7年度には音楽科と美術科に改編、平成17年度にはデザイン科を新たに設置、令和3年度には高円高校の歴史を受け継ぐ形で「高円芸術高等学校」を開校し現在に至っている。

組織構成

- 本部役員
  - 会長 1名
  - 副会長 3名
  - 書記 4名
  - (うち1名は教頭、1名は特別会員)
  - 会計 2名(うち1名は事務長)
  - 会計監査 2名
  - 委員
    - 学年委員 各学年在籍生徒数の1/20
    - 専門委員 学年委員が兼務
  - 専門委員会
    - ・生活進路委員会
    - ・人権教育委員会
    - ・家庭教育委員会
    - ・広報委員会

担当課:奈良県教育委員会事務局  
人権・地域教育課

## 合言葉は「PTA活動を止めない！」新型コロナに負けないPTA活動

キーワード

積極的かつスピーディーな情報発信 / 教師・保護者の負担軽減 / 地域との協働活動

## 取組概要

コロナ禍の中でも「PTA活動を止めない」を合言葉に、自校のPTA活動はもとより、東伯郡中学校PTA連合会会長校、また中学校区小中学校連携事業幹事校として、自校だけでなく郡内のPTA活動を止めないために開催方法等を工夫しながらほぼすべての活動を実施した。生徒減少等の課題や社会の状況に応じて、組織・運営の工夫を行って活動を続けている。

## 取組みの詳細

## PTA日より「LIVE」

PTA四役会・総務委員会開催後に、通信「LIVE」を発行。コア組織となっている総務委員会での協議結果等をスピード感を持って会員への周知に努めている。

行事後には保護者アンケートをとり、意見や要望を集約して学校のホームページで発信する等、会員の総意反映に努めている。



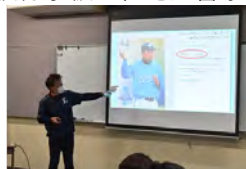
## 状況に応じた工夫を

東伯郡中学校PTA連合会の会長校として、人権教育研修会を参集とリモートを組み合わせたハイブリッド方式で開催。郡内の多くの会員が参加できる体制づくりを工夫した。



## 地域と連携した家庭教育学級

学年部主催の家庭教育学級で、地元警察署や町のコンディショニングトレーナー等の地域人材を招いた研修を開催する等、地域と協働して活動を行っている。



## 現状に応じた組織等の変更

中山間地の生徒減少に合わせて役員を地区単位でなく学年単位に改める、会費の集金方法を現金ではなく振替にする、参集しない代わりに部会の打合せにSNSを活用するなど、会員を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら負担軽減に努めている。

## 赤中校区「メディア21:00」運動

県PTA協議会が提唱している「メディア21:00」運動を、赤碕中学校区小中PTA連携事業として実施。

ポスターを作成、配布する等の取組を行い、赤碕中学校区の全家庭と学校が連携してメディアと子どもたちとの関わりについて家庭啓発等を行っている。

## 成果

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、人が集うことが制限される中、「PTA活動を止めない」を合言葉に、ほぼ予定どおりの活動を実施できた。

## 課題や今後の取組み

- ・教職員の業務改善、家庭数の減少に伴う予算や組織などの再編。
- ・中学校区PTAの連携した取組のさらなる実践。

## その他の取組み紹介

- ・学校支援ボランティアと連携したPTA除草作業を年3回実施。
- ・学年部主催の「朝のあいさつ運動」を実施。全保護者が運動を実施。

所在地

鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1922番地1

全校生徒数

172名

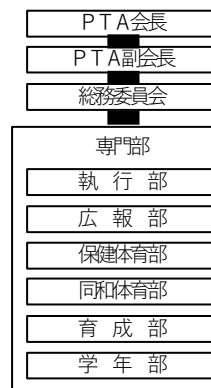
地域の特徴

県のほぼ中央に位置し、人口は約1万6千人で、農業・漁業・商工業が盛ん。北は日本海に面し、南は秀峰大山から連なる山地に囲まれている。日本の滝百選に選ばれた「大山滝」、太平洋の舞台となった「船上山」と、歴史・自然・産業ともに魅力いっぱいのまちである。

学校の特徴

昭和22年に開校し、令和3年度で74年目を迎える学校である。「赤中人権宣言」を策定し、すべての人が大切にされる学校をめざし、「人権プロジェクト」にも取り組んでいる。生徒会活動が盛んで、ボランティア活動「赤チャレ」には多くの生徒が参加している。

組織構成



担当課：鳥取県教育委員会事務局  
社会教育課



所在地

岡山県岡山市

全校生徒数

1,036名

地域の特徴

岡山市中心部に位置し、学区の中心を南北に貫く県道岡山児島線沿いには、飲食店や店舗などが立ち並んでいる。また、交通の利便性がよく、住宅やマンションが多い。

小学校の南東に隣接して大元中央公園があり、夏には「サマーフェスタ大元」が開催されるなど地域住民の憩いの場となっている。

学校の特徴

昭和48年に西小学校、鹿田小学校から分離して740名で開校した。令和4年度で、創立50周年を迎える。

「みんなで みんなで かしく元氣 自信をもって 自分から」を学校教育目標に、1000人を超える児童が、落ち着いた学校生活を送っている。

組織構成

- ・執行部（会長・副会長・幹事）、学年学級部 文化部 研修部の各部員を加えて、地区評議員 特別委員、会計監査を置いている。
- ・学級部・・・各学級の互選により3名 教職員・・・教職員の互選により若干名
- 地区評議員・・・地区の児童数を考慮し選出 特別委員・・・1、3年生各学級の互選により3名
- 会計監査・・・2名
- ・会費は、総会、評議員委員会及び常任委員会、特別委員会とする。

担当課：岡山県教育庁生涯学習課

## 「できることをできるときに」を合言葉に、効果的な運営を推進

キーワード

家庭状況の多様化による組織の見直し・負担の軽減／コロナ禍における活動の充実

### 取組概要

活動の効率化や組織の見直しを図っている。コロナ禍でも、校内テレビ放送による読み聞かせや体育会の応援動画作成を行い、効果的な運営を進めた。

### 取り組みの詳細

#### ○活動の効率化や組織の見直し

家庭状況の多様化に伴い、多くの家庭が参加しやすくなるように会員が行う活動の効率化を図ったり、組織や活動の見直しを常に行ったりしている。メールやSNS等を利用して会議の回数を減らし、会員の負担軽減に努めている。

#### ○コロナ禍でも子どもたちのための活動を展開

「できることをできるときに」を合言葉に活動している。コロナ禍で様々な制限がある中、校内テレビ放送を利用して読み聞かせを行ったり、体育会応援動画の作成を行ったりと、児童が元気になる活動を実施した。体育会応援動画は校内テレビ放送による開会式で上映した。



〈テレビ放送で体育会応援動画を観る児童〉

### 成果

- ・コロナ禍でも児童のためになる活動を工夫したり、既存の活動を改めて見直したりすることができた。
- ・体育会は同日学年別開催だったが応援動画視聴で全校の一体感が高まった。

### 課題や今後の取り組み

- ・家庭状況の多様化やコロナ禍で、会員同士や地域とのつながりが薄くなりがちである。今後の感染状況も踏まえながら、会員の研修や地域活動への参加のあり方などを見直していく。

### その他の取り組み紹介

- ・大元公民館主催の制服リユース活動に、保護者が中心となって活動している地域の「子どもの居場所サポート隊」と協働して参加している。感染症対策のため、準備が大変だったが、公民館と保護者が協力したことにより、事業を円滑に進めることができた。

# クラス代表制度を廃止し、ボランティア制度を導入して効率的な運営

キーワード クラス代表制度の廃止 / ボランティア制度 / 全会員への意識調査 / 卒業生・在校生親子参加

## 取組概要

ほぼ全てのPTA活動をその都度ボランティア募集して行う「PTA活動ボランティア制度」を市内で初めて導入し、保護者、教職員だけでなく、児童、卒業生までが活動に参加するなど効率的な運営を実施。

## 取り組みの詳細

**PTA活動「ボランティア制度」**  
～やらさせる活動ではなく、笑顔で取り組む活動へ～



ベルマーク整理の様子

**経緯** 会員の負担となっていた半強制的な活動体制を取りやめ、ボランティア制度へと移行。ボランティア制度導入についても、全会員に意識調査アンケートを実施し、意見を聴取。制度移行への反対者はゼロ。



整備作業集合時



親子で清掃中



灯りまつり片付けの様子

## 取組内容

- ・第1回ベルマーク整理 (参加者44名)
- ・第2回ベルマーク整理 (参加者42名)
- ・第3回ベルマーク整理 (参加者36名)
- ・灯りまつり片付け (参加者234名)
- ・整備作業 (参加者138名)



## 成果

- ・活動、行事の都度、ボランティア募集を全会員に行い、全員で取り組む意識、思いやりの輪が広がった。
- ・保護者、教職員だけでなく、在校児童、卒業生も多数参加した。

## 課題や今後の取り組み

- ・令和4年度はPTA主催で昨年度に引き続き「高須小灯りまつり」を開催し、創立150周年行事として、夏には、星空映画祭を学校のグラウンドにおいて開催し、更に秋には大花火の打ち上げを実施する。課題は、大人数のボランティア参加時のコロナ対策。

## その他の取り組み紹介

- ・高須小灯りまつり2021
- ・ベルマーク整理活動
- ・夏季整備作業活動
- ・制服無償譲渡活動
- ・給食懇談会WEB配信



### 所在地

広島県尾道市

### 全校生徒数

791名

### 地域の特徴

高須地区は、太田貝塚や塩田跡、前方後円墳が残り、豊かな松永湾の恵みを受け、大昔から人が住んでいた地域である。

また、旧山陽道、旧国道2号線、国道2号線(尾道バイパス)、JR山陽本線などが東西を貫き、JR東尾道駅をはじめ、住宅開発、大型商店の進出が進み、本校区は急速に都市化が進んでいる地域である。

### 学校の特徴

高須小学校は松永湾を望む高台に位置し、児童は毎朝学校までの急勾配を徒歩で登校する。令和4年度に創立150周年を迎え、新たに校訓を「自強・至誠・夢」に定め、さらなる未来へのスタートを切る。10月下旬には、PTA主催の記念式典を行う予定である。

保護者や地域が学校の教育活動への理解や期待が大きく、コロナ禍においてもPTA役員を中心に、創意工夫しながら様々な行事や活動が実施できている。

### 組織構成

○組織は、執行役員として会長1名、副会長6名、書記6名、会計1名、会計監査2名。

○会議は、総会、役員会、実行委員会、専門委員会(財務委員会、教養委員会、学級委員会、厚生委員会、体育委員会、地区委員会)、役員候補者選考委員会。

担当課：広島県教育委員会  
生涯学習課



## 基礎情報

所在地

豊前市

全校生徒数

212名

地域の特徴

宇島漁港を擁する昔からの漁師町。隣人同士の密接な付き合いが残る。外からきた人も受け入れられやすい。

学校の特徴

漁をイメージした「天祥丸」という独自の踊りを5・6年生が運動会などで披露。これは、地元青豊高校のダンス部が振り付けを考案。和のテイストとヒップホップダンスがミックス。

組織構成

会長	母親代表正	学校
副会長5		母親代表副
		事務局
		会計

運営委員会

企画総務	広報情報	総括町内
委員長	委員長	委員長
委員14	委員16	副委員長
		委員18

担当課：福岡県教育庁教育振興部社会教育課

## 「できる人ができる事を、できる時に」

キーワード 多様な働き方・暮らし方 / 教師・保護者の負担軽減 / SNSの活用

## 取組概要

学校の行事や困りごとにP T Aが積極対応。役員を中心に保護者一人一人が提案、行動している。

## 取り組みの詳細

多様な働き方・暮らし方の保護者がいる中、「できる人が、できる事を、できる時に」をモットーに、自主参加型の活動を展開。その結果、一人の役員だけが苦勞するというようなことがなく、その場、その時、動ける会員が活動。活動のための情報はSNSを活用して周知。みんなで動くことで、結果として、教師・保護者の負担軽減となっている。組織率100%で保護者は全員P T A会員。

マラソン大会では、保護者による伴走や、コースでの見守りを行い、学校行事を支援した。

死亡事故が起きた見守り隊のいなかった交差点。交通量も以前より増え危険。母親の呼びかけにより、毎朝登校時に保護者による児童の見守りが始まった。

月に1度は会長と校長が情報交換。密接な連携を図り、学校の側溝のつまりや校庭の樹木の伐採など先生方の困りごとにおやじの会が中心に対応。



## 成果

- ・自主参加型組織による学校行事や各イベントの活性化。
- ・地域組織との連携で、子どもへの手厚い見守りと支援。

## 課題や今後の取り組み

- ・子どもたちは、コロナ禍による行事やイベントの縮小で、様々な活動を我慢してきた。今後は、感染対策を講じながら、行事やイベントの拡大、充実を図りたい。

## その他の取り組み紹介

- ・地域の宇島老人クラブが、見守り隊を組織。60名ほどの会員が交代で校門前や交差点などに立って、毎朝夕、子どもたちの登校を見守っている。P T Aも連携、参加している。

## 基礎情報

所在地

長崎県諫早市

全校児童数

330名

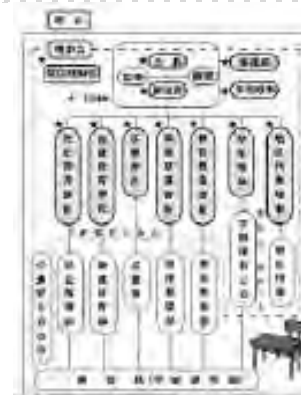
地域の特徴

本校がある諫早市真崎町は、諫早市西部に位置し、西は大村市に隣接しています。校区内は平成11年から随所に新しい住宅地が造成され、昔ながらの地域と新興住宅地が混在している地域である。

学校の特徴

本校は昭和61年に真崎小学校から分離して開校した今年で37年目を迎える市内で最も新しい小学校である。開校当初に「地域に根差した教育活動の創造」を研究テーマに取り組んだことから、現在でも地域団体との連携や、保護者による育友会活動やボランティア活動が盛んに行われている。

組織構成



担当課：長崎県教育庁  
生涯学習課

## 誰もが無理なく楽しく繋がる育友会を目指して～KAIZENの継続とチャレンジ～

キーワード

組織の見える化/保護者の参画意識の向上/生活スタイルなどの多様性に配慮した可塑性のある組織づくり

## 取組概要

- ・保護者へのアンケートなどの結果などに基づき、あいさつ運動・役員選出方法などをKAIZEN
- ・保護者への会費の使途伝達方法・常任理事会便りの内容などをKAIZEN

## 取り組みの詳細

\* 漢字での「改善」は誤りや欠点を直す意味ですが、KAIZENは「作業効率を見直す活動」のことで、一般企業で取り入れられています。その意味合いを考えローマ字で表記しています。

生活スタイルの変化や社会教育団体への参画意識の変化



保護者から「育友会活動が負担」との声



## ①育友会組織の見える化をしよう

「育友会費使途がわかりやすいプリント」作成  
「活動内容が具体的にわかりやすいプリント」作成

## ②参画意識向上や誰もが無理なく繋がるようにしよう

「従来の活動に対するアンケートを全世帯に実施」  
「アンケートを基にした活動のKAIZEN（ベルマーク活動・あいさつ運動）」  
「従来からの懸念事項（プリント発行手順・役員選出方法）をKAIZEN」



- ・既成概念にとらわれない、前例踏襲だけではない「**可塑性のある組織づくり**」
- ・巧遅より拙速「**まずはチャレンジ**。問題点はその都度KAIZEN。また引き続きKAIZEN」

## 成果

- ・何のための活動かがわかりやすくなり参画意識の向上に繋がった。
- ・活動時間の短縮や、活動を選べるようになり、負担感の軽減に繋がった。

## 課題や今後の取り組み

## 「活動の継承」

<課題> コロナ禍後活動が平常に戻ったときスムーズに行事などの開催が可能か。  
<今後の取り組み> 誰もが継承できるための「マニュアル作成」

## その他の取り組み紹介

## 「地域協働」

- ・健全育成会活動において、保護者が主体的役割を担っている。
- ・育友会主催行事のワクワクふれあい広場に地域の方を講師として招き、三世代交流を図っている。

## 「会員相互の学び」

- ・図書ボランティア活動やおやじの会活動

基礎情報

所在地

熊本県熊本市

全校児童数

415名

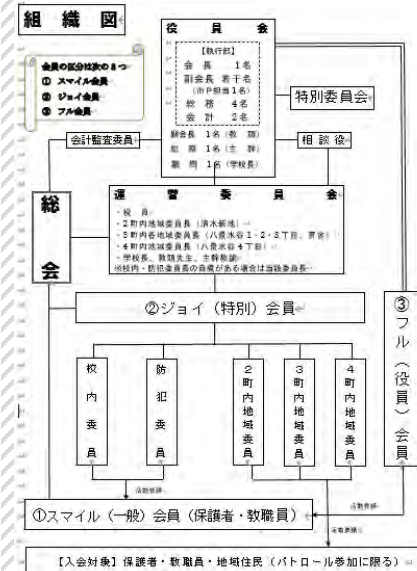
地域の特徴

「地域に開かれた学校」をめざし、平成18年から校区秋祭り「ふれあいの日」を開催している。PTAが事務局となり22の地域団体が参加する実行委員会をつくり、学校を中心とした地域作りの象徴となるイベントとなっている。

学校の特徴

昭和38年に開校。今年度で創立60周年を迎える。校区内にある自衛隊の世帯児童が多く在籍しているため転入転出が多い。校訓の『協力・活力・情感・善行』を軸としたR4年度の学校方針は「思いやり」を育む教育となっている。

組織構成



担当課：熊本県教育委員会 社会教育課



関わり方改革で、変容できるPTAをめざして

キーワード

PTAの関わり方改革 / 変容 / 会員の区分制 / YouTubeチャンネルの開設 / 思いをかたちに

取組概要

状況に応じて“変容”できるPTAをめざして、PTAの関わり方改革を少しずつ進めた。会員自身もその時の状況に応じた関わり方ができるように「会員の区分制」を導入。その結果、自発的な活動と協働性を高めることができた。

取り組みの詳細

変容1 会員：一家庭一役 → 会員区分

“PTAの関わり方改革”を段階的に実施。定例会の時短 < 委員会の見直し < 一家庭一役の割り当ての廃止 < 会員の区分制の導入

Point: 組織の変容と共に会員自身も変容できるように、エントリー型で自発的な参加を促すために「会員の区分分け」を行った。



- F会員
J会員
S会員
入会しない

Point: F (フル) 会員/執行役員 (活動・予算の執行)
J (ジョイ) 会員/地域・校内・防犯委員 (地域・学校との協働性が高い委員は維持)
S (スマイル) 会員/サポーター (必要に応じて活動へ参加)
入会しない / (任意加入を明瞭化)

Point: 活動に関わる時間・内容を考慮して、会費の金額を区分毎に分けた。

変容2 広報：YouTubeの活用/地域連携を2次元でも

費用と人をかけずに、最大限の広報効果があるYouTubeチャンネルを活用。活動の様子を伝えやすく、地域の魅力を発信するツールとしている。



視聴QRコード

- Point: コロナ禍で希薄となった「地域とのつながり」を継続するために『じょいちゃんねる44~掲示版・電子版~』を企画
Point: 協働活動⇒取材活動により地域とのつながりを維持できたほか、地域団体等の紹介を行うことで、地域の魅力を発信するツールとなった。
Point: 学校の空教室に掲示ブースを設けたため、子どもたちは地域団体について知ることができた。動画は活動の様子をリアルに伝えることができるため、活動の成果や楽しみを会員で共有しやすくなった。

成果

- ・PTAのイメージ：「硬い→楽しそう」に変わったと話す会員が増えた。
・YouTubeチャンネルの開設
・活動の様子を動画で確認できるのでいつでも親子で楽しむことができる。

課題や今後の取り組み

- ・「関わり意識」のさらなる啓発
・PTAに対する「当事者意識」を促す情報発信の工夫

その他の取り組み紹介



城千灯
じょうせんとう
◆プラスチックコップとLED電球を使ったキャンセルイベント



おさんぽ
パトロール
◆下校時間のパトロールに地域住民の協力



卒業記念DVD
◆コロナ禍の式典に花を添えるために

☞他活動の様子は左記QRから

組織・運営の工夫

地域協働・連携

学びに関する活動

生活指導活動

その他

## 「時代に合わせた変化」で、みんなが笑顔になれる組織運営

キーワード 一家庭一役 / 教師・保護者の負担軽減 / 地域との連携 / おやじの会

### 取組概要

少子化やコロナ禍でも、「楽しく・無理なく・できることをする」を合い言葉に、子供たちに笑顔を届ける P T A 活動を模索し続けている。

### 取り組みの詳細

- P T A 活動の重点化を図ると同時に、これまでの「一人一役」から「一家庭一役」へ係分担を変更し、兄弟姉妹がいる家庭の負担を軽減している。
- 一役には、運動会や研究公開等の行事のサポート、出会動員がかかる行事へ対応する「行事サポーター」を設定し、一部に負担が偏らないようにしている。
- 学級 P T A では、P T A 執行部から出される共通テーマでの話し合いをワークショップ型で行い、会員相互の情報交換や資質向上を図っている。
- 保護者による読み聞かせの会「ヤギの森」を結成し、月 2 回朝の読み聞かせを行っている。
- 登下校時の安全確保のための交通安全立哨を生活指導部で行ってきたが、会員数の減少に対応するために、「ながら見守り」を全 P T A 会員と地域に呼びかけ、実践している。
- 有志による「おやじの会」は、朝の立哨活動や学校の環境整備、運動会の緑門作り等、P T A 活動を盛り上げている。

### 成果

- ・ コロナ禍の中、工夫して P T A 活動を実施でき、繋がりを維持できた。
- ・ 学校、P T A、地域が連携し、これまでとは違った形での活動の推進が図られている。

### 課題や今後の取り組み

- ・ これまで以上の町内会との協力体制の確立と、地域人材の活用
- ・ 案内文書やアンケート等、ICT の積極的な活用

### その他の取り組み紹介

- ・ バザー部によるベルマーク収集
- ・ 事業部によるリサイクル活動
- ・ 広報・研修部の P T A 新聞発行
- ・ 生活指導部による下校指導
- ・ 年 8 回程度の家庭教育学級の実施

所在地

鹿児島県鹿児島市

全校生徒数

250名

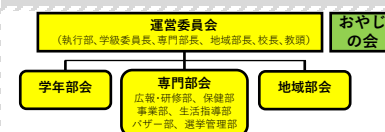
地域の特徴

校区は、鹿児島市中部の武岡台地上に位置し、6つの町内会で構成されている。校区内には、幼稚園から高校、養護学校まで、教育施設がある。また、医療機関、金融機関も整い、道路や公園などもよく整備されている。

学校の特徴

平成元年に開校し、今年度で創立34周年を迎える。敷地の広さは鹿児島市内でも有数で、北西側には「武岡台の森」と名付けられた広さ1.4ヘクタールの学校林が残り、児童の体験学習の場として活用している。

組織構成



部会は学年部会、専門部会、地域部会から成り、運営委員として、各部会の長と執行部（P T A 会長 1 名、副会長 4 名、庶務 2 名）、校長、教頭で構成している。全保護者がいずれかの専門部に所属し、それぞれの専門部の中で役割を分担しながら、P T A 活動に参加している。おやじの会は、有志により組織され、年間を通して、学校へ協力・活動を行っている。

担当課：鹿児島県教育委員会  
社会教育課



# コロナ禍における組織・運営の効率化と子どもたちを元気にする取組

キーワード 運営の効率化 / 教師・保護者の負担軽減 / 学校教育支援

## 取組概要

保護者と教師が負担なく参加しやすい体制・環境づくりと「できる人が、できることを、少しずつ」を合言葉に**運営の効率化**を図り、**子どもたちを元気にする取組**を推進

## 取り組みの詳細

### ◆運営の効率化「加入率99%！」

- ・学級役員制度を廃止し、各種委員会・学年を中心とした**体制のスリム化**
- ・コロナ禍での総会の書面決議・意見（要望）書の配付、**ICT（スマホ等）の活用による効率化**。

効率化による特色ある活動 ～「できる人が、できることを、少しずつ」～

### ◆できることから・・・「花キューピット」の活動

- ・環境整備委員会にある「花キューピット」の愛称で親しまれているお母さん方が、毎週、学校玄関や特別教室等に**生花と時節にあった装飾（端午の節句や絵馬等）**を行い、癒しの空間を醸しだしている。



### ◆子どもたちを元気に！

- ・12月には、コロナ禍での子どもたちを元気にしようと参加できる会員を呼びかけ、学校玄関前に**巨大クリスマスツリー**を掲げた。



### ◆教職員の負担軽減

- ・ICT（スマホ等）を活用し参加者を呼びかけ、**朝の立哨（安全指導・あいさつ活動）や行事への協力等**を行い、子どもたちの安全確保と見守りを行っている。



## 成果

- 組織体制の改善により教職員・保護者の**負担を軽減**できた。
- ICT（スマホ等）を活用**したことで、これまで以上に意見や要望が寄せられた。
- 保護者と教職員が無理せず連携することができ、子どもたちを支援し、**元気にすることができた**。

## 課題や今後の取り組み

- コロナ禍のなか様々な活動に制限があり、**教職員と保護者・保護者同士・地域とのかわりなど、連携や信頼関係構築**において工夫が必要である。
- 今後もICT等を効果的に活用するために**専門的な人材確保が急務**である。

## その他の取り組み紹介

- PTAと地域人材で構成する「**ひだまりの会**」は、「**読み聞かせ**」を通して子どもたちへの激励と心豊かな生徒の育成をめざした活動を推進。
- 会員相互の研修を主催する「**生き生き委員会**」を中心に、「**自然と人間の共生SDGsの基礎となる生態系を学ぶ**」をテーマにした研修会を実施。
- 広報委員会**による年3回の広報誌発行。
- 環境整備委員会**を中心とした施設の修繕や美化作業の実施。

所在地

沖縄県 豊見城市

全校生徒数

581名

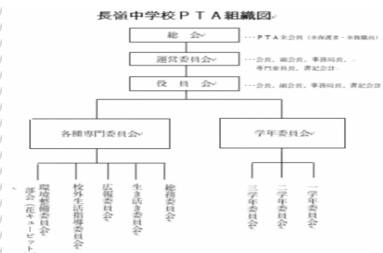
地域の特徴

本地域は、沖縄本島南部に位置する豊見城市の中央・東部地域に位置し、18の自治会から構成される。中央地域は商業施設など都市化が進み、東部地域は豊かな緑に囲まれ、マンゴーの生産などの農業が盛んである。都市化が進んでいるが各地域の伝統や文化が色濃く残されている地域である。


学校の特徴

本校は、1980年（昭和55年）に豊見城市立長嶺中学校からの分離校として創設され、2020年（令和2年）に創設40周年を迎えた。本校の教育目標豊かな心を持ち、自ら考え判断し、実践できるたくましい生徒の育成を目指して、家庭や地域との連携・協力を深め、生徒会の「**当たり前のことほど真剣に、みんなが管轄する長嶺中**」をスローガンに魅力ある学校づくりに取り組んでいる。

組織構成



担当課：沖縄県教育庁  
生涯学習振興課



テーマカテゴリー

地域協働・連携

## 学校・家庭・地域による協働・連携活動の充実！

キーワード 地域学校協働活動 / 学校教育支援 / 親'Sの会 / ボランティア活動

### 取組概要

地域とともに行うあいさつ運動・資源回収活動、「親'Sの会」によるりんご栽培体験学習・夏休みキャンプ・校舎内清掃・除雪ボランティア活動等、学校・家庭・地域が協力して、様々な活動に取り組んでいる。

### 取り組みの詳細

#### 【地域とともに行うあいさつ運動・資源回収活動】

藤崎町では毎月10日を「一礼の日」としており、本校では、生活環境委員会を中心とした保護者が、地域住民や先生、子供たちと一緒にあいさつ運動を行っている。また、春・秋の事業委員会主催による資源回収活動では、町内会へも活動協力をお願いし、共同で実施している。アルミ缶や段ボール、紙類は常時協力してもらえるように、本校プール横に資源ゴミステーションを設置し、地域住民の協力を得て運用している。



#### 【「親'Sの会」によるりんご栽培体験学習や夏休みキャンプ、校舎内の清掃・除雪ボランティア活動】

「親'Sの会」のメンバーが中心となり、子供たちの安全と笑顔のために、多くのボランティア活動を行っている。「実すぐり」「袋かけ」等りんご栽培体験学習への協力や夏休み中の「キャンプ」の主催、校舎内の清掃活動、冬季休業明けの通学路の除雪作業等を教職員と共に、教育活動を支援している。



### 成果

- 保護者や地域に積極的にP T A活動への参加を働きかけることで、学校・家庭・地域のつながりが強化され、地域の子供を地域で育てるという意識が深まった。

### 課題や今後の取り組み

- 近隣の小・中学校P T Aとの連携を深めることで、本会の活動の幅を広げると共に、地域全体の教育力向上につなげる取り組みを検討していきたい。

### その他の取り組み紹介

- P T A総会・学年委員会組織会・専門委員会組織会を参観日に設定し、保護者が参加しやすい環境を整備するとともに、より多くの保護者が参加しやすい日程に設定している。
- 会員の安全に関する意識の向上を図ることを目的に保健給食委員会が主体となり、救急救命法講座、プール清掃補助、給食試食会等講習、児童の安全・健康管理に関する活動を行っている。

#### 所在地

青森県藤崎町

#### 全校児童数

213名

#### 地域の特徴

本校学区は、藤崎町の南西部に位置し、交通の要所となっているため、交通量も激しい。西には秀峰岩木の峰を仰ぎ、近くを流れる平川には冬になると北方よりたくさんの白鳥が飛来する。ふじ原木公園のりんごの木を教材に、3・6年生がりんご栽培の体験学習を進めている。

#### 学校の特徴

本校は、明治7年に創立し、令和6年度には150周年の節目を迎える。「やさしさいっぱい、みんなが笑顔」をモットーに「家庭・地域とともに」を教育目標に掲げている。藤しまつりやボランティア清掃等P T A活動が活発であり、学校教育への支援に対しても協力的である。

#### 組織構成

- 会長 (1名)
- 副会長 (若干名)
- 監事 (若干名)
- 学年委員長 (1・2・3・4・5・6年)
- 各専門委員長
  - ・生活環境委員会
  - ・保健給食委員会
  - ・広報委員会
  - ・ベルマーク委員会
  - ・事業委員会
- 事務局 (若干名)
- 顧問 (若干名)
- 親'Sの会 (希望者)



## 地域とともにある学校 ～コミュニティ・スクール パートナー活動～

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティ・スクール

### 取組概要

学校とPTA、地域との連携・協働により、地域学校協働活動が充実している。地域とともにある学校として、コミュニティ・スクールの仕組みを活用しながら、子どもの健全育成に従事している。

### 取り組みの詳細

#### 交流活動

本校に隣接する盛岡みたけ支援学校奥中山校との交流を40年以上行っている。運動会や学習発表会に合同で取り組み、地域ぐるみで交流を行っている。新型コロナ禍で、直接触れ合う形での活動は制限されていたが、互いを知り、協力することの大切さを理解しながら取り組むことにより、思いやりの心を育むことができています。



#### 登校見守り

毎週水曜日、子どもを守る会が安全指導を行っている。また、月初めの月曜日には、生活安全部による登校の見守りを行っている。更に、年に1度、警察署と役場で通学路の合同点検を行っている。子どもたちが安心安全に暮らすことができるよう、PTAと地域が協力しながら、見守り活動をしている。



#### スキーパートナー

総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団関係者を講師に、クロスカントリースキー板の手入れやワックス塗りについての実技指導をいただいている。

また、各種スキー大会に向け、アルペンスキーでは、実際にポールを立てて、コースの攻略の指導を、クロスカントリースキーでは、基本となる各走法について繰り返し指導していただいている。実技指導のみならず、児童への指導のポイントやスポーツの心構え等についてもたくさん教えていただき、とてもよい研修ができています。



### 成果

- これまでの取り組みを基盤に、連携・協働をさらに強化し、健全な子どもの育成に従事することができた。
- 「奥中山小学校コミュニティ・スクールに係るパートナー」のボランティア活動を推進することができた。

### 課題や今後の取り組み

- 役割分担とそれぞれの活動や取り組みを関連付けながら、より一体となって推進すること。

### その他の取り組み紹介

- PTA奉仕作業（6月・9月）
- 親子で学ぶ情報モラル学習会
- 学年PTA行事
- 文集「しらかば」の発行
- 小中合同ノーメディアウィークの取組
- 県警音楽隊による「しらかばの集い」
- 総合的な学習「奥中山のみりよく発見隊」



所在地

岩手県二戸郡一戸町奥中山

全校児童数

96名

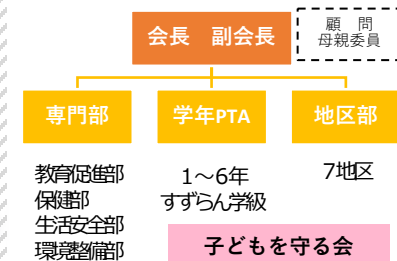
地域の特徴

冬はスキー場や温泉でにぎわい、夏は広大なレタス畑の広がる、自然豊かで農業の盛んな地域である。地域内に福祉関係の施設が数多く存在している。

学校の特徴

明治24年創立。平成18年に摺糠小学校、宇別小学校と統合。学級数は9学級で、運動会や学習発表会を盛岡みたけ支援学校奥中山校と合同で開催している。

組織構成



全保護者・全教職員がPTA会員である。役員が活動推進の助言等を行い、各部会が計画的に活動を進めている。

担当課：岩手県教育委員会  
生涯学習文化財課



## 地域とともに歩む学校・PTA ～地域の特色を活かした行事や学校支援を通して～

キーワード

地域学校協働活動 / PTAバザー / 学校支援 / 図書室開放 / 保護者ボランティア

### 取組概要

学校・PTA・地域のイベントである「遠見塚古墳祭り」の開催や「朝の図書室開放」などの支援を通して、「地域とともに歩む学校・PTA」を目指している。

### 取り組みの詳細

#### 《遠見塚古墳祭り》

児童会主体の「遠見塚古墳祭り」とPTAバザーを同時開催することで、学校・PTA・地域のイベントとして多くの人々が楽しみな活動に発展した。



古墳祭り、PTAバザー

#### 《PTA学年行事》

親子学年行事として、「縄文土器づくり教室」や「味噌の仕込み教室」、「エネルギー教室」などを開催し、子供たちと学ぶ活動に取り組んでいる。



土器づくり教室

#### 《学校支援活動》

読書に親しむ児童を育てるために、「朝の図書室開放」を実施している。他にも学習支援や保護者による学校環境整備、健全育成パレードなど、学校支援を盛んに行っている。



朝の図書室開放



プール清掃



クリーン活動



健全育成パレード

### 成果

- ★学校の教育活動にPTAと地域が一体となって取り組むことにより、「地域とともに歩む学校・PTA」という意識が強くなっている。

### 課題や今後の取り組み

- ★コロナ禍で控えていた活動の再開。
- ★今後も学校・家庭・地域が連携し合い、地域学校協働活動を継続していく。

### その他の取り組み紹介

- ★地区巡視や地域清掃の実施
- ★地域との合同運動会や防災訓練、盆踊り会の実施
- ★スポーツテストの記録測定や校外学習の引率補助など、学校支援ボランティアへの協力
- ★PTA広報誌や安全マップの作成、周知

所在地

宮城県仙台市

全校生徒数

425名

地域の特徴

学区は戦前までは、仙台平野の市街地と農業地帯の境であったが、現在は市中心部に近い住宅地である。学校の東隣には、遠見塚古墳、国道4号線仙台バイパスを隔てて霞の目飛行場と接している。西は、政宗公の隠居地であった若林城（現宮城刑務所）に接している。

学校の特徴

昭和42年に開校し、今年56年目を迎える。平成24年に、新校舎と新体育館に建て替えられた。「ともにおもいやりみんなで創ろう遠見塚」をスローガンに、異学年交流であるたてわり活動にも、積極的に取り組んでいる。地域住民の学校教育への支援も、大変協力的である。

組織構成

- ◎PTA総会
- 本部役員会  
(会長、副会長、会計)
- 運営委員会  
(本部役員、専門委員長、地区委員長、学年委員長)
- 専門委員会  
(研修、広報、保健体育、健全育成)
- 地区委員会
- 学年委員会
- 特別委員会  
(PTAバザー実行委員会、プール開放運営委員会、役員選考委員会など)



遠見塚小マスコットキャラクター「コッパン&amp;さくら」

担当課：宮城県教育庁生涯学習課  
(仙台市教育局生涯学習課)



## 基礎情報

所在地

秋田県井川町

全校生徒数

234名

地域の特徴

井川町は県のほぼ中央部に位置し、東に出羽丘陵、西に男鹿半島及び八郎潟残存湖を見ることができ、人口約4500人の町である。町内には全国各地から集められた200種、2000本の桜が咲き誇る全国に数少ない学術的にも貴重な日本国花苑を有している。

学校の特徴

本校は、平成30年4月に県内初の義務教育学校として開校した。校訓「青雲大志」、経営の方針「笑顔と挑戦」を掲げ、日々の教育活動を展開している。井川みらい学では地域の人・文化・伝統を学びの基盤とし、地域と連携を図りながら学習に取り組んでいる。

組織構成

○各学年より選出された総計9名でPTA執行部を組織する。その中で以下のように役割を分担する。

○PTA会長（1名）  
PTA副会長（2名）（+学校1名）  
幹事（3名）  
会計監査（3名）

★各学年から1名ずつ計9名、学校から3～4名の役員を選出し、4つの専門部を組織する。

★総務広報部（9名）（+学校3～4名）  
文化研修部（9名）（+学校3～4名）  
保健運動部（9名）（+学校3～4名）  
生活安全部（9名）（+学校3～4名）

担当課：秋田県教育庁生涯学習課

## 地域とともに 子どもを見守り育てる

キーワード 地域連携 / 地域人材活用 / 地域学校協働活動

### 取組概要

学校・地域・P T Aが、子どもたちの安心・安全、健康、学びの充実等のために、連携協力して様々な活動に取り組んでいる。

### 取り組みの詳細

#### ★生活安全部

##### 「安全指導・あいさつ運動」

井川さくら少年サポートチームと民生児童委員、町教育委員会、学校、P T Aが協力し、登校時の見守り活動、安全指導、あいさつ運動等を行っている。また、長期休業前には各町内子ども会会長から地域の危険箇所等の情報を提供していただき、町内児童生徒会の中で共通理解を図っている。



#### ★保健環境部

##### 「親子早朝奉仕活動」

児童生徒がよりよい教育環境の下で活動できるよう、児童生徒と保護者、教職員が参加し、窓拭きや清掃作業等の活動を行っている。



#### ★クラブ活動

P T A会員を含む地域の方をクラブ活動の指導者として招き、「茶道」等の活動を行っている。



### 成果

- ・地域の方々の学校に対する関心や協力体制が今まで以上に高まった。
- ・地域からの声が学校に届き、連携協力して子ども一人一人に向き合うことができている。

### 課題や今後の取り組み

- ・P T A会員数の減少やP T A会員のP T A活動に対する考え方の多様化等、社会環境の変化に対応したP T A活動の在り方を考えていく必要がある。

### その他の取り組み紹介

- ・P T A会報やP T A文集（児童生徒の作品や学校行事の思い出等を掲載した児童生徒会誌的な部分を併せもつ文集）の発行
- ・P T A研修会の企画、運営



## 我が『庄農サポーター』～生徒と共に保護者が学校を楽しみ好きになる活動～

キーワード 学校行事への参加協力 / 学校地域の活性化 / 家庭内コミュニケーションの醸成 / 生涯学習

### 取組概要

地域住民も楽しみにする一大イベント『豚の丸焼き』  
～学校も地域も盛り上げる私達のPTA活動～

### 取り組みの詳細

本校で毎年行われている『庄農祭』では、PTAも模擬店で参加します。そこで恒例となっているのが『豚の丸焼き』です。地域の農家さんの協力により丸焼き機械をお借りし、炭火でじっくり焼かれた豚の丸焼きは、見た目のインパクトもさることながら、炭火焼きならではの柔らかさと手作りダレの美味しさで大人気！毎年多くの地域の方々が列を作り大盛況で、学校祭と地域に活気が訪れます。



※写真はコロナ禍前のもの

他にも、農業高校ならではの色々な学校行事に保護者が参加し、生徒達の成長と活躍を応援します。学校の様子を配信するFacebookやInstagramで情報を共有することで、家庭での会話に繋がります。

### 成果

- ・学校や地域の活性化。
- ・学校と家庭の連携強化。
- ・共通話題による家庭会話の増加。

### 課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍での活動のあり方。
- ・時代に伴う家庭環境の多様化。
- ・生徒数減少に伴う規模縮小。

### その他の取り組み紹介

- ・最寄り駅での挨拶運動で、明るい挨拶と交通マナーを向上。
- ・情報機器を活用した、意見要望の取りまとめと反映。
- ・PTA模擬面接を開催し、生徒の進路実現に尽力。
- ・120周年記念講演会の運営。

所在地

山形県鶴岡市

全校生徒数

142名

地域の特徴

鶴岡市藤島は、山形県庄内地方の中心にある水田地帯で、県の農業博覧会では『つや姫』や『雪若丸』など、多くの美味しいお米が産み出されてきた。伝統芸能の『獅子踊り』をはじめ、独自の文化が色濃く根付く、自然豊かな地域である。

学校の特徴

昨年、創立120周年を迎えた県内屈指の歴史と伝統を誇る農業高校で、卒業生は1万7千名を超え、有名芸能人やオリンピック選手など全国各地で活躍している。校舎の4階からは全国有数の米所『庄内平野』が眼下に広がる。

組織構成



## 基礎情報

所在地

福島県白河市

全校生徒数

122名

地域の特徴

東北中学校区は、田畑や花・桃・梨・ブドウ・リンゴ等の果樹園が織りなす美しい景観に囲まれた自然豊かな学区である。PTA活動が活発な地域であり、保護者の参加率が非常に高い。

学校の特徴

昭和36年に統合され、白河市立東北中学校として創立した。保護者や地域の方々の教育活動に対する理解と協力は大きく、奉仕作業や活動応援など多くの支援があり、子ども達の活動を見守っている。

組織構成

## 東北中学校区PTA

学校運営協議会  
地域コーディネーター

幼稚園PTA  
小学校PTA

地域

## 東北中学校PTA

運営委員会  
会長 副会長 監査 会計 庶務  
広報委員会 教養委員会  
厚生委員会 学年委員会

担当課：  
福島県教育庁社会教育課  
(白河市教育委員会)

## 地域とPTAが一体となった協働活動

キーワード 地域との連携、地域学校協働事業と学校運営協議会

## 取組概要

幼稚園PTA、小学校PTA、中学校PTA、地域がPTCA組織（東北中学校区学校運営協議会）をつくり、目標とする「こども像」を目指し、協働しながら活動を行っている。

## 取り組みの詳細

## ◆ 地域とつくる中継所

県の行事である「ふくしま駅伝」の前に、学区内の中継所を気持ちよく使用してもらうため、ゴミ拾いや最寄り駅の清掃を生徒・保護者・地域で行っている。

## ◆ 地域と行う奉仕作業

奉仕作業においては、生徒・教師・保護者に加え地域の方々にも環境整備ボランティアとして参加いただき、協力しながら草むしりやゴミ拾いなどの活動を行っている。



## ◆ 地域で行う職場体験活動

地域で盛んな果樹園等で行う職場体験活動では、地域コーディネーターが地域とのパイプ役を綿密に行うことで充実した体験活動につながっている。

## ◆ 地域の伝統文化の継承「安珍歌念仏踊り」

毎年、地域保存会の指導、協力のもと、文化祭で地域伝統芸能「安珍歌念仏踊り」を自治会長の方々を招待し披露している。

また、3月末の地域行事「安珍供養祭」においても、中学生が踊りを披露し、地域との絆を深めている。



## 成果

・PTCA活動が活発に行われ、生徒への支援が充実している。また、幼小中PTAと地域との絆が諸行事を通して強くなっている。

## 課題や今後の取り組み

・PTAと地域が連携するために地域の人材を更に発掘する必要がある。  
・コロナ禍でも「できる」活動の計画・運営の仕方が問われている。

## その他の取り組み紹介

・学校便りを地域に配布し、学校で活動している様子を知らせている。  
・東北中学校区として、教育講演会を企画し運営することで、地域とのつながりを強固にしている。  
・地域の祭り等の行事時には、幼小中PTA、地域と一緒に補導を行い、安全確保を呼びかけている。

# 児童の笑顔と夢を育むPTA活動

—学校・家庭・地域社会との連携・協働を通して—

キーワード 地域学校協働活動／外部人材活用／ICT活用

## 取組概要

地域団体と連携・協働し、「あいさつ運動」や「放課後の見守り」「日立郷土かるた大会」「焼き芋体験」等様々な活動をしている。

P T A と学校運営協議会が連携し、様々なゲストティーチャーを紹介している。令和3年度は、学区の歴史に詳しいゲストティーチャーや、学校裏の教材園や果樹園の整備をするための専門的な知識をもつ人材を紹介した。

時代の変化に伴い保護者が参加しやすいP T A 活動を目指して、I C T を活用したアンケート調査や、学校の緊急時配信メールシステムを活用した情報提供を行っている。

## 取り組みの詳細

- **地域団体と連携・協働した教育活動の実施**
  - ・学校とP T A、豊浦おやじパワーズが連携して実施  
「運動会の会場整備・保護者案内・駐車場誘導」
  - ・学校とP T A、日立市青少年育成推進会議、豊浦学区まちづくり推進会が連携して実施  
「あいさつ運動(11月)」
  - ・P T A と豊浦おやじパワーズ、青少年育成会議が連携して実施  
「日立郷土かるた大会(豊浦地区)」と「焼き芋体験」
- **外部人材の活用**
  - ・P T A と学校運営協議会が連携し、様々なゲストティーチャーを紹介  
「豊浦学区の歴史を語るゲストティーチャー」他



「運動会」  
係員としての連携・協働



「あいさつ運動」  
豊浦学区まちづくり推進会との連携



「焼き芋体験」  
豊浦おやじパワーズとの連携



「豊浦学区の今昔」  
歴史を語るゲストティーチャー

## 成果

- ・I C T を活用してP T A 活動の情報提供を行っているため、忙しい保護者も参加しやすい環境が整ってきている。
- ・学校とP T A が互いに補い合いながら、学校運営協議会や地域と一体となり、心豊かな児童の育成を目指した取組ができています。

## 課題や今後の取り組み

- ・少子化による会員数の減少や、保護者の地域参加への二極化が挙げられる。
- ・令和4年度よりP T A ホームページを作成し、活動内容の周知に努めている。また、積極的に会員へのアンケートを実施し、会員の声を取り入れる活動も進めている。

## その他の取り組み紹介

- ・P T A の委員会や役員が分担してゴミ拾いボランティアを実施している。また、地域の安全確保、予防のために、青少年相談員と一緒に街頭活動に取り組んでいる。
- ・日立市青少年育成推進会議と連携し、小学校での宿泊体験「わんぱく体験村」を行っている。令和3年度は、宿泊をせずに、地域の郷土史跡を巡る活動として、地域活動団体「かんぶり穴を守る会」の協力により、児童と共に郷土史跡「かんぶり横穴墓群」の環境整備を実施し、郷土史跡を児童に紹介する取組を行った。
- ・日立市P T A 連合会と学校・P T A ・地域が連携して、「ひたち☆子ども笑顔輝け☆創造プロジェクト」を立ち上げ、卒業生用D V D を作成した。

## 基礎情報

所在地

茨城県日立市折笠町741

全校生徒数

473名

地域の特徴

心豊かな児童の育成のために、学校・家庭・地域社会が積極的に連携している。保護者はP T A 委員会を組織するだけでなく、父親ボランティア団体を結成し、児童の体験活動を積極的に支援している。学校行事へのP T A の協力体制も整っている。さらに、登下校や学校行事等のボランティアにも進んで参加する家庭が多く、児童が地域から愛され、地域の一員であることを実感できる学校・地域である。

学校の特徴

明治6年に創立された、歴史のある学校である。美しい山々と海に囲まれた自然豊かな環境を活かした体験型の学習が盛んである。また、令和2年4月に校舎が完成し、I C T 機器環境が整った。各教室に電子黒板が設置され、パソコンやタブレットを繋げて画面を共有したり、オンライン集会を行ったりしている。加えてタブレットを活用して、家庭の理解と協力によりオンライン学習も実施している。学校行事の際には、P T A が率先して学校と協働し、スムーズな運営に努めている。さらに地域の方もボランティアとして積極的に学校に関わる等、地域と共にある学校である。

組織構成

主な組織は、本部役員会、専門委員会(総務、安全、広報、ベルマーク)、各学年委員会となっている。保護者と教職員が協力して円滑な運営を図っている。また、地域団体と連携して活動することでスムーズな運営に努めている。

担当課：茨城県教育庁  
総務企画部生涯学習課



## 「藤岡市にぎわい観光課」と連携した「冬桜」の植樹の取組

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティ・スクール

### 取組概要

「藤岡市にぎわい観光課」と連携した「冬桜」の植樹において、PTAが市と学校のつなぎ役として運営に協力している。

### 取り組みの詳細

古来の元服を迎える歳になる2年生が、学校から「冬桜」で有名な「桜山公園」まで登る。登りきると、立志の誓いの記念として、一人一本ずつ冬桜の苗木を植樹する。

「桜山公園」までの沿道では、PTAや地域の方が子どもたちに温かい声をかけて見守り、子どもたちは安全に「桜山公園」まで向かうことができる。

「冬桜」の植樹の準備は、PTAが「藤岡市にぎわい観光課」と連携して、苗木の調達や、植樹する土壌の整備、植樹の仕方の指導等もしてくれる。そのため、子どもたちは安全に確実に植樹を行うことができ、達成感を味わうと共に立志の誓いを立てることができる。

こうした活動を通して、学校とPTAや地域が連携することができ、子どもたちを協働して育成することにつながっている。そして、子どもたちは地域に支えられていることを実感し、地域を愛する気持ちが育まれている。



### 成果

・「藤岡市にぎわい観光課」と学校をPTAがつないで「冬桜」の植樹の活動を行ったことで、子どもたちは地域に支えられていることを知り、地域を愛する気持ちが育まれた。

### 課題や今後の取り組み

・コロナ禍で、地域と学校が共に行う活動に制限が出ている。感染症対策を講じながら、培われた繋がりを大切にして活動を行っていききたい。

### その他の取り組み紹介

・月1回の連携型小中一貫校のあいさつ運動（子どもたち、PTA、民生委員や交通指導員、地域みまもり隊など）

所在地

群馬県藤岡市

全校生徒数

84名

地域の特徴

小高い山並みに囲まれ、清らかに豊かに神流川が流れ、水と緑に恵まれた自然環境のもと、子どもたちは日々学習に運動に励んでいます。

学校の特徴

昭和61年に美原中学校と三波川中学校および鬼石中学校の3校が統合し、鬼石町立鬼石中学校となりました。平成18年1月1日より藤岡市との合併に伴い、藤岡市立鬼石中学校となりました。創立37年目を迎えています。鬼石連携型小中一貫校として9年間の学びのつながりを大切にした学校づくりに取り組んでいます。「地域や自他を大切にし、社会に貢献できる自立した児童生徒の育成」を目指しています。

組織構成

PTA会長	1名
PTA副会長	3名
書記	1名
会計	1名
会計監査	2名
顧問	1名
学年委員	12名
(各学年4名×3学年)	

担当課：群馬県教育委員会生涯学習課

## 学校・地域協働で学びを深める「豊田小学校教育フォーラム」

キーワード

地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 地域学習 / 学校・地域連携 / 収穫祭

### 取組概要

地域学習の成果を発表する「豊田小学校教育フォーラム」では、児童・教職員・地域住民・保護者が、地域についての学びを深めている。

### 取り組みの詳細

#### 地域についての学びを深める

#### 豊田小学校教育フォーラム



### 成果

- 地域の諸団体から組織される「豊田地区まちづくり協議会」の支援により、教育資源として地域人材や田畑が提供され、校外に学習の場を広げ、体験・地域学習の充実を図ることができた。
- 地域住民との意見交換により、学びを深めることができた。

### 課題や今後の取り組み

今年度新たに取り組んだ、withコロナの時代における「地域の未来を考える」のテーマは、今後も探究を続け、発信していく必要がある。

### その他の取り組み紹介

- 地域の諸団体から組織される「豊田地区まちづくり協議会」の方々が「お米先生」「お芋先生」として児童の指導に協力する「チャレンジ稲作」「サツマイモ作り」「サツマイモ掘り」。
- 地域住民を招待して、地域住民の協力で収穫した農産物を味わう「収穫祭」。

所在地

千葉県茂原市

全校生徒数

303名

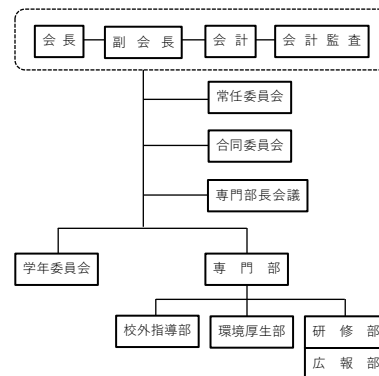
地域の特徴

本地域は千葉県東部に位置し、JR外房線 国道128号線が南北に平行に通っている。従来の農村地帯に新興住宅が混在した地域。地域の自治会、子ども会等の連合組織が活発に活動しており、学校教育に協力的で、関心も高い。

学校の特徴

学校教育目標は「夢の実現に向かい、たくましく生きぬく児童の育成」。目指す学校像は「1. 明るくきれいな活気に満ちた学校  
2. 安全で安心できる教育環境の整った学校  
3. 保護者・地域から信頼される学校」である。

組織構成



担当課：千葉県教育庁教育振興部  
生涯学習課  
(茂原市教育委員会生涯学習課)

## 基礎情報

所在地

神奈川県小田原市

全校生徒数

253名

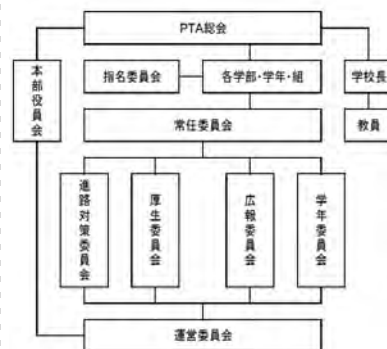
地域の特徴

狩川がそばを流れ、小田急線螢田駅と大雄山線穴部駅の間位置している。近隣の施設には小田原アリーナ、小田原フラワーガーデン、諏訪の原公園があり、自然豊かな地域である。

学校の特徴

小田原市・南足柄市・大井町・開成町・山北町・湯河原町・箱根町・真鶴町・中井町・松田町から児童生徒が通学している。知的障害教育部門と肢体不自由教育部門の併設校で、小田原校舎・大井分校・湯河原校舎がある。

組織構成



担当課：神奈川県教育委員会教育局  
生涯学習部生涯学習課

## オンライン行事を活用した学校・家庭・地域との連携活動

キーワード

地域学校協働活動 / 外部人材活用

## 取組概要

P T A 主催の各行事にオンラインを取り入れることで、感染症対策を行いつつ、楽しく安全に運営をすることができた。

## 取り組みの詳細



子どもたちと保護者、教職員や地域作業所の方々との交流の機会となっている「納涼のつどい」は、行事をオンラインで実施した。都合の良いときに安心して視聴できると好評であった。また、行事の企画をとおして、保護者同士の交流が深まった。

「卒業生の保護者の話を聞く会」では、在校生の保護者にとって、子どもの将来を見据えた関わり方を考えるきっかけとなった。

災害時の子どもの安全を守るための対策を積極的に考え、不足している防災グッズをそろえるなど、学校と協力して災害時の対策に取り組んだ。

## 成果

・行事の実施や本部役員等の会議のオンラインでの実施や、各セミナーへの案内をメールで一斉配信するなど、感染防止対策だけでなく業務の効率化につなげることができた。

・学校に勤務している業務アシスタント・学校業務サポーターの協力を得ることで、保護者や教職員の事務的な業務を減らすことができた。

## 課題や今後の取り組み

・会員からの意見や質問に回答できるよう、令和2年度から、総会の出欠の回答票に意見記述欄を付けて、意見を反映できるようにした。また、令和3年度は「コミュニティBOX」を設置して、日常的に会員の意見や質問などを本部に届けられる仕組みを作った。

## その他の取り組み紹介

・玄関に生花を飾っているボランティアが、中学部と高等部の農作業の学習の際に、畑の整地方法等のレクチャーを行っている。



## 学校・家庭・地域が連携したつながりを育む共育活動

～学びあい 高めあい まちとともにあゆむひぐみっ子～

キーワード

地域学校協働本部 / 学校運営協議会 / 校外委員 / 地域学援隊 / ワンデーサポーター

### 取組概要

## PTAと地域が主体となった児童のための学校教育支援

### 取り組みの詳細

#### 保護者参加のワンデーサポーターとPTA

委員会のほかにワンデーサポーターを会員から募集し、行事当日の手伝いや給食ボランティア、ベルマーク集計、清掃用古布裁断等、会員が活動に参加しやすいよう、自宅で行えることを設けるなど工夫した活動を展開している。



#### 地域学援隊、校外委員とPTA

学援隊と校外委員は常に連携し、児童の登下校見守りのほか、登下校時のルールについてPTAだよりや一斉メール配信システムを利用した注意喚起、学区内の全スクールゾーン点検、交通安全教室手伝いを中心に活動を展開している。



#### ひぐみ共育くらぶ（地域学校協働本部）とPTA

学校運営協議会と連携しながら学校のニーズに合わせ、地域との間に入り、児童の教育活動をコーディネートしている。家庭科ミシンボランティア、放課後学び場事業の学習支援、図書ボランティアを中心に活動を展開している。



### 成果

・コロナ禍でも自宅で行える学校ボランティアを募ると、1回につき150名近い保護者が集まった。

・旗振り講習と交通安全教室との同時開催を初めて試みた。警察からの直接指導もあり、保護者からは体験型で分かりやすいと好評だった。

・委託実施型の放課後学習支援では共育くらぶ主導で運営し、1、2年生のほか3、4年生にも拡充できるほどの規模にすることができた。

### 課題や今後の取り組み

・地域高齢化に伴う支援者不足を解消する為に、保護者同士の交流・発信の場を増やし、活動の周知を図る。学校、保護者、地域と共に子育てのパートナーとして絆を深める。

### その他の取り組み紹介

・本部役員募集説明会を4回開催し、具体的な活動内容や学校の様子を紹介した。

## 基礎情報

所在地

神奈川県横浜市

全校生徒数

431名

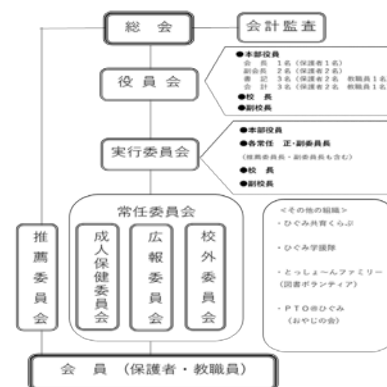
地域の特徴

学校のある戸塚区は人口約28万人、市内でも面積が広い区で、江戸時代は東海道の宿場町として栄えた。近代化により、企業の進出や駅前の再開発が進んだが、昔からある商店街も活気があり、新旧がほどよく混在している。

学校の特徴

昭和50年創立。3年後には創立50周年を迎える。教育活動の重点目標である縦割り活動を積極的に行うほか、「まちとともに」の言葉どおり、保護者と地域との連携を大切にした教育活動を長年行っている。

組織構成



担当課：神奈川県教育委員会教育局  
生涯学習部生涯学習課

## 学校・家庭・地域社会の連携強化

キーワード 地域学校協働活動 / 教育環境の整備・充実 / 地域の社会教育振興



### 取組概要

親と子、親と先生、子と先生の絆、学校と地域の絆を深める「ふれあい活動」「あいさつ運動」「見守り活動」等の活動を積極的に展開している。

### 取り組みの詳細

#### ○地域団体との連携協力

犯罪や災害等を未然に防止するため、「新川地区安全なまちづくり協議会」を組織している。保護者も加わりながら校区12地区で「見守り隊」を構成し、毎日自主的なパトロール活動を行っている。交通安全教室（1・2年）や自転車教室（3年）を地域の警察署、駐在所、交通安全協会と協力して開催している。夏休み前には地域の敬老会や民生委員の方々と共に、学校敷地内の除草活動を行っている。令和3年度卒業式の夜には、区長会、地区消防団の協力を得て、花火を打ち上げ、卒業を祝うとともに、コロナ収束を祈願した。



#### ○「北部っ子フェス」「ふれあい活動」の実施

学習発表会に併せ「北部っ子フェス」を企画・運営している。また、地区公民館と連携し「親子ふれあい活動」（7月：七夕づくり、1月：左義長）を開催している。



#### ○あいさつ運動の実施

学習公開日等のおりに、あいさつ運動を実施し、元気な挨拶が行き交う明るい学校づくり、地域づくりを推進している。

#### ○資源回収の実施

P T A が校区全域に呼びかけて、地域住民の協力を得て実施している。収益は教育環境の整備に充てている。

### 成果

- ・地域との共同事業、地域行事への参加、広報紙の全戸配付等によって情報共有と相互理解が容易になり、学校教育やP T A 活動に対する協力につながっている。
- ・学校、P T A、地域が一体となった活動を進めることで、地域で子供を育てていこうとする意識が高まっている。

### 課題や今後の取り組み

- ・少子化に伴って保護者数も減少しており、多様なP T A 活動を維持継続していくための工夫が必要になってくる。
- ・全家庭にW i - F i 環境が整っている状況を生かし、役員等の負担軽減のためにも、リモートで参加できる会議を増やしていく。

### その他の取り組み紹介

#### ○地域人材の活用

- ・地域の方々の協力を得て、稲作や落花生栽培を行っており、子供たちの体験活動の機会になっている。
- ・地域の読み聞かせボランティア「真珠の会」のみなさんが、毎週水曜日の朝に各教室で読み聞かせを行っている。

#### ○広報紙の発行・配付

- ・広報紙「たてやま北部」をP T A 広報部が年2回作成し、区長会の協力を得て、校区全戸に配付している。

## 基礎情報

所在地

富山県立山町

全校生徒数

146名

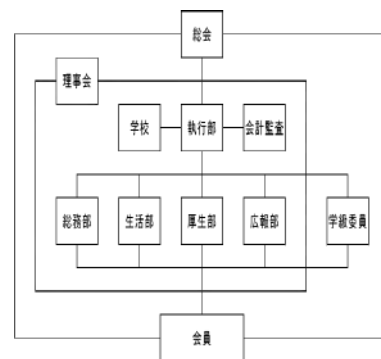
地域の特徴

元々農村地帯であるが、住宅造成により新興住宅地が増加した。地鉄本線と立山線が通り、踏切も多い。北陸自動車道I Cが近くにあることや富立大橋の開通により交通量が多い。地域の学校教育に対する関心は高く、協力的である。

学校の特徴

昭和39年に2つの小学校が統合し、立山北部小学校として開校。平成25年新校舎竣工、現在に至る。3つの「あ」を大切に!!（あい・あいさつ・ありがとう）を愛言葉に、のびのびと学習活動に取り組んでいる。

組織構成



担当課：富山県教育委員会  
生涯学習・文化財室

## 生徒と地域が「相思相愛」になるための学校づくり

キーワード 地域貢献プロジェクト / 探究活動 / 企業連携 / PTA / 能登高校を応援する会

## 取組概要

能登高校では、H26年から「地域貢献プロジェクト」を推進し、地域を大切にしている心を育てている。生徒のアイデアを具現化するために、学校と地域の架け橋となるようPTAが活動の支援を行っている。

## 取組みの詳細

## ○地域貢献プロジェクト

探究活動や放課後等で地域社会に貢献する様々な取組を実践している。平成26年度より「地域貢献プロジェクト」という名称を使用し、より地域に貢献しよう！という機運が高まっている。

- ★ 「デザインマンホールのデザイン」  
能登町役場と共同開発
- ★ 「ヤマメの放流事業」  
能登町ライオンズクラブと協力
- ★ 「地元野菜を使ったジェラートの開発」  
地元農家、マルガージェラートと連携
- ★ 「書道パフォーマンス」  
地域の行事に書道部が参加



## その他の取組み紹介

- ・文化祭PTA企画(R3は中止)  
PTA模擬店（タコ飯と紅白餅を販売）  
PTA合唱（夜に集まり練習し、生徒に負けない合唱を披露）
- ・能登高PTAだよりの発行  
毎月、能登高PTAだよりを発行し、保護者や地域住民、出身中学校に学校生活の様子を発信している。

## 成果

- ・地元企業との連携が多くなったことで地元企業に対する理解が深まり、地元で就職する生徒の割合が高い。（就職決定者の72%）
- ・地元住民の方が能登高校を応援してくれていることを生徒が認識している。

## 課題や今後の取組み

- ・生徒数の減少による会員数の減少や、遠方在住者の増加により、役員の選出の工夫が課題になっている。

所在地

石川県鳳珠郡能登町

全校生徒数

191名

地域の特徴

能登町は能登半島の北部に位置し、世界農業遺産の「能登の里山里海」に囲まれた自然豊かに恵まれた町である。

学校の特徴

創立14年目  
普通科と地域産業科があり、県内で唯一水産を学ぶことができる。部活動も盛んで、令和3年度には4つの部から31名（全校生徒の16%）が全国大会に出場している。「君だけの花を咲かせる場所」をモットーに一人ひとりの個性を最大限伸ばす教育活動を行っている。

組織構成



担当課：石川県教育委員会  
生涯学習課

## 取組みの詳細

## ○能登高カレーの日

PTA家庭教育委員会を中心に、毎年土曜スクールに合わせて「能登高カレーの日」を実施している。全保護者に声かけをし、カレーの具材の寄付を募り、保護者と農業選択・水産選択の生徒で調理し、全校生徒に振舞っている。食育活動の一環にもしている。





## 基礎情報

所在地

石川県白山市

全校生徒数

406名

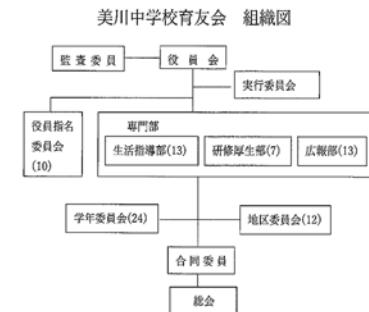
地域の特徴

白山市は、山・川・海に恵まれた土地であり、海岸部から山間部まで県内最大の面積を有している。市全域が「山-川-海そして雪 いのちを育む水の旅」をテーマとする白山手取川ジオパークとして認定されている。

学校の特徴

手取川河口域に立地し、古くから湊町として栄えた地域の学校として愛着を持たれ、支援を受けている。「心豊かで、自ら学び、たくましく生きる生徒の育成」を教育目標に、質実剛健を目指し、徳知体のそろった生徒の育成を目指している。

組織構成



担当課：石川県教育委員会  
生涯学習課

## コロナに負けるな！思い出に残る学校生活を送れるように

キーワード 地域連携／外部人材活用／SDGs

## 取組概要

コロナ禍の中でも、子供の教育活動が少しでも充実したものとなるよう、地域との連携や外部人材を活用し育友会行事を工夫して行っている。

## 取り組みの詳細

## ○地域との連携

コロナ禍に学校生活を過ごした生徒に思い出を作ってもらおうと、育友会と地域の有志が実行委員会を組織し、卒業前に花火の打ち上げを企画し、実現した。



## ○SDGs大作戦



生徒と保護者、地域が一体となりSDGsを楽しく学び、取り組み地域の未来を考えることをねらいとし実施した。

クイズ・アンケートの実施、親子取組チャレンジ、外部人材による講演会、家庭でのSDGs大作戦と事業を継続的に行った。

## 成果

- コロナ禍であったが、生徒、保護者、地域を巻き込み取組み、生徒にとっても充実した活動にすることができた。

## 課題や今後の取り組み

- 一過性の取組で終わってしまわないよう、取組の機運を今後も持続させ、さらなる取組に発展させていく必要がある。

## その他の取り組み紹介

- ハロークリーンキャンペーン 公民館と連携し、月に一度地域の清掃活動とあいさつ運動を実施。
- 高校見学・先輩からの高校情報 地域高校と連携し見学会を実施し、卒業生とその家族から高校の情報を寄せてもらい冊子を作成。

## 基礎情報

所在地

福井県小浜市

全校生徒数

417名

地域の特徴

小浜市は旧若狭国の中心にあたる地域であり、古来から大陸文化の流入地として栄えた。奈良時代には、多くの神社や仏閣が創建され、「海のある奈良」とも称されるようになった。また、朝廷へ塩や海産物を献上した「御食国」でもあり、小浜から京都に鯖を運んだ鯖街道は日本遺産に選ばれた。

学校の特徴

2019年に創立100周年を迎えた伝統と歴史のある学校で、農業・工業・商業の3学科からなる総合産業高校である。2015年からSPHの指定校となり、高度な専門的な知識・技術を習得させ、実践力を養う教育活動を展開し、若狭地域を担う人材を育成している。

組織構成

会員数 447名  
(教職員53名含む)

会長 1名  
副会長 4名  
会計監査 2名  
委員長 4名  
・総務委員会 8名  
・研修委員会 12名  
・広報委員会 10名  
・校外補導委員会 9名

担当課：福井県教育委員会  
高校教育課

## 地域を担う人材育成～明日の若狭を創るのは君たちだ！～

キーワード 地域学校協働活動 / 地域店舗との連携 / PTA委員による学校行事 / 人権教育

## 取組概要

- ①地域と学校の協働を支援
- ②文化祭でのPTA企画
- ③人権啓発活動～ハンセン病回復者との交流から学ぶ～

## 取り組みの詳細

## ①地域と学校の協働を支援

農業科が力を入れている地域店舗との共同研究において、開発した商品の販路拡大に協力している。薬用植物の「コウギク」を使った和菓子は実際に商品化され、人気商品となっている。また、年2回程度開催している高校生レストランでは薬膳メニューを考え提供している。これらの活動は大変好評で、地域からの反響も大きい。



## ②PTA企画

文化祭では、保護者の主体的な運営によりPTA企画を行っている。近年はコロナ禍から、食品提供ではなく、輪投げによる景品交換を行った。生徒からはとても好評で今後も継続していく予定である。今年度は、さらに規模を大きくするなど、生徒が喜び楽しめるPTA企画を検討している。



## ③人権啓発活動

放送部が中心となって、岡山県の国立療養所邑久光明園で暮らす福井県出身のハンセン病回復者と15年以上交流を続けている。小浜市社会福祉協議会の協力のもと、近年では生徒が参加しやすい夏休み中に岡山への訪問が企画されている。2021年には小浜市の支援を受け、2005年に植樹された「人権桜」の横に、長年の交流を記念して記念碑の設置と「シダレモミジ」の植樹が行われた。

人権桜には「桜が大きくなる頃には差別がない社会になってほしい」という回復者の願いが込められている。これらを生徒が目にするすることで、人権尊重の教育活動につながっている。PTAでは、PTAだよりで会員に紹介し、地域とともに人権啓発活動に努めている



## 成果

- ・地域社会と連携した教育活動により、生徒たちは自己肯定感を高め、社会性や人間性を身につけることができた。
- ・ゆずりは会館を拠点に地域店舗と連携を深めることができた。

## 課題や今後の取り組み

- ・地区別投票によりPTA委員を依頼していることを活かして、すべての地域と連携できるように取り組んでいく。
- ・PTA委員を中心に、保護者みんなが関われるPTA活動を目指し取り組んでいく。

## その他の取り組み紹介

- ・課題研究発表会には、PTA会長と副会長が来賓として参加し、各発表ごとに助言や意見を出して、研究内容の深化と学習効果の向上に寄与している。



## 基礎情報

所在地

福井県大野市

全校生徒数

262名

地域の特徴

福井県大野市は基盤目状の城下町で、まち並みは「北陸の小京都」ともよばれている。晩秋に大野盆地が雲海に包まれ、亀山だけがまっかりと雲に浮かんで見える時には、「天空の城 越前大野城」が現れる。

学校の特徴

本校は昭和46年の学校統合により、それまでの有終中学校を母体として開校した。それから50年が過ぎ、令和6年4月には、市内5中学校が2校となる再編が行われる。新開成中学校と新黎明中学校が誕生する。

組織構成

開成中学校PTA組織図

総会

会計監査

委員会

役員会

会長、副会長、書記、会計、校長

実行委員会

役員会、常任委員会委員長・副委員長、担当職員

常任委員会

1学年委員会、2学年委員会、3学年委員会  
教養厚生委員会、生徒支援委員会、庶務広報委員会

## PTCAでつながる 住み続けたい結のまち

キーワード 地域学校協働活動 / SDGs / 環境保全 / 観光資源

## 取組概要

PTAにCommunity（地域）を加え、PTCAとして一緒に活動することで、学校・地域の活性化と持続可能な故郷を目指す。

## 取り組みの詳細

福井県大野市には、天空の城で知られる越前大野城があり、それは亀山という小さな山の頂に建っている。

亀山は市民の憩いの場として、また散歩コースとしても愛される山で、春には桜がたくさん咲き誇る。観光スポットのひとつでもあり、市外から多くの観光客が訪れる。開成中学校PTAは、毎年、活動の一環として、この桜の管理（追加植樹、下草刈り等）を行っている。雪で倒れた桜を起こしたり、枯れた桜を植え替えたり、夏に伸びた下草を刈ったりして、桜の成長を助けている。

活動には保護者、生徒、教職員が参加し、追加植樹する桜の苗は、大野市の団体から提供を受けている。20年以上続く活動で、我が子に「ふるさとにずっと住み続けたい」と思ってもらいたいという保護者の願いが込められている。



## 成果

- ・生徒のふるさとへの思いが強くなった。
- ・桜の時期には親子で亀山を訪れるようになった。

## 課題や今後の取り組み

- ・もっと広い範囲を整備するため、活動回数を増やしたい。
- ・開成中学校PTAが管理していることを広くPRし、地域の方にも参加してもらう。

## その他の取り組み紹介

- ・保護者と地域の方とで合唱団を構成し、「PTCA合唱」として学校祭で長年発表してきた。
- ・学校立地地区と合同でアルミ缶回収を実施している。

担当課：福井県教育委員会  
義務教育課



## 伝統ある八ヶ岳登山を通して、保護者・地域との連携を図る

キーワード 八ヶ岳登山 / 保護者・地域との連携・協働 / 外部人材活用 / 地域資源の活用

### 取組概要

保護者や地域の方々の協力を得ながら65年間続いている八ヶ岳登山では、PTAの組織力を発揮し安全に楽しく登山が実施できるよう、皆が力を合わせて子ども達のために連携・協働を行っている。

### 取り組みの詳細

- ・全校児童(\*)で行う八ヶ岳（編笠山）登山では、1・2年生が「雲海」、3・4年生が「押手川」、5・6年生が「編笠山山頂」を目的地として全校で登山を行っている。

\*コロナ禍のため、令和3・4年度は、4～6学年で実施

- ・全校登山が安全に実施できるよう、PTAは、地域の方々と協力し、100名近くの人で、児童の安全確保や見守りを行っている。また、PTAの中から希望を取り、児童と一緒に登山しながらの見守りも行っている。
- ・PTA常任委員会では、学校が提案する登山の実施計画や取り組み等について、検討し学校へ意見を伝えるなどの協力をしている。
- ・PTA補導部は、当日の朝、学校に来る保護者の車の誘導や児童の安全確保をしたり、登山出発地点の観音平での交通整理や児童誘導を行っている。また、児童が登山中は観音平で待機し、緊急対応に備えている。

- ・地元の山岳会や山岳ガイド協会、警察署、看護師等にも協力して頂き、同行しながら児童の安全確保を行っている。

【編笠山山頂】



【青年小屋へ】

【山頂でのゴミ拾い】



### 成果

保護者、山岳会の方々、警察官、看護師の方々など、多くの方が協働し、児童の健全育成に向け尽力している。

地域資源（八ヶ岳）を生かした学習活動が展開できている。

### 課題や今後の取り組み

コロナ禍で、低学年が登山に参加できない状況が続いている。活動再開に向けての課題解決と目標達成の方法をさぐる事が今後の課題。

### その他の取り組み紹介

- ・スケートクラブ（冬季）の活動
- ・PTA広報誌「つくし」の発行
- ・奉仕作業（1年保護者・6年親子）の実施
- ・地区PTAによる通学路安全点検
- ・児童登下校中の街頭安全指導

所在地

山梨県北杜市

全校生徒数

243名

地域の特徴

小淵沢小学校のある北杜市は、山梨県の北西にあり、南アルプスや八ヶ岳・茅ヶ岳などの高い山々に囲まれている。

地域には道の駅小淵沢、八ヶ岳スケートセンター、山梨県馬術競技場、女取湧水・大滝湧水など多くの湧水、平田家住宅など、多くの観光施設・文化施設があります。

学校の特徴

昭和50年に開校し、47年目を迎える。山々に囲まれ高原の自然豊かな環境の中で、八ヶ岳登山やスケートクラブの活動など、地域の「人・もの・自然」を生かした教育活動を展開している。

組織構成



担当課：山梨県教育庁生涯学習課

# おやじの会の活動を通してのPTA活動について

キーワード 学校教育支援／家庭教育支援／社会教育支援

## 取組概要

2011年頃より従来のPTA活動とは別に、若槻小学校男性保護者が学校行事の盛り上げを目的に「おやじの会」を立ち上げ、現在、現役の保護者、卒業生保護者を合わせ約20名ほどで活動している。

## 取り組みの詳細

### おやじの会の主な活動

#### ・若槻小PTA行事「槻っ子夢広場」への出店

- ・ 飲食の屋台を格安で提供
- ・ 木工教室
- ・ マジックショーなど会員の得意分野での貢献



#### ・学校への物品の寄贈

「槻っ子夢広場」での売上を中心として学校へ備品などの寄贈する

#### ・校地整備

草刈り/側溝の泥上げ  
花壇整備/ペンキ塗り  
力仕事や専門職の知識技能を生かした作業での貢献



## 成果

- ・ 自由意志で参加することにより、保護者や会員の学校行事への参加に対する意識が、主体的なものに変化している。
- ・ 積極的にPTA活動へ参加する男性保護者が増えてきた。

## 課題や今後の取り組み

- ・ 一定数の会員の継続的な確保
- ・ 自由参加の順守（取り組みが多岐になった事による負担感の増大を避ける）

## その他の取り組み紹介

- ・ 会員の負担軽減のため、学級役員の見直し、役員選考の見直しを行った。
- ・ オンライン会議を積極的に活用し、コロナ禍でも、よく見える・伝わる活動を心がけた。

### 所在地

長野県長野市

### 全校生徒数

437名

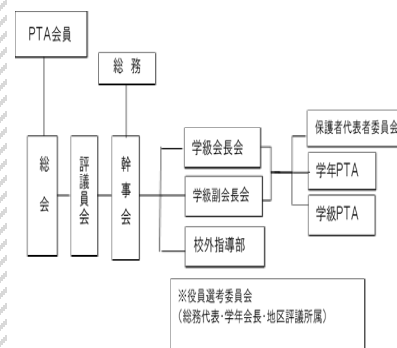
### 地域の特徴

北国街道が善光寺から越後に向かって山地に入る手前の小高い丘の上にある。地域の方の学校への関心が高く、コミュニティスクールの活動も盛んである。読み聞かせ、米作りなど様々な活動に地域の方の応援をいただいている。

### 学校の特徴

令和元年度に、創立130年を迎えた歴史ある学校である。自然豊かな校地内ですくすく育つ槻の木を児童の育ちのシンボルとして、若槻小の子どもたちは「槻っ子」と呼ばれており、毎日元気に学校生活を送っている。

### 組織構成



担当課：長野県教育委員会  
文化財・生涯学習課

## 学校と地域が連携した積極的な教育活動への支援

キーワード 地域学校協働活動 / あいさつ運動 / 学校行事への協力

### 取組概要

1年生から3年生までの保護者が所属している4つの専門委員会、「総務研修委員会」、「生活安全委員会」、「厚生委員会」、「文化広報委員会」が中心となってPTA活動を展開し、地域と連携しながら積極的に教育活動を支援している。

### 取り組みの詳細

#### ○専門委員会の活動

- ・「生活安全委員会」によるあいさつ運動を高校周辺と近隣小学校前にて実施。日頃からPTA、地域の皆様の手厚い目配りにより、生徒の安全な登下校が図られている。
- ・「総務研修委員会」の活動として、奉仕活動を実施し、高校周辺の生活環境が向上した。



〈地域で行ったあいさつ運動〉



〈奉仕活動〉

#### ○教育活動への支援

「南稜祭（文化の部、体育の部）」など大きな行事で子どもたちの活動を支援した。一例として「厚生委員会」は、バザー用品の値付け作業から当日の販売までを手がけた。バザー売り上げ代金は、他行事の豚汁材料費に充て生徒へ還元している。PTA役員による模擬店も出展され、生徒・保護者・教員間の交流の場となった。

### 成果

交通安全とあいさつの励行を呼び掛けることを通して、登校状況の実態や学校周辺の危険箇所を把握でき交通安全指導の改善につながっている。

### 課題や今後の取り組み

#### 課題

地区会再編成の検討、全会員へのPTA活動の周知、学科学年別懇談会の在り方の検討、新たなPTA活動の企画・実施

#### 今後の取り組み

より魅力的な学校とPTAを目指して挑戦していく

### その他の取り組み紹介

・後援会合同学校行事全般の紹介やPTA主催事業のまとめ等を掲載する広報誌を年2回発行している。「文化広報委員会」が年間を通して情報収集に努め、保護者の視点でわかりやすい紙面にまとめている。

・保育士希望の生徒とスポーツ探究科の生徒が未就園児と一緒に人工芝グラウンドで体を動かす地域交流行事、「人工芝で遊ぼう」の活動を支援している。

#### 所在地

静岡県富士市

#### 全校生徒数

655名

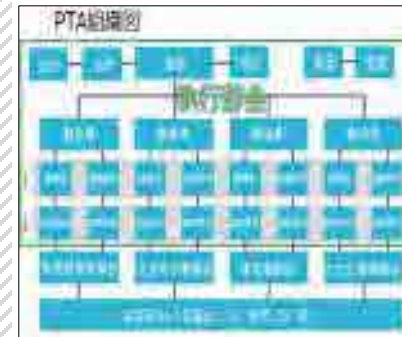
#### 地域の特徴

富士市は北に霊峰富士、南には駿河湾が広がる風光明媚な街である。製紙業、自動車関連の企業などを中心に工業都市として栄えてきたが、製鉄業以外にも富士山麓で育てられている「富士のやぶきた茶」、富士市の花であり生産量日本トップクラスのバラなどが有名である。

#### 学校の特徴

昭和37年に創設の吉原市立商業高等学校（後に富士市立吉原商業高等学校に改名）が、平成23年に3つの探究科からなる富士市立高等学校になり、現在に至る。最先端のOA機器があるP1Rルーム、全面人工芝のグラウンド、専用の野球場、剣道館、2階建て体育館など勉強、スポーツともに恵まれた環境がある。

#### 組織構成



担当課：静岡県教育委員会  
社会教育課





## 基礎情報

所在地

愛知県稲沢市

全校生徒数

259名

地域の特徴

稲沢市は愛知県北西部の濃尾平野の中央に位置し、植木苗木の産地として有名です。尾張大国霊神社や矢合観音などにも有名で、江戸時代には美濃路の稲葉宿が置かれるなど交通の要所でもあります。本校は稲沢市南部の田園地帯に位置し、近くには名鉄名古屋本線の奥田駅があり、電車でのアクセスにも便利です。

学校の特徴

学習面において少人数指導や習熟度別指導を取り入れ、多様な進路選択や生徒の個性に応じたきめ細かな指導をしています。職員室前の廊下には、いつでも教員の指導を受けられるように、自主学習スペースを設置しています。また、大学の先生を招いて授業を行うなど、大学と連携した学習指導の工夫も行っています。その他、「境界なき清掃団」をはじめとした地域の清掃活動や募金活動などにも積極的です。

組織構成

- ・組織は、役員と委員、一般会員によって構成され、役員、委員は3つの委員会（研修・生活・学習）のいずれかに所属し活動しています。
- ・会員は、学校に在籍する子どもの保護者と、教職員で構成され、加入率は100%です。

担当課：愛知県教育委員会  
生涯学習課

## 地元の警察と連携した交通安全指導

キーワード

地域学校協働活動／組織連携

## 取組概要

保護者・生徒・教職員と稲沢警察署が連携した交通安全啓発活動

## 取り組みの詳細

## 「交通安全マナーアップ作戦」

交通安全啓発活動  
(自動車の運転手を中心に)

「ストップ」 「スロー」 「スマート」

- プラカードを掲示して交通安全の啓発活動を行っている。
- 地元警察署と連携して、保護者・生徒・教職員の三者が参加をしている。
- 交通安全週間に合わせて実施している。



## 成果

- ・生徒、保護者への交通安全の啓発にもつながっている。
- ・活動実施場所や学校周辺での、本校生徒の交通事故件数が減少した。

## 課題や今後の取り組み

- ・学校の統廃合に伴い P T A ・教職員・生徒の数が減少。柔軟な対応で活動を継続していく工夫が必要。

## その他の取り組み紹介

- ・交通量の多い交差点などにおいて、6月、12月、1月を中心に、P T A と教職員で生徒への朝の交通安全指導を実施。

〈生徒の安全とマナー向上への取り組み〉

〈生徒の状況などについての意見交換〉

勢和で子どもを育てる-socs活動を中心にしたPTAや地域住民との連携・協働の可能性-

キーワード PTA・地域住民との連携・協働／オリジナルコミュニティスクール (SOCS)

所在地

三重県多気郡多気町

全校生徒数

217名

地域の特徴

旧多気町と旧勢和村が合併し現在の多気町となった。三重県のほぼ中央に位置し、人口は14,048人(内、勢和地区は、4,421人) (※令和4年5月現在)の町である。高校生レストランで知られた相可高校がある。農業が盛んで、お茶や伊勢芋などが特産物としてあげられる。

学校の特徴

旧勢和村にある児童数217人の小学校である。2013年度から2年間「地域とともにある学校づくりの推進事業」の研究推進校として実践しその後、オリジナルコミュニティ・スクールとして勢和小学校独自でPTAや地域住民と連携・協働しながら、子どもたちを育ててきた。

組織構成



担当課：三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課

取組概要

2013年度より勢和小学校オリジナルコミュニティ・スクールを「SOCS (ソックス)」と名付けて、PTAと地域が協力して活動を企画運営している。SOCSの特長は、学校運営協議のように代表者を決めてすすめるのではなく、ボランティアとして広く地域、PTAにメンバーを募って、みんなで活動しているということである。集まったメンバーが活動計画を立て、授業にも主体的にかかわりながら、勢和の子を育てている。(※今年度より9年間の学びを組織化するため、勢和中学校とともに勢和中学校区コミュニティ・スクールを再編し始動している。)

取り組みの詳細

◎SOCS(PTA及び地域住民で構成)と学校の連携⇒「おまめさんかなプロジェクト」

PTA会員や地域住民(図書館司書・資源保全活用協議会等)で構成されるSOCS(ソックス)と連携して生活科や総合的な学習の時間において様々な活動を行っている。

一例を挙げると・・・

- さつまいもづくり(1年), 大豆づくり(1~3年), 豆腐づくり(3年), みそづくり(4年)
- 米作りやしめ縄づくり(5年), 勢和定食づくり(大豆を主な材料として献立を子どもたちが立てる)(6年)



大豆の種まき(2年) 大豆の収穫(2年) きなごづくり(2年) みそづくり(4年)

多岐にわたるSOCS活動

みそは、中学校へ引き継がれ、家庭科の調理実習で使用される。

中学校へ

成果

- ・PTA会員や地域住民で構成されるSOCS, 学校が活動を通してつながっている。
- ・PTA会員が活動に加わることで、子どもたちに知ってほしいこと, 学んでほしいことをより共有できるため, 子どもたちの学ぶ意欲も高まる。

課題や今後の取り組み

- ・美しい自然を守り, 地域に誇りをもち, さらに勢和を発展させようと行動する子どもを育成していく。
- ・今年度より「勢和中校区コミュニティ・スクール」として再始動したことを好転機として小中学校, PTA, 地域住民が9年間の目標や手立てを共有し, 連携していく。

勢和中学校区コミュニティ・スクール  
 ともに育ち9年間の  
 19年間の自分と9年先の自分が関わる学校へ  
 勢和小学校 勢和中学校

その他の取り組み紹介



さつまいもの収穫(1年) しめ縄づくり(5年)

刈り取った稲藁も余すことなく材料にして、「しめ縄」をつくっている。



はざかけ(5年)

6年生は、集大成として「勢和定食づくり」に取り組んでいる。大豆を中心に献立を勢和らしい献立を子どもたちが考える。コロナ禍のため、昨年度は実施しなかった。

勢和定食(6年)



◎図書館との連携

多気町の図書館司書もSOCSのメンバーである。SOCS活動で栽培する作物に関する絵本の読み聞かせや本の紹介を行っている。



司書による読み聞かせ

◎PTAによる危険箇所の点検と看板立て

PTAの生活・環境委員会(常任委員会)の活動として、その構成員である地区委員長が中心となり、毎年度、通学路の危険箇所点検を行っている。教職員も通学路の点検を行い、共有している。必要に応じて、注意を促す看板を設置している。

# 子どもたちがいつでもどこでも輝けるように

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 地域連携 / 事業所連携

## 取組概要

児童生徒たちが安心して関わるができる人々や安心して活動できる場所(地域)を広げるために、地域の方々と共に活動を行っている。

## 取組みの詳細

### 「フェスティバルin東」

- コロナ禍で実施できていないが、学校運営協議会とPTAが主体となり、ロータリーや大学サークル等に協力を依頼し、出店やダンスを披露していただくなどのイベントを企画している。本校で開催するため、卒業生や在校生が安心して参加しており、地域の方々とともに休日を楽しんでいるイベントで、毎年かなりの人でにぎわっている。

### 「事業所フェア」

- 地域の福祉事業所と合同開催している。本校保護者を対象として、体育館に設置した各福祉事業所のブースを見学したり、質問したりできる活動を参観日に行っている。普段は事業所と接点のない小・中学部の保護者が熱心に質問をする姿も見ることができ、卒業後の生活に少し見通しが持てたなどの感想を毎年いただいている。また、参加した事業所も「地域の啓発運動の一環として、福祉事業所に対しての理解を深めていただく良い機会となる。」との思いを持たれており、今後も継続して開催していく。

## 成果

- 人が集まる、人が集う機会を設定したことで、障害のある子どものいる保護者同士のつながりができていた。そのつながりは、保護者の不安を確実に和らげていた。

## 課題や今後の取組み

- コロナ禍で人が集まる活動ができないため、活動でつながってきた地域の方々が、年が変わるごとに移動等で変わっていくため、事業所等の関係を維持していくための活動を行っていく。

## その他の取組み紹介

- コロナ禍で、オンラインを使っでの事業所の紹介や事業所と冊子を作成し保護者に配布するなど、情報発信を行っている。
- 個人別の防災袋の設置

## 所在地

京都府京都市山科区

## 全校生徒数

161名

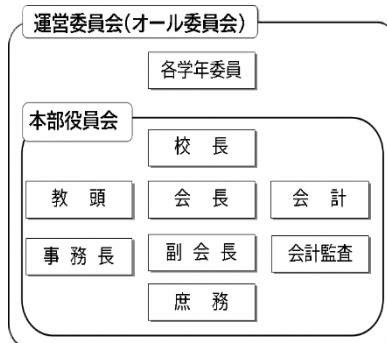
## 地域の特徴

京都市の東、音羽山の西側の麓に位置し、緑いっぱい、小鳥のさえずりを感じる自然豊かな環境の中にある。地域の方々は、本校教育にととても協力的である。

## 学校の特徴

本校は『街づくりに貢献する学校』をめざし、子どもたちが、サテライト施設『ふれあいスペース絆』をはじめ、公共施設等へ出かけ、充実した活動を展開しています。また地域の方も学校にお迎えし、活動を通して、社会や様々な人とのつながりを肌で感じ、自分の存在価値を確認しながら学習を展開しています。

## 組織構成



担当課：京都市教育委員会  
生涯学習部  
学校地域協働推進担当



## 家庭・地域・幼稚園が連携した豊かな体験活動を目指して

**キーワード** 地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 企業連携 / 社会教育士 / 外部人材活用 など自由に（できれば複数）

### 取組概要

宍粟市の「発酵プロジェクト」に賛同し、保護者、地域が一体となり味噌作り体験を実践することで、園児が食文化に触れる機会としている。

### 取り組みの詳細

同中学校区の幼稚園が休園となり園児を受け入れたことから、その地域が取り組んでいた味噌作りを本園が引き継ぐ形で始まった活動である。感染防止に努めながら、苗植え、収穫、脱穀、味噌の仕込み全ての行程に関わることで、食への関心が高まることを目指している。



脱穀作業では「足踏み脱穀機」や「とうみ」などを使った作業を体験することができた。園児は、地域の方に優しく手ほどきしてもらったことを通して様々な人と関わる喜びを感じていた。3月上旬に仕込んだ味噌は家庭で大切に保管されている。卒園児にとってよい思い出になった。



### 成果

- ・味噌作りに関わることで、保護者も宍粟市の「発酵プロジェクト」を深く理解することにつながった。
- ・この体験を通して子どもたちの食への関心が高まると共に、地域の方に親しみをもつことができた。

### 課題や今後の取り組み

- ・様々な地域の方に関わっていただくため、保護者、地域、幼稚園との調整を効率よく進めることが重要である。

### その他の取り組み紹介

- ・小学校との交流
- ・老人クラブとの交流
- ・読書ボランティアによる読み聞かせ

所在地

兵庫県宍粟市

全校生徒数

16名

地域の特徴

宍粟市の東南端に位置し、園周辺には新しい住宅も増えているが、山々と田畑に囲まれた農山村地域で、四季を通して身近な自然に親しむことができる。地域の中で唯一の幼児教育施設であり、地域の関心は高く協力的で、高齢者をはじめ地域の方々の知識や知恵を伝承してもらえる人的豊かにも恵まれている。

学校の特徴

「自分らしさを発揮し、共に学び、育ち合う子どもの育成」を目標に16名の園児が在園。緑豊かな園庭で自然に触れながら様々な気付きと豊かな体験を得ている。また、地域の教育力を生かした活動も大切に行っている。

組織構成

宍粟市立河東幼稚園さくら会組織図

会長（1名）  
 副会長（1名）  
 研修部（1名）  
 育成部・会計監査と兼務（1名）  
 体育部（1名）  
 それぞれ各部長を務め、PTA活動に関わると共に宍粟市連合PTAの活動にも携わる。

担当課：兵庫県教育委員会  
 社会教育課

## 地域の「こども110番の家」を、つながりを通して増やそう！

キーワード 地域との密着 / 見守り活動 / 地域団体との連携 / 子どもの安全・安心

## 取組概要

毎年の更新確認のみならず、地域団体等に声かけを積極的に行うことで、「こども110番の家」を昨年度比4割増やすことができた。

## 取り組みの詳細

校区内での不審者情報がきっかけとなり、定例会において子どもたちの安心・安全につながることでできることは何かを熟議した。

以前から菅原自警団や民生委員の皆様と連携し、朝夕の見守り・立哨当番を地域ぐるみで行っている。

しかし、通学路における子どもの緊急避難場所「こども110番の家」の登録が、在宅家庭の高齢化・共働き家庭の増加により年々減少傾向であったことから、家庭だけでなく、地域団体の会合等にもPTA役員が出向き、登録を呼びかけることにした。



消防団の方々をはじめとした登録数の増加とともに、各地区長が中心となり、「こども110番の家」への定期的な連絡を行っている。また、巡回中に古くなった旗が掲げている家庭・事業所に声かけをし、更新を行うことで、地域同士のつながりも継続することができている。結果的に、「地域の目」として、いつでもどこにいても緊急避難場所があるという安心感につながっている。

## 成果

- ・地域に旗が増えることで、保護者の安心感が高まった。
- ・地域の防犯意識も向上した。

## 課題や今後の取り組み

- ・登録家庭・事業所とつながることでの登録の維持。
- ・登録数のさらなる増加。

## その他の取り組み紹介

- ・広報部による新聞を年3回発行。全国や県、市内での入賞。
- ・定例会のオンライン実施及びSNSで活動内容等を検討することにより保護者の負担軽減。
- ・欠席や遅刻連絡のオンライン化。
- ・定期的な校内美化活動及び、遊具の塗り替えの実施。
- ・地域の神社境内での管灯籠の実施。

所在地

奈良県大和高田市

全校生徒数

283名

地域の特徴

本校は、田園地帯が広がる地域に立地している。最近では造成の宅地が増えたこともあり児童数が増加傾向にある。地域の防犯に対する意識は高く、自警団を中心にPTAも交差点での立哨活動が積極的に取り組んでいる。

学校の特徴

令和6年度に創立150周年を迎える伝統ある学校である。「学び合い・はげまし合い・やり抜き子」を学校教育目標とし、昨年度からICT機器活用に関する研究を行っている。また、花いっぱい運動や農作物栽培等の自然に親しむ活動を積極的に行っている。

組織構成

□本部役員17名  
 会長 1名  
 副会長 3名  
 (事務局長・地区委員長・学級委員長)  
 会計 1名  
 書記 1名  
 会計監査 2名  
 専門部長等9名  
 (保健・体育部、文化部、広報部、補導会、母の会、教職員代表、顧問)

担当課:奈良県教育委員会事務局  
 人権・地域教育課

## 地域を学ぶ（夢のかたち講座、地域防災への取組）

キーワード コミュニティ・スクール / 外部人材活用

### 取組概要

生徒のキャリア教育に地域を学ぶ視点を取り入れ、地域で活躍する方々の講演で生徒を育成、また海南市の防災訓練では静波会が生徒と共に参画し、地域防災を学ぶ。

### 取り組みの詳細

#### ・夢のかたち講座

高校1年生2年生の総合的な探究の時間に海南市納税協会と協力し、地域で活躍する企業の経営者による生徒の琴線に触れる熱い思いを語る講座を実施している。静波会も講座に参加し、その後、今後の講演について学校と意見交換を行っている。この講座を通じて、生徒のキャリア形成に繋げる機会にすると共に、生徒が高い志をもち自ら自信と誇りをもって生きていく若者の育成を目指している。

#### ・地域防災への取組

海南市危機管理課が主催する東南海・南海地震を想定した海南市地震津波防災訓練に生徒と静波会が共に参画し、要配慮者体験や避難所運営など、高校生や保護者に求められている活動を学ぶ。

夢のかたち講座



地域防災



### 成果

・学校の教育目標・指導方針などを十分理解し、学校の教育活動が効率的に進められるよう体制を確立したことで、協力することができた。

### 課題や今後の取り組み

・コロナ禍で思うような活動ができない一方、静波会活動自体の見直しや新たな実施手法を考えていく必要がある。

### その他の取り組み紹介

- ・教員と合同で学校周辺の登校指導。
- ・進路キャリア部と連携し、保護者懇談会や進路講演会を開催。生徒の進路実現に取り組む。
- ・コロナ禍において、スマホやPCで利用できる教育用コミュニケーションツールを活用し、学校運営状況等の情報を共有した。

所在地

和歌山県海南市

全校生徒数

551名

地域の特徴

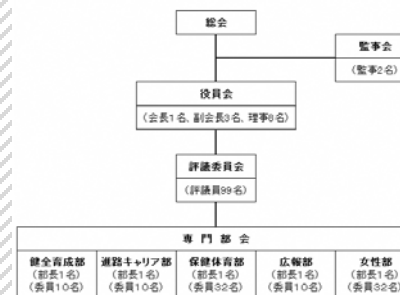
海南市は、平成17年4月1日に旧海南市と旧下津町が合併して誕生した、人口約5万人の市である。和歌山県北西部にあり、恵まれた気候からびわやみかんの栽培が盛んである。黒工地区は日本四大漆器の一つ「紀州漆器」の産地として、下津地区は文化財の宝庫として知られている。

学校の特徴

大正11年に設置された和歌山県立海南中学校を母体とし、令和4年に100周年を迎える歴史があり、海南校舎（全日制・定時制）、大城校舎、美里分校を設置する学校である。平成16年より文部科学省のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の研究指定を受けている。

組織構成

和歌山県立海南高等学校静波会組織図



担当課：和歌山県教育庁生涯学習課



## 学校と地域の連携

キーワード 地域学校協働活動 / 公民館 / 防災学習 / 避難所体験 / 防災士

## 取組概要

学校と地域をつなぐ P T A 未来を担う子どもの育成

## 取り組みの詳細

## 地域と連携した学校行事の推進

- ・学校文化祭では、学校、P T A、町内会、公民館などで組織される文化祭実行委員が中心となり、公民館の大ホールを展示スペースとして貸与してもらい、児童作品や学習活動の動画を展示し、地域の方に紹介している。また、公民館主催の展示会においても、児童の作品を提供し、多くの地域の方に鑑賞していただいている。
- ・運動会では、学校・P T A・地域の3者の代表による運動会実行委員会を組織し、地域参加型の運動会を企画・運営している。

## 防災活動

P T A が校区内の住職を招き、明治22年の富田川大水害の記録を見せてもらいながら、被害の状況や復興の様子などを教わった。また、町内に住む防災士の方を公民館に招いて災害時の避難行動や避難所での生活について学び、段ボール・ビニル袋を使った必需品作りや、非常食試食を通して、実践力を高める活動を行った。秋の文化祭の一環で、地域の方や保護者を対象に学習発表の形で防災に関する呼びかけを行った。



## 体験活動

「フラワータウン学習」として、町教育委員会生涯学習課の協力の下、P T A と地域の方が一緒に苗の植え替えを行い、その後、成長を学校とともに管理し、文化祭等で地域の方々に配布している。

## 成果

- ・災害への備えを日ごろから行うとともに、発生時の行動について家庭で考える機会を持つことができた。
- ・地域への帰属意識を共有することができた。

## 課題や今後の取り組み

- ・感染症対策を行いながら、児童・学校・地域のつながりを確保していくことが大切である。
- ・地域の人材・教材を今後の学習にどのように活用していくかという視点を持つことが必要である。

## その他の取り組み紹介

- ・広報誌「いずみ」発行
- ・校区内の環境整備活動
- ・研修会や講演会への参加
- ・救急救命講習会の参加
- ・ウェブアンケートの集約及び結果のフィードバック

## 所在地

和歌山県上富田町

## 全校生徒数

135名

## 地域の特徴

和歌山県の南西部に位置し、熊野古道「中辺路街道」の入口であり、東・北は田辺市、西・南は白浜町に隣接し、中央部を富田川が流れている。気候は黒潮の影響により、年平均気温18度と温暖である。

## 学校の特徴

- ・[特別の教科 道徳]を研究教科とし、一人ひとりの学びを深めるための授業改善と指導の工夫に取り組んでいる。
- ・校区内にある特別支援学校2校との交流学習を30年以上にわたり継続して行っている。

## 組織構成

## 総会

本部役員 (会長・副会長3名・幹事) / 監査委員

- ・教養部  
会員研修・広報作成
- ・生活部  
児童の生活指導・会員福利厚生
- ・事業部  
環境整備
- ・学年部  
学年P T Aの運営

## 会員

担当課：和歌山県教育庁生涯学習課

所在地

島根県大田市

全校生徒数

33名

地域の特徴

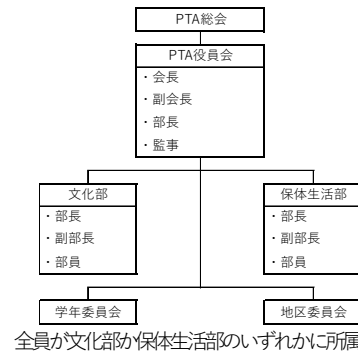
校区は水上・祖式・大代の3町にまたがっている。のどかな田園風景が広がり、山々に囲まれた農村地域である。校区には「イズモコバイモ」や「ギフチョウ」が生息している大江高山がそびえてる。また、世界遺産「石見銀山」とその文化的景観の一部も校区内に有している。

学校の特徴

本校は、複式学級を有する学校であり、児童は素直で明るく真面目で、学年の枠を超えてみんなで一緒に活動している。開校当時から「みどりの道」があり、この「みどりの道」でギフチョウやイズモコバイモなどを守る活動や楽しむ活動を行っている。

組織構成

高山小学校PTA組織図



## 安心・安全な環境づくりを地域とともに

キーワード

地域と学校の協働活動 / 外部団体との協力

### 取組概要

全校児童33名の小規模な学校です。児童数、PTA会員数が少ない中、卒業生、保護者OB、地域の方の協力を得ながら地域一体となって活動を進めています。

### 取り組みの詳細

#### 春夏の環境整備とツツジの剪定・みどりの道の整備

高山小学校は校地が大変広く、学校林（みどりの道）4.2haも有している。みどりの道は、子ども達に大変人気があり、学習でも利用している。学校のシンボルであるツツジは約400本あり、一面に咲き誇る時期は、とてもきれいである。



会員数が減少している中、子ども達が安全・安心に過ごせる環境づくりは、PTAにとっても重要な事業である。そこで、環境整備作業はPTA保体生活部が中心となって行っているが、卒業生やPTAのOB、地域へも参加を呼びかけ、協力を得て行っている。

春の環境整備では、本校が近隣の小学校と合同で行っている高山地区連合運動会の会場になることもあり、たくさんの地域の方の協力を得て行った。夏季休業中の作業には、校区の中学生の多くが参加し、作業に取り組んだ。



ツツジの剪定やみどりの道の整備は主にPTA保体生活部で行っているが、みどりの道の整備は外部の団体の協力も得ている。

### 成果

- 子ども達が安心・安全に過ごせる環境づくりができています。
- PTA相互、地域との連携が一層深まってきている。

### 課題や今後の取り組み

- 会員数が少ない中で、事業を継続していくための工夫が必要。
- 次年度から始まるコミュニティスクールへもPTAとしてしっかりと関わっていく。

### その他の取り組み紹介

- 文集「もっかん」を創立当時より発行しており、毎年の風物詩となっている。
- 人権・同和教育研修会や学校保健委員会など、地域にも呼びかけて行っている。
- 学校では子ども達が「ギフチョウ」の保護活動を行っており、ギフチョウが育つ環境づくりにも協力している。

## やる気とかがみがみなぎる高校 ～学校・地域と協力した学校の魅力づくりと情報発信～

キーワード

地域学校協働活動 / 情報発信 / コンソーシアム / Webオンライン活用

### 取組概要

地域における少子化が進み高校への入学者数が減少する中で、P T Aとしても生徒募集に協力していくという方針を掲げた。P T Aは矢上高校の応援団として、地域と協力して高校の魅力づくりに取り組んだり、情報発信や交流活動、委員会活動などで学校を支援したりしている。

### 取り組みの詳細

#### ■学校説明会への参加

矢上高校では町内の中学生が減少する中、町内生の入学率向上に重点を置き、高校の魅力化と生徒確保に取り組んでいる。生徒確保は学校存続やP T Aの運営にも影響が予想され、町内中学生の入学率向上を目指し、P T Aも町内の各地区で行う学校説明会に参加し、保護者目線の学校P Rや保護者の相談にのるなどの取り組みを実施している。オープンスクールの際にも、保護者の参加者に相談会や説明を行っている。



#### ■寄宿舎生との交流会を実施

島根県では「しまね留学」という取り組みを行い、全国から意欲の高い生徒の募集を行っている。矢上高校も平成27年度から積極的に県外生の募集を始めた。令和4年度は計54名の県外生が寄宿舎で生活している。また、県内の町外生も多く、寄宿舎で生活している。地元自治会や卒業生会と連携し、地元や卒業生、P T Aが県外生や寄宿舎生との交流会を実施している。



### 成果

- ・島根県中山間地の高校としては異例の3年連続志願倍率1.0倍超え。
- ・県外・町外生と地域の方々との繋がりができ、双方の壁が低くなり身近な存在として意識するようになった。

### 課題や今後の取り組み

- ・県外生や町外生の保護者が、今以上にPTA活動に気軽に参加できたり、意見を言える仕組みを整備したい。
- ・コンソーシアムでの協力体制の構築

### その他の取り組み紹介

- ・P T A総会をWeb開催し、県外・遠方の保護者も参加可能とした
- ・コンソーシアムへの参加と地域と連携した学校の魅力づくり
- ・委員会の見直しと活動のコンパクト化
- ・PTA奉仕活動（地域の方や生徒も参加）
- ・PTAだよりの年2回発行
- ・学園祭でのPTA有志によるバザー開催

所在地

島根県邑南町

全校生徒数

277名

地域の特徴

島根県中央部 於保知盆地に位置する人口約1万人の邑南町。古くは「たたら」で栄え、古墳、城跡も多い。食と農に特化した町おこし「A級グルメ構想」を掲げ全国から注目を集めている

学校の特徴

昭和3年4月、地域の方々の愛と奉仕により校舎建設が行われ県立高校として認可。普通科と産業技術科を有し、小規模校だが地域との協働により魅力ある学校づくりに取り組んでいる

組織構成

- 在籍生徒保護者と教職員により構成。
- 役員として会長1名、副会長3名（校長含む）、地区代議員25名程度、監事2名、幹事若干名を選出
- 上記役員を以下の各種委員会に振り分け。研修委員会、広報委員会、生活指導委員会、進路指導委員会
- 総会は年1回、役員会・代議員会年3回、各種委員会は必要に応じて開催。

担当課

島根県教育庁社会教育課



# トウガラシプロジェクトで須金地域を元気に！

キーワード

地域との連携 / 郷土愛の醸成 / 地域学校協働活動 / コミュニティ・スクール

## 取組概要

「地域の方の役に立ちたい」、「ふるさと須金を元気にしたい」との思いから、P T Aと農家の方が協働し、校庭でトウガラシの栽培や商品化を行った。活動を通し、子どもたちの地域を思う気持ちの醸成につながった。

## 取り組みの詳細

### トウガラシについて学ぶ

(栽培に至る経緯や栽培方法等)



### 校庭で栽培



商品販売にまで繋げ、モノづくりの苦労と喜び、愛郷心を醸成



「トウガラシから地域の未来を考える」をテーマに子ども・保護者・教職員・地域住民が熟議



## 成果

- ・ P T Aとまちづくり協議会等との連携強化
- ・ ふるさとを大切に思う気持ちの醸成
- ・ 須金地域の活性化
- ・ 農園体験等による郷土愛の育成
- ・ 学校と地域人材の関係づくり
- ・ 学校を核とした地域づくり

## 課題や今後の取り組み

- ・ 熟議「須金わくわくプロジェクト」の実施（地域と学校で課題を共有）
- ・ アイデアを高校生の手で実現へ（市内高校と連携した「トウガラシペーストを活用した新レシピ」の作成）

## その他の取り組み紹介

- ・ 「須磨小ぎんなん」の販売による P T A 活動資金の捻出
- ・ 運動場の芝生化
- ・ 子どものアイデアを生かした遊具のペンキ塗り

所在地

山口県周南市

全校児童数

5名

地域の特徴

周南市北部、標高200mの盆地に位置し、昼夜の寒暖差と錦川の豊富な水を活かした果物づくりが盛んである。県内有数の梨、ぶどうの産地として観光農園が賑わっている。初夏の蛍や冬の雲海といった自然豊かな地域である。

学校の特徴

学校教育目標を「ふるさとを愛し、未来を拓く、人間性豊かでたくましい須磨っ子の育成」として、小規模校ならではの強みを活かし、学校・P T A・地域が連携しながら、「もっと」わくわくする学校をめざしている。

組織構成

<須磨小学校 P T A 組織>

○役員  
会長 副会長 会計監査委員

○各委員会  
企画委員会 運営委員会 学級委員会  
地区委員会

○専門部会  
研修・広報部 保健・補導部

担当課：山口県教育庁  
地域連携教育推進課

## CSの強みを生かして、生徒一人ひとりの多様な学びに寄り添う！

キーワード コミュニティ・スクール / 地域学校協働活動 / 学校・地域連携カリキュラム / 熟議 / 社会教育との連携

## 取組概要

コロナ禍においても、学校の取組をさまざまな形で発信し、学校を核として、家庭・地域とともに、生徒一人ひとりの学びの機会を保障し、生徒自身の言葉で活動の成果を表現させる機会を創出する。

## 取り組みの詳細

## ふるさと萩を愛し、志に生きる

## 地域とともに

- ・部活動における外部指導者の活用「福栄レディース」他
- ・人材育成ユニット研修 等

## PTA

## 保護者とともに

- ・萩東中フェスティバル
- ・てごの会による花生け活動・古紙回収「てごの日」
- ・市民館での卒業式 等

## 学校が主体となり

- ・高校生との熟議
- ・2中4小で作成する学校・地域連携カリキュラム 等

地域とともにある信頼される学校

生徒の姿で教育の成果を見せる学校



てごの会による花生け活動



萩東中フェスティバル



高校生との熟議

## 成果

- ・一人ひとりが当事者意識をもち、持続的な活動の一步を踏み出せた。
- ・PTAと生徒が協力して、変化が目に見える活動が展開できた。

## 課題や今後の取り組み

- ・学校、家庭、地域が一層連携し、めざす生徒像を大切にしながら、横のつながりを意識した活動を展開していく。

## その他の取り組み紹介

- ・職場体験学習、ふるさと学習
- ・面接指導
- ・校内ハローワーク
- ・家庭教育支援チーム「ぎゅっと」
- ・保護者カフェ
- ・夜間パトロール、下校の見守り
- ・萩市河川海岸一斉清掃
- ・あいさつマイスター制度

## 所在地

山口県萩市

## 全校生徒数

410名

## 地域の特徴

県北部 松本川と橋本川に囲まれた三角州に位置し、「明治日本の産業革命遺産」を構成する「松陰神社」「萩反射炉」「恵美須ヶ鼻造船所跡」があり、大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台にもなった歴史ある地域である。

## 学校の特徴

「ふるさと萩を愛し、志に生きる」を学校目標に掲げ、「地域とともにある信頼される学校づくり」「生徒の姿で教育の成果を見せることができる学校づくり」をめざし、コミュニティ・スクールのトップランナーとして走り続けている。

## 組織構成

萩東中学校PTA)

- 運営委員会
  - 会長1名、副会長3名
  - 学年代表
  - 各専門部長及び福専専門委員長
  - 顧問ならびに学校委員
- 各専門部
  - ・総務部
  - ・広報部
  - ・保健体育部
  - ・学校給食部
  - ・校外指導部
  - ・学年代表

てごの会\*

\* PTAのOB組織

担当課：山口県教育庁  
地域連携教育推進課

## 地域とつながる P T A ～子供たちがいきいきと学ぶために～

キーワード 地域との連携 / 地域の自然を活かした体験活動

### 取組概要

地域と連携し、地域の特性を活かした豊かな体験活動を通して“いきいきと学ぶ”子供の育成を目指している。

### 取り組みの詳細

#### ★地域住民

- ・みかん狩りの場を提供いただき、収穫の喜びと共に、地域の豊かな自然を直接体験する機会となった。
- ・地域住民の協力の下、リサイクル品回収により資源の有効活用を行った。

### つながる豊かな体験活動

#### ★地域団体

- ・セニヤクラブ（老人クラブ）の方々から、地域の特産である竹を使った水鉄砲や、お手玉の遊び方を教わった。
- ・地域団体の協力により、さつまいも畑でいもつるさしや収穫を体験することができた。

#### ★小学校

- ・隣接する小学校とは P T A 活動を共に行い、P T A 役員は、小学校の役員と共に本部・4 部会のうちいずれかに所属している。
- ・避難訓練を合同で行い、防災知識や災害時における安全な避難の方法について情報を共有している。



地域の方の畑でみかん狩り



手作りの竹の水鉄砲遊び

### いきいきと学ぶ子供の育成

### 成果

- ・地域住民と連携し、地域の自然を活かした活動を行うことで、園児たちの豊かな体験や学びを実現した。
- ・地域住民との交流を通して、地域全体で子供の成長を支える体制ができ、大人も子供も笑顔あふれる地域づくりにつながった。

### 課題や今後の取り組み

- ・「無理のない P T A 活動」を目指し、話し合いやアンケートの結果を基に、常に P T A 活動の内容の見直しを行いながら、全ての保護者と教職員が協力し取り組む体制づくりを行う。

### その他の取り組み紹介

- ・園児が一人一鉢トマトを栽培しており、最後は持ち帰って、家庭で収穫体験をしてもらうことで、園での学びを家庭につなげている。
- ・新型コロナウイルス感染症対策について家庭に啓発を行い、感染拡大防止に努めている。
- ・阿南市幼稚園人権教育部発行の人権啓発資料を活用し、各家庭で人権について話し合う機会をつくっている。

## 基礎情報

所在地

徳島県阿南市大野町

全校生徒数

20名

地域の特徴

阿南市の西部に位置し、北側には那賀川が流れ、南側には大野城山を中心に山々が連なる自然豊かな環境である。地域団体・保護者・学校園が連携し、地域全体で子供を育てている。

学校の特徴

昭和18年開園。「幼児にとってふさわしい環境の中で心身共に調和のとれた人間性豊かな幼児を育てる」を教育目標とし、家庭や地域、小学校との連携を活かした“いきいきと学ぶ”ことのできる子供の育成を目指して取り組んでいる。

組織構成

全保護者・全職員が P T A 会員で、役員は活動推進の助言等を行う。各部会は、小学校 P T A と共に構成され、計画的に活動を進めている。

【役員】

会長 1名

学年部長 2名(年長・年少)

学年副部長 2名(年長・年少)

【部会】

厚生部 本部 健全育成部

家庭教育部 人権教育推進部

担当課：徳島県教育委員会生涯学習課



## 基礎情報

所在地

香川県綾歌郡綾川町

全校生徒数

60名

地域の特徴

香川県の中央部に位置し、東西約2km、南北約6.1kmで南北に細長い校区を形成している。琴電や国道32号線、中讃大規模農道、国道377号線が校区を横断しており、主要な交通の便となっている。また、南北に山があり、校区中央部は田園地帯が広がっている。

学校の特徴

創立130年の歴史ある学校で、「自ら学び人間性豊かでたくましく子どもの育成」を教育目標に掲げた1学年1学級の小規模校である。地域の人たちの学校教育に対する関心は高く、学校に対して協力的であり、学校も含めて、地域をあげて種々な行事に取り組んでいる。

組織構成

組織は、役員と委員で構成。役員は会長、副会長、書記・会計監査、会計、委員は学級PTAの世話をする学級委員、地区内PTAの世話をする地区委員、子ども会の活動を育成する育成委員、PTA活動を行う活動委員で構成され、全会員がいずれかに属している。また、常置委員会として総務委員会、体育委員会、地域活動委員会、育成委員会、学級委員会の4つの委員会が設置されている。

担当課：香川県教育委員会  
生涯学習・文化財課

## 家庭・地域と連携したPTA活動

キーワード 地域学校協働活動 / 全員参加

## 取組概要

広報紙の地域への配布、地域ボランティアによる交通指導や清掃奉仕、行事への協力など、地域と連携した活動が行われている。また、全会員がPTA組織委員会に所属し、PTA活動を行っている。

## 取り組みの詳細

## ◆広報紙の地域への配布

広報紙「伝々夢紙」を年2回発行し、全保護者と地域に配付し、PTA行事や子どもたちの成長を報告している。



## ◆地域ボランティアの参加

学校支援ボランティアの方々に登下校時の交通指導や見守り活動を協力していただいている。また、PTAの奉仕活動にJAや地域ボランティアと合同で清掃を実施している。

小学校の文化祭では羽床地区のうどん研究会と協力し、手打ちうどんの販売を行っている。

## ◆全員参加のPTA

PTA組織の中に、地区のPTAを世話する地区委員や子ども会の活動を育成する育成委員を設けることで、地域と連携しやすくしている。また、学級委員や活動委員を含め、全員がいずれかの委員に所属し、PTA活動を行っている。

## 成果

・交通指導により、子どもたちの安全を意識した行動につながっていると同時に、地域全体で子どもを見守ることができた。

・保護者全員でPTA活動をすることで、学校（教師）や地域の人とのつながりができ、学校教育支援に対する意識の向上が図られている。

## 課題や今後の取り組み

・児童数減少に伴いPTA会員も減少しているが、これまでと同様に学校（教師）や地域の人と連携した取り組みを継続していきたい。

## その他の取り組み紹介

- ・通学路の危険箇所への足形マークや「こどもかけこみ110番」の看板の設置
- ・リーダーキャンプでのロープ結び体験会等

## 地域とともに歩む P T A 活動

キーワード 地域学校協働活動 / 見守り活動

## 取組概要

学校、P T A、地域がともに協力し、子どもたちの安全と健やかな成長を見守る活動を行う。

## 取り組みの詳細

- (1) 東っ子祭（代替として「そてっしーゲーム」）  
 例年、P T Aと学校、地域が協力して、バザーや様々な催し物を行う一大イベントだったが、コロナ禍のため代替として「そてっしーゲーム」を行った。



&lt;クロスワードパズルに挑戦&gt;



&lt;「そてっしー」発見時のTV放送&gt;

- (2) 見守り活動、危険箇所点検  
 登校時の見守り活動を毎日実施するとともに、P T Aと地域の交通安全指導員等が連携して、危険箇所点検やストップマークの設置を行い、事故の未然防止に努めている。



&lt;朝の見守り活動&gt;



&lt;危険箇所点検の様子&gt;

## 成果

- ・地域学校協働活動の充実により、子どもたちのために様々な活動を行うことができた。
- ・コロナ禍で制限がある中、感染症対策を徹底し、できることを考え、工夫して取り組むことができた。
- ・会合の代わりに、動画配信等の新しい活動に取り組むことができた。

## 課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍で参集しての打ち合わせや準備ができなため、行事等の経験者が不在になり、次年度への引継ぎが難しい。

## その他の取り組み紹介

- ・年間8回新聞を発行していたが、SDGsと負担軽減の観点からP T Aホームページで情報発信するようにした。

所在地

愛媛県松山市

全校児童数

962名

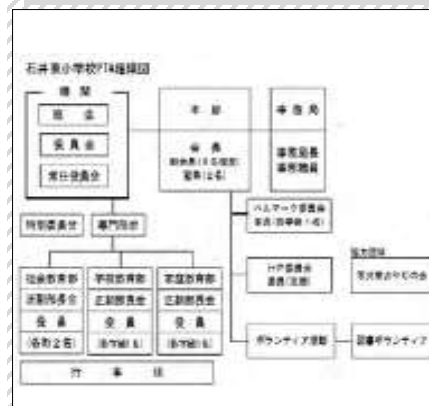
地域の特徴

スクールガードリーダーやおやじの会等の地域の方々が協力的で、支援体制が整っている。開校44年の歴史と伝統を継承・改善しながら、家庭や地域が一体となって子どもたちと関わっている。

学校の特徴

本校は松山市の南部に位置する大規模校である。「自他を愛し心豊かで活力のある児童の育成」の教育目標の下、全教職員が協働して家庭・地域とともに歩みながら、みんなが笑顔（幸せ）になる学校を目指している。

組織構成



担当課：愛媛県教育委員会  
 社会教育課

## 基礎情報

## 所在地

佐賀県東松浦郡玄海町大字新田  
1809番地11

## 全校生徒数

191名

## 地域の特徴

玄海町は佐賀県西北部に位置する農林水産業が盛んな風光明媚な町です。浜野浦の棚田、仮屋湾の養殖も有名で、訪れると、大自然の中で、心豊かな町民の方々に触れあうことができます。

## 学校の特徴

東松浦高校と唐津北高校の伝統と志を受け継ぎ、H17年度に新たなスタートを切りました。H23年度に普通科から総合学科へ学科改編を行い、県北部で唯一の総合学科の高校として、地域と連携した学校づくりを推進しています。

## 組織構成

会員より 会長1名  
副会長3名  
監事2名  
顧問3名 を選出している。

また、生徒の居住する地区ごとに、各年度2名の役員を選出している。  
3学年合わせて約30名が役員として活動している。

担当課：佐賀県教育庁学校教育課

## キミたちの青春、わたしたちが応援しているよ！～オトナのチカラ～

キーワード 気持ちのいい挨拶／進路応援／感謝の言葉

## 取組概要

- 朝の挨拶運動
- 執行部役員による就職希望者への面接指導
- ロードレース大会時の豚汁ふるまい会



## 取組の詳細

## 《朝の挨拶運動》

年に3回、役員を中心に朝の挨拶運動を行っている。挨拶運動とともに、自家用車での送迎の様子等を見て危険な点があれば学校の広報誌等を利用して改善を呼びかけている。

生徒の様子を共有し普段から生徒を見守る協力体制ができている。



## 《就職希望者への面接指導》

3年生就職希望者を対象として、執行部役員が面接官となり、個人面接や集団面接の形式で指導を行っている。生徒が初対面の人との面接を体験する機会を設けることができている。



## 《豚汁ふるまい会》

校内駅伝・ロードレース大会で豚汁をふるまい、好評を得ている。  
自然と「ありがとう」の言葉が飛び交っている。



## 成果

・挨拶運動では、登校時の服装など、日ごろの様子を知ってもらうこともでき、家庭での生活指導にも役立った。

・面接指導では、生徒だけでなく、教員にも企業側の視点でアドバイスをいただくこともあって、その後の指導の一助となった。

## 課題や今後の取組

・“挨拶と感謝ができる子どもを育てる”をモットーに、さらなる支援を続ける。

・役員だけでなく、多くの会員からの支援を得られるような手立てを検討する。

## その他の取組紹介

・本校生徒が企業と共同開発した商品をPRし、生徒の活動の場を広げている。

・新型コロナウイルスへの対応を講じながら、できるだけイベントを開催したい。



## 「校種を超えた連携」～地域の子ども達のために～

キーワード 校種間連携 / 保護者と教職員との交流・学び合い

### 取組概要

小・中・高連携協議会を通して、講演会、校内研修会（保護者と教職員の討論を含む）等を実施し、家庭・学校・地域のつながりを深める。

### 取り組みの詳細

#### 大瀬戸地区小・中・高連携協議会

この会は、西海市大瀬戸町の4km圏内にある小学校2校、中学校1校、高等学校1校の計4校が「校種を超えて、一緒に子どもたちの成長を育んでいこう」という目的で、平成29年に発足した。講演会、校内研修会等を実施するとともに、各校の広報誌等を活用して情報共有を行っている。

講演会は、保護者・生徒・教職員を対象とし、地域住民にも案内している。校内研修会は、討議の柱（学習指導、地域との連携、生徒指導、部活動、働き方改革、心の教育）に沿って、保護者と教職員がグループに分かれ討議し、それぞれのグループで話し合った内容を発表し、参加者全員で情報を共有している。



### 成果

- 保護者が、教職員の大変さを知ることができた。
- 協議することの重要性を再認識できた。

### 課題や今後の取り組み

- 校種が違い、学校行事等も異なるので、早めの日程調整が必要。
- 広報活動や保護者の協力が必要な活動における各校の保護者間の連携。

### その他の取り組み紹介

- 学校行事において、保護者と生徒が触れ合う機会を設けるとともに、学校行事を盛り上げている。
  - ・体育祭でのジュース販売
  - ・文化祭での食品バザーの開催
  - ・耐寒歩行大会での豚汁の炊き出し

所在地

長崎県西海市

全校生徒数

81名

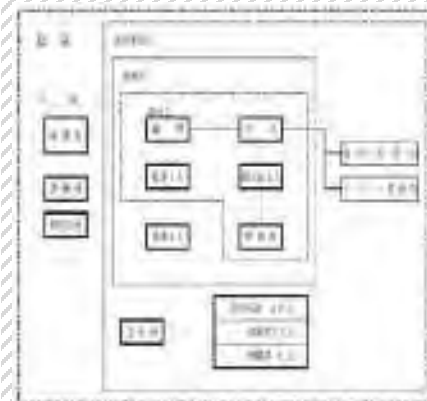
地域の特徴

西海市は、長崎県の中央に位置し、三方を海に囲まれ、有人離島をはじめとする大小の島々と複雑な形の海岸線や丘陵起伏の地形等、美しい自然景観が見られる。人柄も穏やかで、誰に対しても優しく接してくれる温かい地域である。

学校の特徴

西彼杵高校は、全日制普通科の高校で、2年次より、進学・就職の2つのコースに分かれ、個に応じた教育課程を編成している。地元の機関や企業、地域と連携しながら、地域の問題を解決するなど、探究的な学びを実践している。

組織構成



担当課：長崎県教育庁  
生涯学習課

## 「育てよう 地域の宝 滑石っ子！」～地域と連携・協働したPTA活動～

キーワード

地域と連携・協働 / 地域学校協働活動 / 外部人材活用

### 取組概要

学校・家庭・地域が一体となって、地域の宝である滑石の子供たちの健やかな成長を支援している。その取り組みとして、まちづくり委員会と合同で行う「滑石ふれあいデー」、滑石支館と合同で行う「合同運動会」、滑石漁協の協力のもと行う「しゃくつり・貝ほり大会」等、地域と連携・協働したPTA活動を実施している。

### 取り組みの詳細

#### まちづくり委員会と合同 「滑石ふれあいデー」

午前中に「滑石青少年育成大会」として、小学生から高校生までの「社会を明るくする運動」作文発表会と講演、午後はステージ発表や食バザー等が用意されている。



#### 滑石支館と「合同運動会」

学校・PTA・校区民・老人会・消防団等、地域の各種団体が参加し、滑石支館全体の運動会となっている。



#### 滑石漁協の協力のもと 「しゃくつり・貝ほり大会」

滑石漁協に協力を仰ぎ、滑石海岸にて実施している有明海ならではの体験活動である。地域の方にしゃくや貝の捕獲の手ほどきをしてもらい、海での体験を楽しんでいる。



### 成果

・学校と家庭、地域が一体となって様々な教育活動に取り組むことにより、互いのつながりが深まり、地域の良さを再認識することができた。

### 課題や今後の取り組み

・コロナ禍ということもあり、各活動も縮小、制限されることもあるが、今できる子どもたちへの健全育成の支援の工夫をしていくようにする。

### その他の取り組み紹介

- ・どんどや... 1月菊池川河川敷にて
- ・朝の読み聞かせ及び丸付けボランティア...「あすなる会」(PTA会員)
- ・資源回収...年2回全戸に呼び掛け
- ・防犯・安全パトロール...児童の登下校に合わせて実施
- ・昔遊び・いもほり...老人会と実施

所在地

熊本県玉名市

全校児童数

95名

地域の特徴

校区は、東に一級河川の菊池川、南に有明海を望む田畑の広がる自然豊かな地域である。地域には、まちづくり委員会や老人会、滑石支館等の組織があり、PTAと連携し、地域一体となって子供の健全育成を推進している。学校の教育活動にも大変協力的である。

学校の特徴

明治17年に開校し、もうすぐ創立150周年を迎える。学校教育目標である「夢を持ち、未来を創り出す 滑石っ子の育成」のもと、「自分で考え動き、人と関わり、やり続ける子供」の育成を目指し、様々な教育活動を展開している。

組織構成

会員としては、全保護者が加入している。役も持ち回りにし、負担感のない運営が行われている。

会長1名、副会長3名(内2名は母親部長、会計を兼務)を置き、本部4役としている。その下に地区委員、体育委員、校外指導委員、文化委員、学年委員を組織し、それぞれに委員を配置している。

年間2回の総会(4月・2月)及び年間5回ほどの合同委員会を実施している。その出席率は毎回90%程度である。

担当課：熊本県教育委員会  
社会教育課



## 『荒小っ子は地域の宝、世界の宝』荒谷小 P T A

## キーワード

地域学校協働活動／保護者と学校の協力／地域住民との連携／キャリア教育／コミュニティ・スクール

## 取組概要

- 「わくわく学習（郷土学習）」を通じた地域と学校の連携・協働の実施
- 学校と家庭が連携した「メディアコントロール週間」の設定と実践
- 荒川地域全戸住民が P T A 会員として加入し、地域全体で学校を応援

## 取り組みの詳細



「わくわく学習応援隊」として総合的な学習の時間に支援を行っている。課題に林業を設定した児童は、林業従事者から業務内容の説明や助言を受ける。その他、神楽や諸塚弁等、地域文化についての支援をいただき、充実した学びにつながっている。学習発表会でまとめたことを披露（R3年度は、村内テレビ独自放送で発信）した。



家庭でのメディア利用に課題があったため、「メディアコントロール週間」を設けた。期間中はゲームや動画視聴等のメディア利用に関して親子でのルール決めや実践記録に取り組んだ。年度末の学校保健委員会で年間の振り返りを行い、家庭でのメディア利用の在り方について保護者や児童の意識を高めることができた。



## 成果

- ・ 地域住民の学校行事に対する認知度は高く、様々な行事で子供達とふれあっている。
- ・ 地域住民にとって、学校教育へ参画する意識の高揚につながっている。
- ・ 家庭でのメディア利用について保護者や児童の意識を高めることができた。
- ・ 自治公民館活動とも連携し、地域全体で子供たちを育む当事者意識が高い。

## 課題や今後の取り組み

- ・ 感染症対策を踏まえた上で以前のような行事開催と学校と地域の交流活性化を図る必要がある。
- ・ 情報端末との上手な付き合い方やモラル育成に家庭が主体となって努める。
- ・ 教育実践への啓発を積極的に行い、P T A の意識を更に高めていきたい。

## その他の取り組み紹介

- ・ 老人会とのポッチャ体験交流
- ・ 椎茸生産者指導による駒打ち体験
- ・ 地域住民との餅つき大会

## 基礎情報

所在地

宮崎県諸塚村

全校児童数

15名

地域の特徴

九州山地のほぼ真ん中、標高1,000mの山々に囲まれ、平らな土地はごくわずか。本村は、自然に寄り添い、自然と折り合いをつけ、自然と共に生きる人々が集う村である。人口1,500人弱の、人も自然も「しぜんとなつがる」諸塚村。

学校の特徴

全校児童15名の小規模校である。ほとんどの行事を全児童で取り組むことが多く、地域との交流も盛んである。特に、わくわく学習（生活科・総合的な学習の時間）では、地域や保護者、業者、行政の方々からの多くの協力のもと、地域に支えられた教育活動を展開している。

組織構成



担当課：宮崎県教育委員会  
生涯学習課





# 生徒・保護者・地域に愛される学校を目指して！

キーワード 地域学校協働活動 / 学校行事への協力・支援 / 情報発信

## 取組概要

コロナ禍においても、生徒が楽しく学校生活を送れるように、学校行事等の教育活動を支援している。学校・P T A・地域等がどのような連携ができるかを模索しながら、それぞれができることを、できるときに取り組んでいる。

## 取り組みの詳細

### < 学校行事への協力・支援 >

大楠祭（文化祭）における P T A バザーは、生徒だけでなく地域の方々にも喜ばれる定着した取組である。

夏休み中に親子ふれあい清掃を実施し、体育祭に向けた伝統的な環境美化活動となっている。

体育祭やロードレース大会では、P T A が駐車場係として協力し、厚生部による給水活動も行っている。



バザーの様子

### < 生徒の学校外活動への参加促進・生活指導 >

地域の「蒲生夏祭り」「蒲生文化祭」「日本一大楠どんと秋祭り」には生徒も参加したり、ボランティアとして協力している。

夏祭りでは、例年 P T A による補導ボランティアも実施している。

## 成果

- ・学校、P T A、同窓会、地域の繋がりがさらに深まった。
- ・学校内外で活動し、情報発信することで学校を P R できた。

## 課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍、ポストコロナ禍における各活動の在り方の検討
- ・役員だけでなく、会員同士の繋がりを深める工夫

## その他の取り組み紹介

- ・研修部による年 2 回 P T A 新聞発行
- ・生活指導部による校外補導
- ・P T A、職員、生徒による合同登校指導（あいさつ運動）
- ・P T A 活動で着用するポロシャツの製作



所在地

鹿児島県始良市

全校生徒数

186名

地域の特徴

桜島・錦江湾ジオパークに含まれている始良市北部の蒲生町に位置し、自然に恵まれ歴史ある地域である。国の天然記念物である日本一の巨樹「蒲生の大楠」や武家屋敷群があり、地域の芸術・文化、伝統を大切に継承している。

学校の特徴




本校は、明治38年に蒲生村立蒲生女子実業補習学校として設置された。昭和31年に鹿児島県立蒲生高等学校と校名を変更し、本年度創立117年を迎える。これまでに1万5千人を超える卒業生を輩出している。普通科と情報理野あり、普通科は2年生から普通コースと総合コースに分かれる。始良市だけでなく、近隣の霧島市や鹿児島市、薩摩川内市等からも入学生がいる。地域協働により、地域から期待され、地域から愛される学校づくりに取り組んでいる。

組織構成

会長1名、副会長3名、監事2名を総務部としている。また各クラスから2名ずつ選ばれる学級理事18名は研修部、生活指導部、厚生部のいずれかに所属し、P T A 活動に参加している。理事会にて活動の企画案が出され、5月の総会にて決議される。

担当課：鹿児島県教育委員会  
社会教育課



テーマカテゴリー

学びに関する活動

## 基礎情報

## 所在地

岩手県気仙郡住田町世田米字川口12-1

## 全校生徒数

75名

## 地域の特徴

町の90%を森林面積が占める自然豊かなところ。町ぐるみで「森林・林業日本一の町づくり」を進めており、保育園から高校生まで発達段階に応じて、次世代に伝える「森林環境学習」に力を入れ、町に誇りを持ち、森を活かす人材を育成している。町から人材育成のための経済支援が行われている。

## 学校の特徴

昭和23年(1948年)創立。今年度74周年を迎えた伝統校で、卒業生は4千8百余名を数えた。「自主・創造・至誠」を校訓とし、生徒一人ひとりが輝く、活力ある学校である。生徒会は、「爽やかな挨拶・きちんとした服装態度・まじめな仕事ぶり」を基本とし、学校行事に限らず、生徒個々が自主的に行動し、活動を推進している。町内小中学校4校と共に、平成29年度から文部科学省研究開発学校の指定を受け、地域の人材や資源を活用しながら、教科「地域創造型」の研究に取り組んでいる(令和4年度から第2クール)。

## 組織構成

- 1 会長1名、副会長3名(1・2学年各1名、校長)
- 2 理事8名(1学年2名、2・3学年3名)
- 3 専門委員会  
生活指導委員、文教広報委員、母親委員
- 4 役員(母親委員長・副委員長) 各1名
- 5 監事2名
- 6 職員 P T A 担当(副校長・事務長・総務課員)
- 7 住田高等学校教育振興会 <別枠団体>

担当課：岩手県教育委員会  
生涯学習文化財課

## 小規模校の良さを活かした会員相互による P T A 活動や学校行事への参加協力

キーワード 学校教育支援 / 伝統行事支援 / 家庭教育支援

## 取組概要

「無理せず、自分のできることを」をモットーに、保護者と教職員の協力関係を深めた P T A 活動の取り組み

## 取り組みの詳細

## 学校行事への支援事業

<開校記念講演会(P T A 総会開催日)>



・例年、P T A 総会開催日に併せて、開校記念講演会を実施し、生徒と保護者(P T A 会員)と一緒に講演を聴講する機会を設けている。



・生徒と保護者(P T A 会員)と一緒に聴講することにより、講演内容をもとにした、親子の対話へとつなげていきたいと考え、設定している。

<登校時一声運動/マナーアップ運動>

- ・ P T A 生活指導委員会が中心となり、生徒会役員と協力して行っている。
- ・ 気仙地区出身の生徒が多いことから、P T A 会員と生徒は顔見知りであり、挨拶だけではなく気さくに会話する姿が見られるなど、小規模校の良さを活かした活動となっている。



## 成果

- ・ 保護者(P T A 会員)と教職員が連携し、小規模校の良さを活かした P T A 活動を展開することで、生徒の高校生活がより充実したものとなっている。

## 課題や今後の取り組み

- ・ 保護者(P T A 会員)と教職員の連携をより深め、家庭教育の支援体制強化を推進する。
- ・ 学校・保護者・地域が一体となることができ、事業を更に展開していきたい。

## その他の取り組み紹介

- ・ 昭和56年発足の町 P T A 連合会に加盟しており、異校種団体との情報交換をしつつ、相互に連携を図っている。
- ・ P T A 役員や担当教師だけが苦勞することがないように、できる範囲での P T A 活動を実践している。



## つなげ！！親の気持ち、思い～パネルディスカッションを通じた情報伝達～

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援

## 取組概要

P T A 総会の際に、卒業生・在校生の保護者、教職員によるパネルディスカッションを行い、卒業までの3年間の親子の葛藤や思いについて互いに意見交換し、会員相互の学びの場としている。

## 取り組みの詳細

## ◆パネルディスカッションや進路講演会による会員相互の学びの充実

## ○本校の特性と課題

県内でも有数の進学校である本校では「文武両道」を掲げており、学習だけでなく、課外活動にも熱心に取り組むことを奨励している。しかし、学習と課外活動の両立は簡単なことではなく、両立するための工夫や親ができる支援の在り方について悩みをもつ親子が多い。

## ○親から親へのバトンリレー

本校では、昭和46年の着装の自由化に代表される「自主自律」の伝統が、今なお息づいている。生徒の夢を応援するために、P T Aとして次代に何かを伝えていくべきではないかと考えた。そこで、平成27年度からP T A総会の際に「子どもの進路実現を目指して～親としての関わり方～」のテーマのもと、卒業生・在校生の保護者、教職員によるパネルディスカッションを行っている。また、各学年P T Aの際には、進路講演会を行い、保護者同士で学ぶ機会を設けている。

パネルディスカッションの様子



進路講演会の様子



## 成果

参加者アンケートから「入学直後でイメージができないことについて、卒業生の親の話を伺い、今後の参考になった。」「去年に引き続き、親の本心を聞くことができ、共感したり、納得したり、反省したりとよい時間を過ごすことができた。」などのように一定の目的が達成できていると感じている。また、P T A総会の参加率の向上もみられた。

## 課題や今後の取り組み

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2年間、パネルディスカッションを開催することができなかった。感染拡大防止を踏まえた方法を工夫し、実施していきたい。

## その他の取り組み紹介

年4回、「敬天週間」と題して、地元警察署、教職員、生徒、保護者によるあいさつ運動と交通安全指導を行っている。

敬天週間の様子



所在地

秋田県秋田市

全校生徒数

810名

地域の特徴

秋田市は、関ヶ原の合戦後に常陸国から国替えとなった佐竹氏が築いた城下町が礎となっており、東には出羽山地、西には夕日の美しい日本海が広がる緑豊かな人口約30万人の都市である。本校は、秋田市街を一望する手形山に位置している。

学校の特徴

本校は、明治6年(1875)に設置された洋学校を始まりとし、令和5年度に創立150年目を迎える学校である。「文武両道」「自主自律」の精神は先輩から後輩へ脈々と受け継がれ、様々な分野で活躍するリーダーを数多く輩出している。

組織構成

会長	1名
副会長	4名
<small>(3名は学年部長を兼任し、もう1名は校長が務める。)</small>	
会計監査	3名(学年の監査を兼任)
学年部長	3名(各学年1名)
学年副部長	3名
評議員	44名(各クラス2名)
※評議員と分掌主任(学校)は次の各分掌に所属する。	
○総務部	○保健体育部
○施設部	○広報部
○文化部	○進路指導部
○生徒指導部	

担当課：秋田県教育庁生涯学習課

## PTA会員の人脉を活用した進路セミナーの実施

キーワード

セミナー活動／キャリア育成支援／進学支援組織／ICT活用／広報活動

## 取組概要

生徒の進路実現のため、セミナー委員会では各分野で活躍している人物に依頼してセミナーを開催している。

## 取り組みの詳細



- セミナー委員会では、生徒の進路実現のため、つくば研究学園都市の地の利を生かし、PTA会員の人脉を駆使して各分野で社会人として活躍している人物に講師を依頼し、有意義な進路セミナーを開催している。
- 本部役員が兼務する進学支援組織「嫩竹会」では、生徒の自学自習のため学習館の土・日等の管理、土曜講座の経費負担等をしている。
- 令和3年度から、以前は総会で配付した資料や評議員会の詳細な資料をPTAホームページでも公開している。PTAホームページでは、進路セミナーの様子もブログとして公開している。また、広報誌「樟の木」を前期、後期各1回作成、配付している。



## 成果

- ・令和3年度は、5名の講師によるセミナーが開催され、生徒が進路を考える契機となった。
- ・学習館を休日に年間110日開館し、多くの生徒にとって、進路実現の助けになっている。

## 課題や今後の取り組み

- ・講演の受講者拡大
- ・PTAホームページの利用拡大
- ・オンライン会議の推進

## その他の取り組み紹介

- ・毎年6～7月に支部毎に懇談会を実施し、多くの教員も参加して活発な意見交換がなされている。実施前に各支部からの質問事項を支部長がまとめて提出し、教員が回答している。それを踏まえて、本部役員、各支部長、各種委員長による評議員会で情報共有し、改善に向けて意見を交換している。

所在地

茨城県つくば市竹園3丁目9番1号

全校生徒数

950名

地域の特徴

国際的な研究学園都市つくば市の中央部に位置し、科学研究や教育が盛んな地域である。

学校の特徴

平成6年度からは、普通科に加えて本県唯一の国際科を併設し、平成20年度からは、普通科・国際科を一括募集し、2年次から2つの学科4つのコース（スタンダード文系・アカデミック文系、スタンダード理系・アカデミック理系）の中から自分に適した学びを選択するシステムとなっている。

組織構成

PTA組織は10支部で活動、PTA本部役員は、各支部からの1名以上の推薦を基に選考委員会で提案、評議員会、総会を経て承認される。

本部役員は、会長、副会長、書記、会計、会計監査で活動している。支部からは、セミナー委員、広報委員、生徒指導委員を推薦により選出している。

担当課：茨城県教育庁  
総務企画部生涯学習課

# 生徒も P T A も「Let's try！」



キーワード 学校教育支援 / 学校行事支援 / 教育環境整備 / 生徒募集

## 取組概要

生徒行事に P T A が積極的に参画するとともに、教育活動に係る助成等、後方支援も充実している。P T A 対象の講演会や懇談会を積極的に開催し、家庭教育の充実を図る取組を推進している。小学生対象の学校説明会やオープンスクールにも協力し、生徒募集や定員確保に貢献している。昨年度、創立 20 周年を迎え、式典の準備運営や記念広報誌の作成など、物資両面で支援した。

## 取り組みの詳細

### 【三役の取組】

- ・三役会・運営委員会の開催ならびに各委員会の後方支援
- ・学校運営・学校行事の支援（歩行行事やオープンスクール等の支援、学校メール配信システムの契約、部活動の遠征補助等）



創立20周年式典開催支援

### 【各学年委員会の取組】

- ・親子交流行事の開催
- ・親子対象各種講演会・講習会の開催
- ・保護者対象の進路講演会等の開催
- ・大学受験に向けた後方支援



全校歩行行事の支援

### 【各専門委員会の取組】

- ・玄関や花壇等の環境整備作業
- ・年3回のPTA広報の発行による情報発信
- ・進路講演会や保護者対象のオープンキャンパスの参加



2学年親子レク(ポッチャ)

### 【各地区委員会の取組】

- ・家庭教育講演会の開催
- ・情報交換会や懇談会の開催



合格祈願グッズ贈呈  
PTAから受験生へ



花壇整備作業

## 成果

- ・学校行事への参画により、学校と保護者の連携が円滑になり、スムーズな行事運営を行うことができた。
- ・学年、地域での教員と保護者の相互理解が深化した。
- ・メール配信システムの変更により、保護者への状況提供が密になり、学校の教育活動への理解が進んだ。

## 課題や今後の取組み

コロナ禍において、行事や P T A 活動への参加の機会が少なくなってきている。また、直接顔を合わせ、話し合いをしたり、懇談する場も減少した。P T A 活動活性化のため、お互いの意思疎通を図り、合意形成を行っていかうが今後の課題である。

## その他の取組み紹介

- ・ P T A 三役間では、SNS を活用して連絡、情報共有を行った。
- ・創立 20 周年記念式典・講演会、記念文化祭を期間限定で映像配信を行った。

## 基礎情報

所在地

新潟県村上市

全校生徒数

457名

地域の特徴

村上市は、新潟県の最北端に位置し、海、山、川の自然豊かで歴史・伝統・食などの魅力あふれるまちである。国の重要無形文化財に指定されている村上大祭や瀧皮温泉、笹川流れ等、観光地としても知られている。

学校の特徴

平成 14 年、新潟県初の県立中等教育学校として開校。各学年 2 学級、全校で 12 学級。「Let's try!〜挑戦・創造・貢献〜」の校是のもと、中高 6 年一貫教育を実践。

組織構成

### 【三役会】

会長 1 名  
副会長 4 名（うち 1 名は校長）  
会計監査 2 名

### 【運営委員会】

会長 副会長 会計監査、  
学年委員長 6 名（各学年から 1 名）  
専門委員長 3 名（各委員会から 1 名）  
地区委員長 5 名（各 5 地区から 1 名）

### 【役員】

学年委員 24 名（各学年から 4 名）  
専門委員 24 名  
（研修・環境・広報、各学年から 4 名）  
地区委員 10 名（5 地区から 2 名）

担当課：新潟県教育庁  
生涯学習推進課



## 「自ら学び思い律する」生徒を支援する P T A 活動

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援 / 国際理解教育 / キャリア教育 / あいさつ運動

### 取組概要

学校教育活動の柱である「国際理解教育・英語教育」「キャリア教育」「プロジェクト学習」に積極的に P T A 会員も参加し、学校・家庭・地域との絆を深める P T A 活動を展開する。

### 取り組みの詳細

#### 1 海外協力校との交流

平成22年より、アメリカ・カリフォルニア州にあるサンディギート高校と相互訪問による交流を行っており、毎年3月に生徒・教員が海外研修の一環としてサンディギート高校を訪問している。

7月にサンディギート高校が来県した際には、ホームステイ先の提供に P T A が協力している。令和2年以後はコロナ禍のため、オンラインによる交流をほぼ毎月実施している。生徒だけでなく P T A 会員も参加し、直接サンディギート高校の生徒や教員と交流することで、国際理解教育への理解が一層深まり、訪問再開に向けた支援体制の整備・充実が図られている。



オンライン交流

#### 2 キャリア教育活動のサポート

1年次に実施している進路探訪では、P T A も講師を引き受け、働くことに関する講演や座談会形式での懇談を行っており、生徒の職業観を養う貴重な機会となっている。



### 成果

- 各行事への P T A 会員の参加率が高い。
- 生活環境の整備改善に理解がある。
- 各専門委員会で活発な意見交換がある。

### 課題や今後の取り組み

- P T A 会員が、より一層参加しやすい体制作りと活動の場を設定する。
- 家庭と学校の連携強化により学校課題に取り組む。

### その他の取り組み紹介

- 地区や県・北信越・全国の研修会への積極的な参加
- 「さわやか運動」への参加
- P T A だよりの発刊
- P T A 生活環境委員会での生徒の生活・安全・心身の健康保持等についての意見交換

所在地

富山県富山市

全校生徒数

633名

地域の特徴

富山市市街地南部に位置する。周囲は、開校当初の田園風景が残る閑静な地域である。雄大な立山連峰を仰ぐことができ、また芝生のグラウンドが周囲の景色と一体化している。

学校の特徴

昭和49年に開校され、令和6年に創校50周年を迎える。平成3年に第1回海外研修を実施、平成7年に国際コースが設置された。平成15年にSELHiに指定され、国際理解教育、英語教育を柱に普通科単独校として今日に至っている。

組織構成

会長1名のほか、副会長・委員・監事および顧問若干名で役員を構成している。

・会長、副会長、委員及び監事は、役員会で選出し、総会で承認を得ている。

・顧問は会長が委嘱する。

・P T A 専門委員会は、広報委員会、国際理解委員会、進路委員会、生活環境委員会で構成されている。副会長や監事が各委員長を務めており、P T A 役員はどれか一つの専門委員会に所属し、活動している。

担当課：富山県教育委員会  
生涯学習・文化財室

## 基礎情報

所在地

山梨県富士吉田市

全校生徒数

461名

地域の特徴

県の南東部 富士山の北麓に位置し、海拔750mの市街地を形成する高原都市です。豊かな自然を背景に富士北麓地域の政治・経済・文化の中核としての役割を果たしてきました。

古くから富士山信仰の町として栄えと共に、近代には織物産業を軸として発展し、観光面でも、世界文化遺産登録の影響からますます観光が当てられています。

学校の特徴

本校昭和22年に福地村立上吉田中学校として開校、昭和26年に現在の名称に改称されました。学校として「富士山学習」に取り組み富士山と周辺地域の自然や文化、歴史や産業の学習をしています。創立50年である平成8年度から毎年、富士登山行事を行い、PTAの協力体制の下、全校生徒が登山体験をしています。

組織構成

- 1 総会・後援会 <保護者、教職員>
- 2 理事会 <会長1、副会長11、教職員8、顧問1、会計監査3>
- 3 委員会 <理事24、学級委員28>
- 4 専門部 <美化厚生部 教養部 生活指導部 文化部>
- 5 他 学校保健委員会、顧問会、関係団体担当等

担当課：山梨県教育庁生涯学習課

## 富士北麓地域の特色に沿った学びと体験を支援するPTA活動

キーワード

学校教育支援 / 富士山学習 / 火山防災 / 活動の継承と工夫

## 取組概要

子供たちが富士山学習で行う様々な学び・体験を支援していく。富士山火山防災の視点から、安心・安全面の支援を工夫する。

## 取り組みの詳細

## &lt;富士山学習&gt;

富士吉田市教育委員会、市内小中学校で連携し、富士山と私たちの住む地域について学習しています。

## &lt;全校富士登山&gt;

7月に全校で富士山の麓から5合目まで登山をします。PTAとして安全・激励・救護・給水・環境保全の協力をしています。

## &lt;学校林下草刈り&gt;

同学区の小学校と共に、富士北麓にある学校林を管理しています。夏休みに生徒とPTAで下草刈りをし、体験・協働活動をしています。

## &lt;火山噴火を想定した避難訓練&gt;

従来の地震や火事に加えて、富士山火山噴火を想定した避難訓練を実施しました。引き渡しの動きを工夫して行いました。

## &lt;火山防災に関するPTA講演会&gt;

県富士山科学研究所の火山防災研究センター長を講師に「火山防災について」の親子講演会を開催しました。保護者は体育館で参加し、生徒は各教室でライブ中継を視聴しました。



## 成果

- ・体験活動が充実し、安全にできました。
- ・生徒、保護者における火山防災への意識の高まりが見られました。
- ・市内小中学校へ活動の広がりがありました。

## 課題や今後の取り組み

- ・「富士山学習」をより充実させるためのPTA活動の工夫。
- ・火山防災についての学習や避難訓練の継続。
- ・近隣学校との情報交換や連携。

## その他の取り組み紹介

- ・富士吉田市PTA連合会主催の親子学習会に代表が参加し、火山防災の学習を深めました。
- ・火山防災に関する活動は市P連活動と連携した形で推進役となり、県PTA大会で事例発表をしました。
- ・「吉田の火祭り」などの地域行事に生徒が出向く際、PTAとして見守りをしています。

## 家庭教育力の強化を目指して ～ 子どもの思いを引き出す力を高めるために ～

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援

### 取組概要

家庭において、親と子のコミュニケーションはなくてはならないものである。子どもにアドバイスしたいと思っても、つい親の思いや考えを押し付けてしまうこともある。そこで、家庭教育の質の向上を目指して、コーチング（指導するのではなく、「気づき」を与えて主体的に考えるようにするもの）を家庭教育に取り入れ、学校教育と連携することを試みた。

### 取り組みの詳細

#### (1) 学校、家庭の両者において、子どもの将来を考えるための連携

学校では、6年生が総合的な学習の時間にキャリア教育「12歳のドリームマップ(将来の設計図)をつくろう」を計画した。子どもは世の中の職業を調べ、それをもとに自身のキャリア(夢)を考えた。そして、タブレット端末に付帯したプレゼンテーションソフトを用い、自身の将来設計図の草案を作った。

#### (2) コーチングについて学ぶオンライン講演会

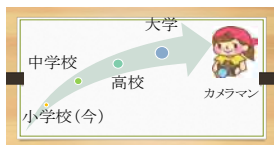
保護者へのコーチング学習は、外部講師によるオンライン講演会にて実施した。内容は、「子どもの夢を引き出すチカラ」で、各家庭又は、学校の図書館で受講した。



<オンライン講演会>

#### (3) 子どものプレゼンテーションを聴く機会の設定

子どもはプレゼンテーションソフトを用いて、自身のドリームマップを家庭で発表した。保護者はオンライン講演会で聴いたことを活かし、親の思いを押し付けないように気をつけ、子どもの考えを引き出すコーチングに努めた。

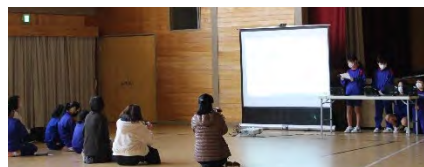


<プレゼンの一コマ>

自分自身が考えて調べ上げたことに拍手！今後も生きていく上で分岐点があった際に考えて調べて進んでほしいと「共感」を忘れず伝えました。(保護者)

#### (4) 子どもの最終報告を学校にて聴く

子どもたちは、個々のドリームマップをタブレットを操作しながら発表した。子どもも、聴く保護者もよい表情だった。



<12歳のドリームマップ 最終プレゼンの様子>

### 成果

- ・コーチングを家庭教育に取り入れたことで、保護者は子どもの思いを引き出すことができた。
- ・子どものプレゼンテーション力の向上と保護者のコーチング力の向上がみられた。
- ・日常生活において、講演会の内容を実践する保護者から次のような声が寄せられた。

子どもと会話する時に、子どもが話すことを最後まで聴いて、その後、質問するように心がけました。そのせいか、私との会話を前よりも楽しんでいるように感じます。(保護者)

### 課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍で、対面発表に制限がかかることが課題の一つとなるが、新しいツールを用いて克服していくことも教育上有用と思われる。

### その他の取り組み紹介

- ・PTA図書ボランティアによる、月1～2回の低学年への読み聞かせを実施した。
- ・コロナ禍において、地区回りの資源回収は実施できなかったが、都合のつくPTA実行委員による事業所回りを実施した。また、常設資源回収置き場を充実させた。
- ・地域の方々による「みまもりたい」が、1年生の下校に付き添ってくださっている。

所在地

愛知県蒲郡市三谷町

全校児童数

197名

地域の特徴

300年余の歴史をもち、海中渡御で有名な「三谷祭」が、秋に行われる。お祭りを大切にしている人が多く、子どもと大人が触れ合う機会に恵まれている。さらに、地域の方々は、子どもたちを大切に思い、温かく、協力的でもある。

学校の特徴

明治5年開校で、150年の歴史をもつ。蒲郡市の東部に位置し、校舎からは三河湾が一望できる風光明媚な小学校である。児童会が中心となり、ファミリー活動(縦割り)を行い、高学年が低学年の面倒をみる姿も多い。

組織構成

学年代表 18名

(各学年3名)

投票により候補者が決定し、話し合い等により3名に決定

地区委員

10名

各地区から選出

実行委員 28名

四役・会長1名、副会長2名

書記1名、会計1名

役員・四役、各部長5名

部会・教養部4名、広報部5名

事業部11名、生活環境部3名

保健厚生部4名

(会長のみ、部会に所属せず)

担当課：愛知県教育委員会  
生涯学習課



# 保護者と共に行う学校づくりを目指して

キーワード

学校教育支援 / 社会教育支援

## 取組概要

学校行事に P T A 組織が積極的に関り、より良い生徒の学びを実現する。

## 取り組みの詳細

### ゆかた登校

下京中学校では毎年祇園祭の日に、地元京都への理解と愛着を深めるための伝統文化体験学習として、全校生徒と全教職員が浴衣で登校する日を学校行事として行っています。初めて浴衣を着る生徒も多く、数週間前から着付けの練習を行います。これまでは P T A や地域の女性会にご指導いただき、当日にも着付けのお手伝いを頂いていましたが、令和3年度からは生徒だけで着ることを目標に、事前指導を中心に変更しました。浴衣を持っていない生徒には学校の浴衣を貸し出します。浴衣の管理はとても大変で、貸し出しから返却、収納までを P T A にお手伝いいただいています。当日の着付けやお直しもお手伝いいただき、多くの保護者の皆様からご好評いただいています。



## 成果

- ・教員の負担軽減。
- ・積極的に保護者が学校行事に関わり、教師と保護者に一体感が生まれる。
- ・卒業後も学校と関われる地盤づくり。  
★下京ささえ隊（元 P T A で構成された協力団体）
- ・地域諸団体と連携するための基盤となっている。

## 課題や今後の取り組み

- ・ P T A がますます学校と関われる仕組みの構築。
- ・参加しやすい役割分担の検討が必要である。

## その他の取り組み紹介

- ・ 体育大会のお手伝い  
保護者受付、検温  
誘導、マナーの呼掛け

所在地

京都府京都市下京区

全校生徒数

564名

地域の特徴

学校は京都市の中心に位置し、近くには鴨川が流れ、夏には校区内で祇園祭が実施される。歴史のある町内で、多くの伝統産業が盛んに営まれている。

学校の特徴

平成19年度に5つの中学校を統合し設立された。創立当初から地域とのつながりが強く、現在に至るまで校地整備や諸行事には地元有志の多大なご協力をいただき、保護者と学校のみならず地域とともに学校づくりが行われている。

組織構成

会長	1名
副会長	3名
庶務	3名
会計	3名
会計監査	2名

実行委員会	地域委員会
学年委員会	専門委員会

担当課：京都市教育委員会  
生涯学習部  
学校地域協働推進担当

## 実施方法を工夫した会員の学習と交流の場の創出

キーワード

学びの場の創出 / 交流の場の創出 / 実施方法の工夫 / 会員相互のつながり

### 取組概要

会場定員の半分以下で定員制限を行い、体温測定、マスク着用、消毒の徹底を会員全員に周知の上、申し込み順で参加者を募り、原則、ワンコインで参加できる会員の興味に応じた内容を企画し、学びと交流の場を創出。

### 取り組みの詳細

#### エコバック作り

エコバックの中で一番人気の、マチが広いものを作成。参加者で買い物バック持参について考えた。



#### 防災講演会 & 防災グッズ作り

西日本豪雨災害を教訓に、防災士による講話を聞き、防災グッズを作成。参加者と身近にできる防災について考えた。



#### ひまわりの会

～会員の学びと交流の場～

第1回  
第2回  
第3回  
第4回

#### 味噌作り

フードコーディネーターであり、料理教室を主宰しているPTA役員を講師に味噌作りを実施。参加者と健康的な食事について考えた。



#### ボンボンツリー & 毛糸巻き巻きツリー作り

毛糸を使ったクリスマスツリーを作成。年内最後の会ということもあり、会員の親睦を図った。

### 成果

- ・会員の学校へ来る機会を増やし、楽しみながら学ぶことで、会員相互のつながりができた。
- ・「親も青春ですね。こんなに思い出ができるとは思わなかった。」とコメントをいただく等、会員の思い出を作ることができた。

### 課題や今後の取り組み

- ・定員制限を設けたため、全ての参加希望に応えることが出来なかった。
- ・感染対策を徹底しながら、1回でも多くひまわりの会を開催する。

### その他の取り組み紹介

- ・役員会及び事前会議をオンラインと参集によるハイブリットで実施。
- ・オープンスクールにおける会場整理・案内支援。
- ・文化祭における余剰品販売、展示の実施とそれに至る会員の活動の場の創出。

所在地

広島県海田町

全校生徒数

1427名

地域の特徴

海田町は、北に日浦山、東西に洞所山、金ヶ灯籠山の連峰が町境をなし、西は海に面し、中央を瀬野川が流れ、海田湾に注いでいる。古くから交通の要衝として栄え、様々な分野において偉業を成し遂げた人物を幾人も輩出してきており、誇りうる歴史と伝統や、水と緑に恵まれた豊かな自然を有しているまちである。

学校の特徴

昭和2年、鶴虎太郎先生により創立され、「教育は愛なり」の建学の精神のもと、永きにわたって教育活動を行ってきた伝統と歴史のある学校であり、生徒・保護者・教師が三位一体で「日本一楽しい学校」を目指して取組を進めている。

組織構成

○役員は、保護者側は会長、副会長（監査、書記、会計）、幹事（クラス幹事）で構成。教職員側は顧問（校長）、副会長（高校教頭）、書記、監査、会計事務で構成。

○委員会は広報委員会のみ。

○入学時にPTAの趣旨を伝えるとともに、本部役員、クラス幹事、広報委員の希望を募り、希望者のみで本部役員、クラス幹事、広報委員を構成。

担当課：広島県教育委員会  
生涯学習課

## 保護者と教職員との連携による全員参加のPTA活動

キーワード 学校教育支援 / 保護者・教職員の協力

### 取組概要

役員と教職員が連携し、心豊かな子どもの育成という目標に向かって、保護者全員がPTA活動に参加できるようにしている。

### 取り組みの詳細

子どもたちがのびのびと園生活を過ごせるよう、全員がPTA活動に参加している。役員や常任委員が保護者をサポートし、誰もが活動しやすい体制を取っている。また、近年は感染症対策を行いながら、工夫して活動を継続させている。

#### ◆夕涼み会

7月にバザーやお店など保護者企画による夕涼み会を開催。



#### ◆土曜メンテナンス

年に一度、学園の保護者による、幼稚園のメンテナンスを実施。



#### ◆ウェンディの会

保護者同士の交流を目的とする活動。特に手作りおやつは、子ども達の充実した園生活のお手伝いになるよう勉強しながら作る。



#### ◆絵本の読み聞かせ

子ども達に、学び楽しんでもらえるような絵本を選んで、月に1回保護者による読み聞かせを実施している。



◆その他・・・新聞づくり・カレーパーティ、立哨、OYG(おやじ)の会など

### 成果

・PTA活動を通して、子ども達の想像力や発想力を間近で知ることが出来、保護者も新たな発見と共に、学びの場になっており、日々親子で成長を感じることができている。

### 課題や今後の取り組み

・子ども達の成長と学びのサポートとなるように、保護者の参加方法を考えていく。  
・保護者が無理なく活動できる取り組み方の検討が必要である。

### その他の取り組み紹介

- ・附属学園(幼小中)役員間の連携・協力(合同運動会など)
- ・地域との連携  
地域の夏まつり(毎年8月)  
交通立哨  
読み聞かせ(学期に1回)  
餅つき大会等(隔年12月頃)

所在地

香川県坂出市

全校生徒数

75名

地域の特徴

本園がある坂出市は香川県の中央部に位置し、瀬戸大橋で岡山県とつながっている。また、本園の周辺には附属小学校や附属中学校、3つの高等学校があり、市立図書館や市立美術館も近く、教育環境が整っている地域である。

学校の特徴

本園は、「自ら環境に働きかけ意欲的に遊びに取り組み、自分らしく伸びていく子ども」の育成を目指し、家庭や地域と連携しながら教育活動を充実させている。また、香川大学教育学部の附属園として、学生の教育実習を行うとともに、教育の理念と実践に関する研究・実証を行っている。

組織構成

年長2名、年中2名、年少1名の計5名による役員及び各クラス4名ずつ常任委員を置く。会員の加入状況は100%である。また、役員、常任委員を除く全員に、PTA活動における係を担当し、全員参加型の活動を行っている。

担当課：香川県教育委員会  
生涯学習・文化財課



## 学校と共に・・・鍛えてほめて～学校の教育活動を強力にサポート

キーワード 学校教育支援 / 家庭教育支援

## 取組概要

子どもたちの人間形成に大きな役割を果たす学校行事を支援。  
学校行事を家庭での話題にして親子の会話を推進。

## 取り組みの詳細

## 新入生歓迎三池山ロードレースの支援



本校の伝統的な行事で、山を縦走するコースを含む約25kmを走破するロードレース。班ごとに行動してタイムを競う。生徒間の仲間意識、助け合いの気持ちや達成感、危険回避を醸成させるための非常に重要な行事である。学校職員だけでは補いきれないコース上のポイントでコースを逸脱しないように見守っている。また、給水ポイントでは飲料水を配って熱中症対策にも尽力した。

## コロナ禍の体育祭を保護者のもとへ



コロナ禍の中、開催された令和3年度の体育祭。保護者を含む外部への公開がなかったが、子どもたちの練習の成果、懸命な姿をご家庭へ届けたいとの思いからYouTubeによるリアルタイムでの配信を企画した。業者・学校側と綿密に打ち合わせをして実施した。多数の保護者からの好評を頂いた。

## 成果

- ・ロードレースでは、コースを逸脱する者や熱中症で体調を崩す者もなく、無事に実施することができた。学校側との打ち合わせの中で、相互理解が進み、良好な関係が築けた。
- ・体育祭では、平日の開催であったため、リアルタイムで観ることができない保護者のために、一定の期間視聴できるようにした。体育祭を話題にして親子の会話も弾んだようである。

## 課題や今後の取り組み

- ・PTA加入の是非が問われる昨今、魅力あるPTAを目指して活動をネット配信する等の新しいツールを活用していく必要がある。
- ・ロードレースでは、子どもたちの心と体を育むために続けていきたい。そのためにも安全な運営のために今後も支援していく。

## その他の取り組み紹介

- ・登校時のあいさつ運動
- ・PTA新聞の発行
- ・地域ごとの懇談会
- ・企業、大学見学

所在地

福岡県大牟田市

全校生徒数

526名

地域の特徴

かつて、日本一の産炭量を誇った三池炭鉱を擁していた工業都市です。炭鉱閉山後も化学工業や大型掘削機の製造に携わる企業等、炭鉱とともに発展した企業を中心に有明海沿岸の工業都市・港湾都市として重要な役割を担っています。


学校の特徴

明治41年、三井家が、経営する炭鉱や関連工場の中堅技術者を養成するために設立した三井工業学校を起原とする定時制課程併設の工業高等学校です。電気科・電子機械科・情報電子科・土木科・工業化学科の5科、及び、機械・電気科を擁して九州のみならず、関東・東海・関西等全国で活躍する卒業生を輩出しています。

組織構成

会員は、保護者及び学校職員で構成され、  
会長  
副会長3名  
会計  
書記  
広報・育成・進路 各委員長  
1学年・2学年・3学年 各学年委員長  
4地区 各地区委員長

これに、校長等の学校代表者、元会長等日役員からなる顧問で役員会を構成する。



テーマカテゴリー

# 生活指導活動

## 自身のゴールを見つめよう－PTAからわが子へ贈るMyゴール手帳－

キーワード

計画的に行動する力／生活習慣／キャリア教育

## 取組概要

生徒が自分の目標や学校の予定、家庭での学習時間を記録することで、見通しを持って計画的に行動する力を養い、より良い生活習慣を身につけるために、「PTAからわが子に贈るMyゴール手帳」を作成、配布。

## 取り組みの詳細

## 「Myゴール手帳」

令和元年度、千歳市内の小中学校に先駆け、「千歳市家庭生活宣言」と連動した「Myゴール手帳」事業をスタート。半年分のスケジュールを記入する手帳として作成したが、保護者から強い要望があり、次年度からは、年間を通して記入できる手帳として作成し、事業を継続している。



Myゴール手帳(表)

• 次の日の過ごし方を工夫できるようになった！  
• 1週間の勉強量が見えて振り返りができるようになった！  
• 毎日少しは勉強するようになった。



生徒

• 学校からの連絡や家庭学習の記録を子ども自身が確認できる。  
• 子どもにスケジュール管理のスキルが身についたように感じる。



保護者

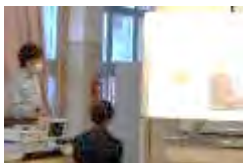
• 生徒が年・月・週の見通しをもって生活できる。  
• 生徒の悩みや変化に気付くことができた。  
• 家庭と学校の連携強化に役立っている。



学校

## 「Myゴールサポート講座」

PTAおやじの会のメンバーが「背中じゃしゃべる大人」として、保護者が自らの仕事について生徒に語るキャリア講座「Myゴールサポート講座」を企画・運営し、生徒が自身の「生き方」について考える機会づくりを推進している。今後は、講師を保護者以外にも広げる予定である。



トンネルや道路を作るために自分では想像できないくらいの努力があり、整備されているのが当たり前ではないことが分かった。



生徒

ドローンには免許が必要なものや輸送用のものがあり、身近なものになりつつあると知り、とても興味深かった。



生徒

## 成果

- 手帳を活用することで保護者が生徒に励ましの声をかけるなど、家庭におけるコミュニケーション・ツールとなっている。
- 生徒の時間管理ツールとして、生徒が物事を計画的に進めるきっかけとなっている。
- 手帳を通して、家庭と学校それぞれの状況を確認することができ、両者の連携強化に結びついている。

## 課題や今後の取り組み

- 目標設定等の学習計画を発展させ、今後はキャリア・パスポートとして活用できるように内容を充実させていく。
- 千歳市家庭生活宣言の家庭生活目標を今後も推進していく。

## その他の取り組み紹介

- PTAの活動を伝えるPTAだより「柏葉通信」の発行
- 保護者の学びの機会の提供
- 学校敷地内の環境整備

所在地

北海道千歳市

全校生徒数

571名

地域の特徴

千歳中学校が所在する千歳市は「国立公園支笏湖」など恵まれた自然環境と、北海道の空の玄関「新千歳空港」をはじめとする都市機能を併せ持つ魅力あふれるまちである。市内には世界遺産「キウス周堤墓群」がある。

学校の特徴

教育目標「柏葉の精神をはぐくみ、信愛を深める教育」のもと未来を切り拓く「ひと」を育てるため、学校と保護者、地域が、子どもを中心に据え、信頼し、協働し合いながら「子どもの成長と学び」の支援を進めている。

組織構成

会長、副会長、会計、監査、事務局長1名、事務局員若干名、広報委員会、研修委員会、おやじの会の役員・委員を中心に組織されている。すべての保護者、教職員が加入しており、保護者と学校の連携・協働の場ともなっている。

担当課：北海道教育庁  
生涯学習推進局  
社会教育課



## 家庭・学校が連携し健全な子どもの育成を目指すPTA活動

キーワード 情報メディア研修 / 早寝早起き朝ごはん

### 取組概要

- ・親も共に学び活用するICT機器
- ・母親委員会「手軽に朝ごはん」作成による生活リズム習慣化

### 取り組みの詳細

#### 【PTA研修会】

・研修部が中心となり、ICT機器の活用と書き込みによるSNSトラブル等のモラルについてICT支援員による講演を開催した。家庭におけるICT機器の使い方についても一度見直す契機となった。



#### 【PTA全体会】

・コロナ禍においてタブレットを活用したオンライン授業や家庭学習が効率よく実施できるように、PTA会員も技能を高める必要があった。そのため、PTA全体会、学級懇談会をオンラインで行った。Teamsを活用した会議参加率も80%を超え、混乱なく行われた。

#### 【母親委員会作成「手軽に朝ごはん」】

・学校保健委員会とも連携し、「生活リズム」について取り組んでいる。その取り組みの一つとして母親委員会が主体となり、簡単にできる朝ごはんメニューを募集し冊子にまとめた。募集依頼、印刷・製本すべてを母親委員会のみで行い保護者に配付した。



### 成果

・ICT機器の使用モラルについて会員の意識が高まり学校・家庭が連携し子どもたちは安全に使用できた。

・PTAもICT機器を使用できるようになったことで、今後の会議の在り方を検討する幅が増えたことにつながっている。

・「手軽に朝ごはん」の取り組みにより、朝ご飯を食べる習慣について保護者の意識が高まった。

### 課題や今後の取り組み

・コロナ禍だけでなく、ICT機器を利用した会議を検討していく。また、アンケート等もICTを利用してできるようにしていく。

### その他の取り組み紹介

・児童減少に伴い、PTA活動・組織を見直し令和4年度に規約改正を行った。

・地域学校協働活動の趣旨を踏まえ、PTAでも地域の資源・人材を生かした学年行事を実施し、学校と地域が連携して活動した。

・PTAが主体となりスクールバス登校児童の運動不足を解消するために、徒歩区域と期間を設け徒歩通学を実施した。

#### 所在地

山形県西村山郡西川町

#### 全校児童数

150名

#### 地域の特徴

山形県のほぼ中央に位置し、古くは月山・羽黒山・湯殿山三山信仰で栄えてきた。月山と朝日連峰に深く抱かれ自然豊かな町である。少子高齢化が進み、町に1校の小学校となったが、地域住民が賛助会員となり西川小学校PTAを支えている。

#### 学校の特徴

平成24年に5つの小学校が統合し、町唯一の西川小学校が閉校し開校10年である。平成27年度からは、コミュニティスクールの指定を受け、学校・保護者・地域が一体となり地域学校協働活動を推進している。

#### 組織構成

- 【顧問】・校長
- 【三役会】・会長・副会長  
(2名内1名教頭)
- ・幹事(2名)
- 【学年PTA】・委員長1名  
・委員4名
- 【専門部】・総務部6名  
・研修部6名  
・体育部6名
- 【母親委員会】6名
- 【育成会代表者会】9名
- 【監事】2名

## 歴代PTA会長会が支え、育む児童の善行活動

キーワード

学校支援体制／健全育成／教育目標の共有／

## 取組概要

児童の健やかな成長を願う、PTA会長経験者による継続的な支援活動

## 取り組みの詳細

## ◇ 「駒ヶ嶺ならでは」の人づくり

## 1 「大銀杏賞」とは

本校南西部に位置する県指定の天然記念物「白幡のいちよう」は、地域の象徴として広く地域住民に親しまれている。それに因み、児童の健やかな成長を願い、本校の教育目標である「かしこく やさしく たくましく」にふさわしい善行を称える目的で歴代PTA会長会により制定されたのが「大銀杏賞」である。

## 2 児童への教育的効果

歴代PTA会長会の学校支援により、賞に値する善い行いができた児童は、各学期末に賞状とメダルが授与される。本校において歴史と名誉あるこの賞は、児童の士気を高めることや、互いの持ち味や長所を認め合う心の醸成に寄与している。

また、児童が日常の学校生活の中で、自分が気付いたことや考えたことを、自分の個性を生かしながら他者と対話し、協働しながら実行しようとする意識や意欲の向上にもつながっている。



## 成果

- ・児童の自己肯定感や愛校心の高まり、よさを認め合える心の育成に寄与している。
- ・児童の健全育成の一翼を担う、重要な役割として、善行活動が継続・浸透している。

## 課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍により、地域の方々に来校していただき、共に活動する機会が減少しているが、行事や会合等の開催方法を工夫して実施している。

## その他の取り組み紹介

- ・PTA広報委員会が作成する会報誌も「大銀杏」という名がつけられ、年2回発行されている。会員以外の地域住民に対しても、地区の回覧を通して学校の活動を公開し、親しまれている。
- ・緑化活動を始めとする体験活動を通じて、地域資源を積極的に活用し、学びの創造や環境維持に努めている。

## 所在地

福島県相馬郡新地町

## 全校生徒数

141名

## 地域の特徴

福島県浜通りの最北端に位置し、海と山に囲まれた自然豊かな地域である。町内全小中学校において、社会を生き抜く力の育成を目指し、「ICT活用教育」「食育」を中心とした特色ある教育活動を推進している。

## 学校の特徴

1872年創設、2001年に現在の場所に移転された校舎は、オープンスペースや吹き抜けの空間を有し、印象的なデザインの校舎で多面的な教育活動が展開されている。敷地内にはたくさんの花が植えられ、季節ごとに彩りを加えている。

## 組織構成

○ 保護者・教職員会員数 121人

## ○ 運営組織

<本部役員>	<専門委員会>
会長	・教養委員会
副会長	・厚生委員会
監事	・広報委員会
幹事（庶務・会計）	・安全委員会

<学年委員>	<方部委員>
--------	--------

## 幼児期からのアウトメディア活動の取組

キーワード アウトメディア活動 / 家庭教育 / 読み聞かせ

### 取組概要

町アウトメディア推進委員会の実施するアウトメディア活動に取り組み、幼児期からのメディア依存対策等に力を入れている。

### 取組みの詳細

#### ①家庭教育学級での親子の学び

年間4回実施する「家庭教育学級」は、講演や親子行事など様々な内容・テーマで行っている。講演では、生活リズムを整える大切さや、アウトメディアの必要性を親子で学んだ。



#### ②せいかつリズムチェック

夏休みと冬休みの生活リズムを整えるため、家庭で生活リズムチェックを行った。アウトメディアを重視した内容の項目を設け、親子でのアウトメディア活動や、親子の会話を促す内容となっている。

#### ③地域人材による読み聞かせ

読み聞かせ団体「いなり山の会」が1~2ヶ月に1回読み聞かせを行っている。PTAも同会に協力している。絵本への興味が高まることで、スマホやゲームに依存しない生活を送ることができアウトメディアにつながっている。



### 成果

- ・親子の会話につながっている。
- ・絵本好きの園児が多くなり、メディア依存のない生活が送れる。
- ・地域の人との交流が盛んになる。

### 課題や今後の取組み

- ・アウトメディアの推進は継続的に必要である。
- ・今後、町のアウトメディア活動が群馬大学との連携事業として行われる。

### その他の取組み紹介

- ・PTA環境整備作業（砂場おこし、プール準備作業、除草等）
- ・運動会
- ・地域の様々な団体との活動

所在地

群馬県吾妻郡中之条町

全児童数

19名

地域の特徴

中之条町の北西部に位置し、四万温泉、沢渡温泉といった群馬を代表する温泉地を擁する観光地である。一方で園の周辺はのどかな山間部の農村風景が広がり、自然豊かな地域でもある。

地域と園のつながりが強く、地域で園や子どもたちを見守る精神が根付いている。

幼稚園の特徴

昭和35年に宗本寺に開設された沢田保育園が、昭和39年に中之条町立沢田幼稚園として認可され、現在に至る。

「心豊かで友だちとの関わりがもてる幼児の育成」の教育目標のもと、体験活動を充実させた取組を行っている。

組織構成

本部役員

会長（1名） 副会長（2名）

書記（1名） 会計（1名）

会計監査（1名）

ほかに、各学年委員を選出し、精選した事業を実施している。各種事業にはほぼ全員の会員が参加している。

担当課：群馬県教育委員会生涯学習課



## 基礎情報

所在地

兵庫県丹波市

全校生徒数

99名

地域の特徴

丹波市の南西部に位置する。古くから畑作中心の農業が行われ、現在は葉草や花木栽培の大産地である。「丹波漢方の里・花と葉草と健康のまち」として、観光客の誘致に力を入れている。

学校の特徴

教育優先・学問尊重・教師尊崇の高室館学風の伝統を継承する気風をもつ。小規模校の利点を生かし、教職員と生徒が一体となってつながりを密着にする中で、相互の人間関係を豊かにし、校風の高揚に努めている。1小学校1中学校体制を生かした小中合同の学校運営協議会により、地域とともにある学校づくりを進めている。

組織構成

**【本部】**  
会長1名  
副会長3名（内1名は会計を兼務）

**【厚生部】**  
部長1名 副部長2名 他部員9名

**【育成部】**  
部長1名 副部長2名 他部員8名

**【教養部】**  
部長1名 副部長2名 他3名

**【その他の役員】**  
会計監査委員2名 統合準備委員3名  
丹波市PTA連合会役員1名

担当課：兵庫県教育委員会  
社会教育課

## 子どもたちの安心・安全な学校生活の実現に向けて

キーワード 交通安全指導 / 自転車点検 / 見守り / あいさつ / 安心安全

## 取組概要

すべての会員で取り組む交通安全指導・自転車点検活動

## 取り組みの詳細

## 【登下校指導】

- 育成部が主催する。
- 登校時は交差点等の危険個所を、育成部員が交代で立ち番をする。各学期1回（定期テスト実施日）実施する。
- 下校時は、自治会ごとに各自治会内の危険個所を中心に立ち番をする。実施回数は、自治会ごとの会員数に応じて計画し、実施する。
- 立ち番時には、地域の「見守り隊」の方と連携して安全を確保するとともに、あいさつ運動も同時に行う。



登校時の交通立ち番活動

## 【自転車点検活動】

- 育成部が主催する。
- 各家庭において親子合同で点検する。
- 点検後は事前に配付の点検票に結果を記入し提出する。必要に応じて修理する。



点検項目に従って確認

## 成果

- すべての会員が行う活動として定着している。
- 大きな事故もなく、安心安全な登下校が実現できている。
- 子どもたちの実態を知るよい機会となっている。

## 課題や今後の取り組み

- 校区内に自転車を取り扱う業者がないため、整備に時間を要する。
- 統合（令和5年4月）により、通学路が変更される。

## その他の取り組み紹介

- 地域の業者と連携したリサイクル活動を実施している。
- テーマを決めて親子で学ぶ学習会を実施している。
- 統合に向けた新PTA設立の準備を、近隣校と合同で進めている。

## 基礎情報

所在地

佐賀県三養基郡みやき町

全校生徒数

183名

地域の特徴

佐賀県東部に位置し、なだらかな丘陵地帯にある町です。久留米市など福岡県にも近く、自然豊かに恵まれた生活圏として注目されています。近くに小・中学校、高等学校があり、地域と特別支援学校との交流も盛んなあたたかい街です。

学校の特徴

昭和52年4月、国立佐賀療養所に入院・加療する児童生徒を対象とした養護学校として開校。  
平成23年4月に、知的障害・肢体不自由・病弱の3障害種を対象とした特別支援学校となった。  
分校舎及び鳥栖田代分校を併設している。

組織構成

保護者と本校舎職員

会長	保護者より1名
副会長	保護者より2名 職員より1名
理事	保護者より若干名 職員より5名
書記	職員より1名
会計	職員より1名
監事	保護者より2名
顧問	学校長

## 「PTA防災キャンプ」～たのしく、おいしく、体験から経験へ～

キーワード 災害時の環境の疑似体験 / 親子で楽しむ / 食べることは生きること

## 取組概要

災害時の食事づくり疑似体験をとおして、防災を意識した生活のきっかけ作りとなるPTA活動

## 取り組みの詳細

東日本大震災を機に、災害時の環境の中で、障害のある児童生徒が他の被災者とうどう共存していけばよいか、また、家族や周囲の人間の支援の在り方が課題となっています。

そこで、本校舎PTAでは、「PTA防災キャンプ」の中で、遊びや料理をとおして親子で緊急時の生活の疑似体験の機会を設け、家庭でも防災を意識した生活ができるようなきっかけ作りとして体験活動に取り組みました。

## 「PTA防災キャンプ」3つのモットー

体験と経験

被災時の環境に対応できるように体験しておくことは大事です。さらに、経験を積むことでストレス環境で少しでも子供たちに負担の無いように…

親子で楽しむ

体験後さらに経験を積むには、家庭でも防災を意識した事を、遊びや料理を通して、同じ経験を増やすことが大事です。一番は一緒に楽しむ😊

おいしく

どうせ食べるならおいしく食べたいわけで…。という感じで、まだまだ経験を積んで、もっとおいしくするには？を追求していきます😊

自作ロケットストーブ



竹パン



段ボールピザ窯



ヒートバック紹介



## 成果

- 体験型の防災訓練に親子で参加することで、防災意識が高まるきっかけ作りができた。
- 災害時の料理の作り方、様々な防災関連グッズに関する知識を得ることができた。

## 課題や今後の取り組み


- コロナ禍の行動制限が解除されれば、宿泊など体験の幅を広げたい。

## その他の取り組み紹介

- 地元のバルーンチームの協力を得てバルーン係留搭乗体験を実施
- 家庭でのキャリア教育、進路選択のため企業や福祉事業所等を訪問するPTA視察研修を実施
- 保護者のニーズに対応したPTA研修会(年2回)を実施

※他にも防災袋、防災ベスト、防災トイレの展示紹介も行いました。

担当課：佐賀県教育庁学校教育課



テーマカテゴリー

その他



## 基礎情報

所在地

北海道函館市

全校生徒数

59名

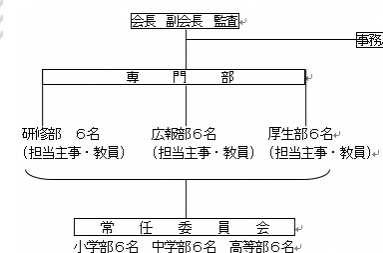
地域の特徴

本校は、附属幼稚園、小学校、中学校と隣接している。所在する地区は、役所等があり、市内の交通起点となるバスターミナルも近く、交通機関も充実し、住宅も多い。町内会の活動も活発である。

学校の特徴

昭和51年に開校。北海道教育大学唯一の附属特別支援学校として可能な限りの社会参加と自立を目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行っている。

組織構成



担当課：北海道教育庁  
生涯学習推進局  
社会教育課

## 余暇活動の充実に向けて～「よかしえんガイドBook」の作成～

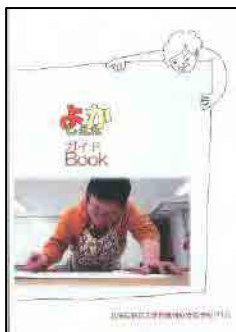
キーワード 余暇活動の充実 / 地域交流 / 情報の共有・発信

## 取組概要

障がいがある児童・生徒の学校外の居場所づくりと体験機会の充実を目的に「よかしえんガイドBook」という冊子を作成している。本冊子では、受け入れ団体の具体的な活動紹介を行うとともに、参加した児童・生徒、保護者の感想を掲載している。

## 取組みの詳細

2017年3月31日発行（第1版）



2020年3月31日発行（第2版）



よかしえんガイドBookは、音楽・ダンス部門、スポーツ部門、レクリエーション部門、アート部門で構成されている。



## 成果

- ・児童・生徒、保護者の余暇活動の充実につながった。
- ・改訂作業を行うことで、関係団体とのネットワーク作りになるとともに、保護者や教職員の学びの場になった。

## 課題や今後の取組み

- ・最新の情報を提供できるように、改訂作業が必要である。
- ・デジタルを活用するなど、時代に合わせた方法での発信を探りたい。

## その他の取組み紹介

- ・朝の送迎時間を活用し、挨拶運動、交通安全の見守り、プランターの水やりをセットにした活動を実施している。
- ・中学部や高等部の作業学習において、生徒とともに町内のゴミ拾いを行っている。

## 小規模を活かした活動！皆野高校 P T A

キーワード 地域貢献活動（クリーンキャンペーン） / 進路指導と P T A の関わり

## 取組概要

通学路を中心に生徒と共に清掃活動を実施  
進路指導と P T A の関わり「進路指導面接練習」の協力

## 取り組みの詳細

## 1 クリーンキャンペーン

皆野高校の地域貢献活動の一つとして、通学路を中心に町内のごみ拾いや道路各所にあるカーブミラーと橋の欄干などの清掃に取り組んでいる。

平成30年度には国土交通大臣から表彰された実績もある伝統行事である。

清掃活動中は車の往来もあり危険が伴うことから、P T A のスタッフも生徒と一緒に活動するとともに、秩父警察署・地元駐在所の警察官の方にもサポートをお願いして安全を確保している。



## 2 進路指導面接練習

P T A ・後援会役員が、3年生「進路指導面接練習」に協力した。就職支援アドバイザーの先生とペアになり、生徒一人一人、面接練習・指導助言など丁寧に指導した。

普段生徒は就職支援アドバイザーをはじめとする先生方と「1対1」の練習が中心だった。しかし、今回の取り組みにより、「1対2」の面接練習を実施することができ、より緊張感の高まったものとなった。

生徒からは、「いつもの練習より緊張した。」「本番に近い練習ができた。」などの感想が聞かれた。参加いただいた役員の方からも、「生徒の合格への一助になることができ、とてもうれしかった。」「さらに練習を重ねて、本番を迎えてもらいたい。」など、温かい感想をいただいた。次年度以降も、継続した取り組みとするよう P T A ・後援会も協力をしていきたい。



## 成果

・地域貢献活動を通して、学校と家庭、地域との連携・協働体制が深まり、生徒たちのボランティア活動参加も積極的になっている。

・生徒・保護者どちらにとってもメリットのある取り組みとなった。

## 課題や今後の取り組み

・会員の減少により、従来の支部のあり方を見直し、令和4年度より年次進行により学年を一つの支部として編成し、役員・会員に過重な負担がかからないように取り組んでいく。

・学校行事に一人でも多くの会員の方に協力してもらうため、年度当初に参加アンケートを実施している。

・一斉メールを活用し、会員の方々へ適宜連絡を配信している。

## その他の取り組み紹介

- ・ 正副会長会議、常任理事会
- ・ P T A 後援会会計監査
- ・ P T A 後援会定期総会
- ・ 広報委員会
- ・ 支部合同懇談会
- ・ 文化祭
- ・ 入学式・卒業式
- ・ 埼玉県高等学校 P T A 連合会総会・研究協議会
- ・ 埼玉県高等学校 P T A 連合会研修会

## 所在地

埼玉県秩父郡皆野町

## 全校生徒数

79名

## 地域の特徴

皆野町は埼玉県の西北、四方を山々に囲まれた秩父盆地の一角に位置し、山林を渡る涼風、荒川清流の水辺など、自然の豊かさに常に触れることができる素晴らしい町である。こうした天恵の資産を守りながら、地域の文化芸術を育み、21世紀のふるさとづくりを展開している。

## 学校の特徴

昭和41年（1966年）に組合立秩父東高等学校皆野分校として創立し、今年57年目を迎える秩父地域唯一の商業高校であり、卒業生も8千名を超え、秩父地域の産業を支えている高校である。

## 組織構成

## 【皆野高校 P T A 会員数】

保護者：79名 / 教職員：34名

## 【皆野高校 P T A ・後援会 本部役員】

P T A 会長 1名 / 副会長 5名  
支部長 3名  
後援会長 1名 / 副会長 3名  
相談役 3名

## 【委員会】 広報委員会 6名

【支部】 皆野・太田 / 秩父第一 / 秩父第二  
影森 / 高篠 / 横瀬 / 尾田時 / 荒川  
小鹿野 / 吉田 / 長瀬 / 大里 / 第1学年

担当課：埼玉県教育局  
市町村支援部  
生涯学習推進課



## 基礎情報

所在地

東京都世田谷区

全校生徒数

314名

地域の特徴

地域の町会、自治会、商店街などの連携を強め、まちぐるみで子どもの安全な登下校を見守り、子どもが楽しめるイベント等が行えるよう、日ごろから協力体制を築いている。月に3回、学校と地域、PTAと警察が連携し、下校時の児童を見守る活動を行っている。

学校の特徴

子どもたちにより学習習慣を身に付けさせ、またひとつでも多くの自信をもたせることを目指している。行わない選択ではなく、どのような工夫、配慮をしたら行えるかを常に念頭におき、PTAや地域とも連携してアットホームな学校づくりを心がけている。

組織構成

本部役員：会長、副会長、書記、会計  
委員会：学年代表、役員選考、イベント、校外係：ホームページ、職員紹介号など  
部活動：ベルマーク、ピオトープなど



担当課：東京都教育庁  
地域教育支援部生涯学習課

## ピーポくんを探しながら、安全・安心な登下校を啓発するイベントを開催！

キーワード ピーポくん / 子どもをまもろう110番 / 登下校 / 通学路 / 安全 / 安心

### 取組概要

下校時に、通学路にある「子どもをまもろう！110番」（ピーポくん）の表示がある家や店舗の前に保護者が立ち、子どもが通学中に危険を感じたときに駆け込める場所の普及啓発を行った。

### 取り組みの詳細



当日はピーポくんも来てくれて、盛り上がりました！

### 成果

子どもたちが楽しみながら安全について考えられるきっかけとなった。終了後もピーポくんの歌を学校で流してもらい、子どもたちが安全を習慣にできるよう取り組んでいる。

### 課題や今後の取り組み

今後も地域と連携し、より多くの家や店舗に「子どもをまもろう110番」を貼ってもらい、まちぐるみで子どもを見守る体制を強化していきたい。

### その他の取り組み紹介

- コロナ禍でも工夫して「わくわく！水遊びイベント」を実施
- 都立久我山青光学園の保護者とのオンライン交流会を実施
- 性教育に関するオンライン講座を実施
- オンラインアンケートの結果を反映させた委員会編成の変更を実施

↑ この表示を家や店舗に貼ってもらい、子どもが危険を感じた時に駆け込めるようにしています。

子どもがピーポくんの表示を見つけたら、大人からシールをもらえます。➡





所在地

新潟県柏崎市

全校生徒数

427名

地域の特徴

鯖石川を中心に広がる純農村地帯であったが、北陸自動車道をはじめ国道252号線などの道路網の整備とともに、新興住宅団地、田尻工業団地、佐藤池運動広場等の造成に伴い、地域の状況は年々変化してきている。地域住民の職業は多種にわたり、共働きの家庭が多いことから教育観も多様化しているが、学校教育に深い理解を示し、積極的な支援をいとわない。

学校の特徴

昭和37年に4小学校の統合により開校し、平成19年1月に新校舎が完成した。学区が広く一部児童はバス通学であり、夏は2.5km以上を徒歩で通学する児童も少なくない。また、新興住宅団地、田尻工業団地の造成に伴い、児童数が増加している。教育目標を「進んで学び 生き生きと活動する子ども」とし、子どもたちは、元気いっぱい活気に満ち溢れている。

組織構成

- PTA三役（執行部）
  - 会長（1名）・副会長（6名）
  - 会計監査（3名）・幹事（2名）
- 専門部
  - 厚生保健部（9名）
  - 文化部（9名）
  - 校外指導部（18名）
- 学年部（各学年3名ずつ）
- 地区班長（18名）
- 正副会長選考委員（4名）

担当課：新潟県教育庁 生涯学習推進課

# 立ち止まっていられない！子どもたちの健やかな成長のために「絆プロジェクト」発動！

キーワード 新型コロナウイルス / 絆づくり / 学校・家庭・地域連携

取組概要

新型コロナウイルス感染拡大の影響でPTA活動や学校行事が中止や縮小を余儀なくされる中、子どもたちの健やかな成長のために「絆」を深める活動

## 取り組みの詳細

### 1 「田尻小PTA 絆プロジェクト」発足！

令和2年度、新型コロナウイルス感染が拡大し、PTAとして子どもたちのために立ち止まっていられない！と、PTA執行部を中心にして話し合いを行った。

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のなか、様々な制限が強いられている子どもたちのためにPTAとしてできることはないか。
  - ・さまざまなPTA活動が中止になるなか、子どもたちの教育環境を整備するような活動ができないか。
  - ・このような生活様式だからこそ家族の絆を深める取組ができないか。
- 等々の検討を行い「田尻小PTA 絆プロジェクト」を発足した。

### 2 活動の取組案を検討！

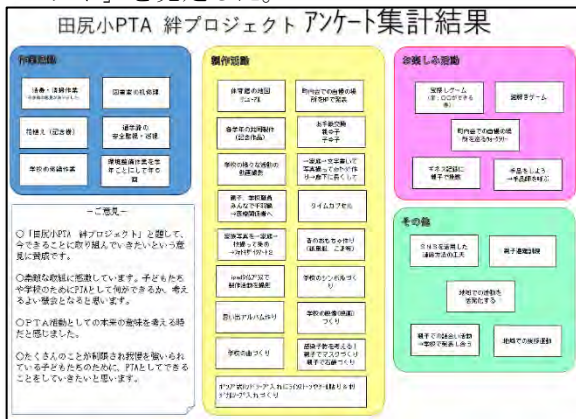
執行部が中心となり、全会員に取組についてのアンケートを実施した。会員の賛同を得てたくさんのアイデアが寄せられた。そして、「取組案」としてまとめ、会員に紹介することができた。

### 3 「絆レターを送ろう♡」

令和3年度、取組第一弾として「絆レターを送ろう」の取組を実施した。

家庭にいる時間が増えた子どもたちが、日頃伝えることのできなかつた感謝の気持ちなどを「絆レター」に記し、家族や地域の方々にも月1回渡す活動を行った。

会員からは、「日頃、親が家のことや毎日の仕事を子どもたちのために頑張っていることが、しっかりと子どもたちの心に伝わっていることに気付かせてもらえるよい機会になりました。」「普段はなかなか聞けない子どもたちの気持ちを、手紙を通して知ることができ嬉しかったです。日々の生活に追われゆっくりと家族のことを考える時間をもつことが難しいため、家族との絆を深めるよい機会になりました。」等の反響があった。



## 成果

・会員相互が、新型コロナウイルス感染症対策の生活におけるPTA活動の在り方や、児童の健やかな成長について思いを巡らせ、協力していくことの大切さを改めて感じ合えることができた。

・子どもたちは、日々の生活を振り返り、様々な人に感謝することの大切さや他者との絆の喜びを感じることができ、子どもたちの心を育むことができた。

## 課題や今後の取組

### 【課題】

・生活状況の変化に応じ「絆レターを送ろう」の取組を工夫していく必要がある。

### 【今後の取組】

・今後も「絆プロジェクト」第二弾、第三弾を計画・実施し、PTAとしての主体的な取組していく。

## その他の取組紹介

・学校と保護者、地域が一体となった協体制による児童の見守り活動

・新型コロナウイルス感染拡大防止のための消毒作業協力

・朝や昼の読み聞かせや図書館整備のための読書ボランティア

## 生徒支援を目指す育友会活動

キーワード

育友会カレンダー / 進路保護者研修会 / 進路研修会 / 文化祭育友会活動 / 育友会だより発行

## 取組概要

育友会カレンダーの制作・配布、文化祭における育友会活動、保護者向けの研修会等の企画により、様々な形で生徒や保護者への支援を行った。また、育友会だよりの発行により、積極的な情報発信にも努めた。

## 取り組みの詳細

## 育友会カレンダーの制作

カレンダーを活用してもらうことで、計画的に学校生活を送ることができるよう支援した。



## 文化祭での育友会活動

文化祭では、例年育友会食品バザーを行ったが、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策として中止せざるを得なかったため、代替措置として、職員、生徒と協力し、駐車場係を行い、文化祭を支援した。



## 育友会だより等の発行

育友会活動に係る内容のほか、進路情報を掲載したり、また、3年生の進路研修会の代替措置として進路の資料を配布したりして、保護者が生徒支援を行えるようにした。



## 成果

- ・育友会の生徒支援に対する保護者の理解、協力が強化された。
- ・本部役員会や学年委員会などで活発に意見が出され、よりよい活動に繋がった。

## 課題や今後の取り組み

- ・本部役員、学年委員の負担の軽減。（いじめ防止検討委員会や学校運営協議会等の会議への参加が増加したことで、活動の精選も必要。）
- ・各行事のコロナ感染症予防対策と保護者のかかわり方。

## その他の取り組み紹介

- ・東濃西部少年センターの方と市内の補導を行っている。
- ・コロナ禍で中止した文化祭食品バザーの予算を、図書購入費に充てるなど有効活用を図っている。

所在地

岐阜県多治見市

全校生徒数

449名

地域の特徴

多治見市は古くから陶磁器やタイルなど美濃焼の産地として発展してきた。近年は、名古屋のベッドタウンとして、愛知県や名古屋の通勤圏としても栄えている。また、過去最高気温40.9℃を記録する全国有数の暑い市である。

学校の特徴

本校は、1898年に陶磁器の技術者養成を目的に、岐阜県陶磁器講習所として開設された。その後、幾度かの名称変更が行われ、1948年に現在の多治見工業高等学校へと改称され、今年で創立125年を迎える伝統校である。これまでの卒業生は18,060名を数え、窯業界のみならず、東海地区を中心とした製造現場で活躍している。

組織構成

会長1  
副会長4（教育・学年・進路・生活）  
理事9（2人は職員）  
会計2（一人は職員） 監査2  
顧問3（校長・教頭・事務長）  
書記2  
学年委員36（1クラス3人×4クラス×3学年）

担当課：岐阜県教育委員会  
学校支援課

所在地

岡山県倉敷市

全校生徒数

22名

地域の特徴

学区は倉敷市南東部に当たり、瀬戸内海に面して前方には瀬戸大橋も見える。昔は金比羅・瑜伽さん両参りと言われた田の口港を中心に、真田紐の町として、現在は学生服やユニフォームをはじめとした織物の町として栄えてきた地域である。

学校の特徴

昭和37年に、児島市立琴浦東幼稚園として設立。昭和42年、倉敷市との合併により倉敷市立琴浦東幼稚園と改称。近隣園の園児減少により平成17年、平成23年に統合。平成19年には3歳児保育が始まり、3・4・5歳児が通園する幼稚園として現在に至っている。

組織構成

保護者のP T A加入率は100%である。組織は会長、副会長2名を置き、研修部（人権教育、家庭教育学級等）、安全部（補導、幼児交通安全教室等）、母親委員がある。年5回の推進委員会で園行事等を協議し、保護者全員での取組を進めている。

担当課：岡山県教育庁生涯学習課

## 地域の特色を生かした活動により、園児の地域に対する愛着を育てる

キーワード 地域の伝統に触れる体験／郷土愛

### 取組概要

地域の特産物である綿花を栽培し、市の協力を得て、園児が手織りでコースターを製作する活動を行い、地域に対する愛着を育てた。

### 取り組みの詳細

#### ○P T Aの目的を共有し園児のための活動を実施

コロナ禍でも「子どもたちのより良い育ちのためにできることを考え実行する」というP T Aの目的を共有し、秋祭りの駄菓子屋や縁日ごっこなどの園児が楽しめる活動を実施した。

#### ○地域の特産物を使ったコースター作り

母親委員を中心に、地域の特産物になっている綿花を園の畑で栽培した。倉敷市児島産業振興センターの協力を得て、綿花から綿糸を紡ぎ、園児がコースターを手織りで製作する活動を行った。



〈「児島三白」（綿・塩・イカナゴ）の紙芝居の読み聞かせ〉



〈コースター作りの様子〉

### 成果

- ・P T Aの目的を共有し、計画を立てたことで、会員の活動への積極的な参加が進んだ。
- ・園児に地域の特産物への関心を持ってもらうことができ、地域に対する愛着を育てることができた。

### 課題や今後の取り組み

- ・綿花の栽培は初めてのこともあり、全てが手探りだったので苦労した。（綿の収穫時期、コースターを織るために必要な糸の長さ等）

### その他の取り組み紹介

- ・親子で交代で園門に立ち、挨拶を交わしながら友達を迎える挨拶運動の取組を継続して行っている。



## 6年間の在学を生かしたPTA活動

キーワード 運動会DVDの作成 / 茶話会 / 校内安全点検

## 取組概要

生徒と保護者と学校のよりよい関係の構築

## 取り組みの詳細

## ▶ 運動会DVDの作成

新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置により令和3年度の運動会が無観客実施となり、初めての運動会を楽しみにしていた1年生の保護者や、子どもの最後の雄姿を見届けたいと思っていた6年生の保護者等から残念がる声が多く寄せられたことから、PTAと学校が協議し、放送部の生徒たちが撮影・編集したDVDを全生徒に配付した。



&lt;運動会DVDジャケット&gt;

## ▶ 茶話会

コロナ禍でPTA行事の中止が相次ぐ中、保護者間でのコミュニケーションが希薄になっていくことから、学年の垣根を越えてざっくばらんに話をする「茶話会」を2年前に始めて以来、3年連続で開催している。当日挙がった質問や要望は教員とも共有し、理事会にて回答いただいている。



&lt;茶話会の様子&gt;

## ▶ 校内安全点検

校内施設の状況を確認して回る校内安全点検を実施した。前年までの指摘を受け補修した部分や未補修の部分、改装してキレイになったトイレ、そして現在改装工事中の多目的トイレ等、それぞれの箇所で見守りから補修や改装の進捗の説明を受けながら各教棟を見て回った。

## 成果

- ・運動会での子どもの活躍を直接見ることができなかった全保護者に、その様子を見ていただく機会をつくることができた。
- ・子どもの学校生活や進路等、保護者が日頃抱えている不安や悩みについての情報交換を行うことで、他の方の共感や理解を得て安心したり悩みを解消したりする等、得られたものが多かった。

## 課題や今後の取り組み

- ・運動会でのジュース販売等、直接生徒たちに協力していきたい。
- ・茶話会は今後も引き続き定期的に開催していきたい。

## その他の取り組み紹介

- ・保護者対象の進路研修会
- ・早朝から教員と共に生徒の登校指導
- ・PTA総会を書面開催し、決議をオンラインで実施

所在地

愛媛県松山市

全校生徒数

925名

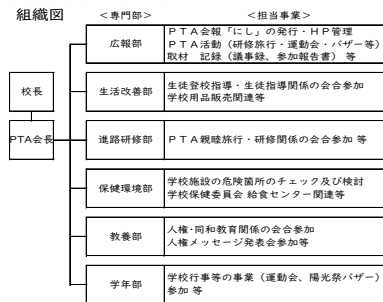
地域の特徴

本校は松山市の北西部の小高い丘の上に位置し、周辺は静かな住宅地である。松山市中心部から約6km程の距離であり、JRと私鉄の電車が近くを通っているため、市内外からの交通の便がよい。地区には四国最大級の取扱量を誇る松山中央卸売市場や「ボンジュース」の工場などがある。

学校の特徴

昭和49年4月に愛媛県立松山西高校として開校されたが、平成15年4月に、併設中学校一貫校として愛媛県立松山西中学校が併設され、その3年後の平成18年4月に現在の愛媛県立松山西中等教育学校となった。1学年4学級で前期課程3年間と後期課程3年間の計6年間を一貫して学ぶ中等教育学校である。1年生から6年生までの6学年が一体となった学校行事も多数行われている。

組織構成



担当課：愛媛県教育委員会  
社会教育課

# 「情科 Love Support Project 企画」

キーワード

コロナ禍でもできる活動を！／生徒たちの最高の応援団／社会にはばたく生徒たちと共に

取組概要

with コロナ時代の新たなPTA活動として「情科Love Support Project企画」を立ち上げ、少人数かつ間接的な活動の頻度を上げることで、保護者と教職員が楽しく交流しながら、心をはぐくむPTA活動に取り組んでいる。

## 取り組みの詳細



『今日は大丈夫？ 高精度モニター式検温器設置！』

～生徒が健全に学校活動を行える環境づくり～

コロナ感染症対策の一環として、「非接触型体温測定モニター」の設置を行い、PTA活動の円滑な実施を目指した。



学校と連携・保護者と協力

2年間非公開だった「体育祭」の保護者観覧が可能になった。



生徒の登校時の検温に使用

PTA新聞『新風』  
年3回発行

月1あいさつ運動



美化活動『キレイな学校にする～！』

子ども達の未来を充実させるための教育や心のケアを保護者と学校で考えながら、PTA活動を実行している。

## 成果

- ・コロナ禍においても学校と密に連携を取りながら工夫を凝らしたPTA活動を実施した。
- ・他校の模範となるような、コロナ禍に対応したPTAの組織作りに努めた。
- ・学校長とPTA会長がビジョンを共有しながらPTA活動の質を高めた。

## 課題や今後の取り組み

- ・PTAを通して保護者が学校に来る機会を増やし親子や親同士のコミュニケーションツールにする。
- ・PTAが保護者の不安を払拭する場所にする。
- ・時代の変化を敏感に感じつつ、「生徒たちの最高の応援団」であることを意識して、『楽しく、できる人が、できるときに、できることを無理せず』基本ベースに活動する。
- ・昨年度中止となった企画は、ブラッシュアップし今年度の開催に向けて調整中。  
「就職面談の面接官を保護者がする！」企画  
「保護者による生きたキャリア講座」等

## その他の取り組み紹介

- ・地域補導パトロール  
「すこやかおおいたっ子パトロール」
- ・PTAミニバレーサークルチームの結成

## 基礎情報

所在地

大分県大分市

全校生徒数

462名

地域の特徴

大分市郊外の自然豊かな丘陵地に位置し、高尾山自然公園やサッカー・ラグビーのワールドカップが開催された昭和電工ドームがある大分スポーツ公園に隣接している。近隣には、複合商業施設や東九州自動車道大分米良ICがある。

学校の特徴

1988年に創立。工業科・商業科が併設された県内唯一の情報系専門高校である。施設・設備が整った教育環境の中、生徒が主体的にかつ実践的な学びを通して、ものづくりの技術やビジネスの知識を習得し、地域に貢献できる人材の育成を行っている。2023年度より県内初となる情報系の学科が新設され、これからの産業界に不可欠なIT人材の育成を目指す。



Information Science School

組織構成

会長・副会長(校長含む)・監事・顧問・会計・書記を執行役員とし、加えて理事に学級委員、学校理事(教頭)、会計理事(事務長)以上に理事会とする。各クラス役員が専門委員会に所属し活動を行う。

活動のモットーは『楽しい活動』『無理のない活動』



担当課：大分県教育庁社会教育課





## PTAと在校生みんなで応援！「合格セット」

**キーワード** 生徒の学力向上 / 学習環境の改善・充実 / 生徒・保護者・教職員との交流 過去の「合格うどん」の様子

### 取組概要

大学入学共通テストを間近に控えた3年生に保護者から温かいうどんを調理して提供する「合格うどん」。令和3年度で18年目を迎えた恒例行事。ここ2年間はコロナ禍でうどん作りができず、代わりに「合格セット」を配付したり、在校生からの応援の催しを行ったりしている。

### 取り組みの詳細

### 成果

美術部作成の  
応援メッセージ

終盤の  
仕分け  
作業

合格  
餅・飴

PTA会長から  
贈呈

3年保護者からの  
応援メッセージ

全校あげて3年生を応援する姿が見られた。応援団部の演武・書道部のパフォーマンス、在校生からのメッセージ等) 3年生から喜びと感謝の声が多数聞かれた。

### 課題や今後の取り組み

今まで培っていた合格うどんのノウハウを引き継ぎ、更に充実するための手立て作りとコロナ禍での安全安心に配慮した工夫ある取り組みの実践を目指す。

### その他の取り組み紹介

生涯学習委員会 (ザ・FMC都西)  
※ PTA会員相互の学習会



年3回実施(令和3年度)  
・子育て講話・ヨガ・苔玉作り

## 基礎情報

所在地

宮崎県都城市

全校生徒数

587名

地域の特徴

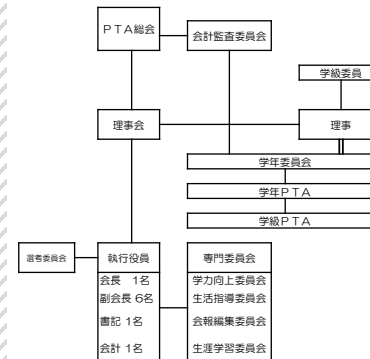
都城市は宮崎県の南西端に位置し、宮崎市に次ぎ、県内第2の都市である。平均気温17度と温かく、過ごしやすい。陸・海・空のアクセスにも優れている。畜産日本一のまちで、ほのかな甘みのある牛・豚・鶏や、豊富な地下水を使ったおいしい焼酎が名産である。

学校の特徴

創立61年目を迎える全日制高校。校訓は「理想、優雅、自主自律」。教科をバランスよく学び、総合的な学力を伸ばす普通科と高い学力と文理にとらわれない探究型学習を中心としたフロンティア科。全体の8割が国公立・私立大学等に進学。「自ら学び自ら鍛え自ら拓け」を学校スローガンとし、都西サポートや強化推進部活動(レスリング部・女子バレーボール部)の設定、高大連携、5.5分授業等、多様な教育活動を展開している。

組織構成

都城西高等学校PTA組織図



担当課：宮崎県教育庁生涯学習課

「合格セット」内容…合格うどん、合格飲料、合格餅、合格飴、合格お菓子、合格メッセージ、合格祈願マスク等。